

令和7年度  
江戸川区学校応援団  
実践報告書

【小学校】

令和8年3月  
江戸川区教育委員会

# 目 次

小松川小学校	• • • • •	P	1
小松川第二小学校	• • • • •	P	3
小平井小学校	• • • • •	P	5
平井西小学校	• • • • •	P	7
平井東小学校	• • • • •	P	9
平井南小学校	• • • • •	P	12
松江小学校	• • • • •	P	14
西一之江小学校	• • • • •	P	16
西小松川小学校	• • • • •	P	18
大杉小学校	• • • • •	P	20
大杉第二小学校	• • • • •	P	22
第三松江小学校	• • • • •	P	24
大杉東小学校	• • • • •	P	26
東小松川小学校	• • • • •	P	28
船堀小学校	• • • • •	P	30
船堀第二小学校	• • • • •	P	32
葛西小学校	• • • • •	P	34
二之江小学校	• • • • •	P	36
二之江第二小学校	• • • • •	P	38
第二葛西小学校	• • • • •	P	40
第三葛西小学校	• • • • •	P	42
第四葛西小学校	• • • • •	P	44
第五葛西小学校	• • • • •	P	46
第六葛西小学校	• • • • •	P	48
第七葛西小学校	• • • • •	P	50
南葛西小学校	• • • • •	P	52
南葛西第二小学校	• • • • •	P	54
南葛西第三小学校	• • • • •	P	56
西葛西小学校	• • • • •	P	58
新田小学校	• • • • •	P	60
宇喜田小学校	• • • • •	P	62
清新第一小学校	• • • • •	P	64
清新ふたば小学校	• • • • •	P	66
臨海小学校	• • • • •	P	68
東葛西小学校	• • • • •	P	70

瑞江小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P72
春江小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P74
新堀小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P76
下鎌田小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P78
下鎌田東小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P80
江戸川小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P82
一之江小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P84
一之江第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P86
鹿本小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P88
鹿骨松本小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P90
鹿骨東小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P92
本一色小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P94
篠崎小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P96
篠崎第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P99
篠崎第三小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P101
篠崎第四小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P103
篠崎第五小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P105
南篠崎小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P107
鎌田小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P109
小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P111
東小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P113
下小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P115
上小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P117
上小岩第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P119
西小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P121
上一色南小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P123
南小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P125
南小岩第二小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P127
中 small 小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P129
北 small 小岩小学校	• • • • • • • • • • • • • •	P131

# 小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小松川小学校長            坂野 眞太郎  
コーディネーター        松田 守弘

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	57人
	学生ボランティア	6人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全安心・旗振り	毎日	毎日2名ずつ
安全安心・交通安全教室	年1回	12
学校図書・読み聞かせ隊	月2回	20
学校行事支援	不定期	15
環境整備隊	不定期	10



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 保護者による毎朝2名の旗振り当番の協力により、登校中の交差点での通勤通学で利用されている自転車との接触事故を今年度も0件にすることができた。
- 安全安心・交通安全教室の活動として、自転車教室での子供たちの自転車の運転実技の際の見守りに協力いただいた。活動中の補助として手助けいただいたおかげで安全に実技を行うことができた。
- 読み聞かせ隊（学校図書館応援団）の活動は月2回の頻度で実施できた。子供たちは興味津々な眼差しでお話を聞いており、読書活動の推進という点で成果を上げることができた。また、学校図書館の本の修繕や飾りつけなどの読書環境の充実を図書担当教員や図書館支援員と連携を取りながら計画的に進めることができた。
- 学校行事支援については運動会でのお手伝いやハッピーファミリーデーの実施、コマサマー2025（デイキャンプ）の実施などバラエティーに富んだ活動を展開してくださり、子供たちの心のたがやしに向けた活動を展開できた。
- 環境整備隊は、地域の野球チームの子供たちと共に学校の周りのゴミ拾いをしている。大人と一緒にゴミ拾いをすることで、子供たちの環境美化の気持ちが育っている。

### <課 題>

- 学校応援団の人材については保護者に頼る割合が高い。地域の方による潜在的なサポート力の開拓を進め、応援団の充実を図っていく必要がある。
- ボランティアさんの募集を呼びかけてはいるが、少数精鋭化が進んできている。たくさんの方に協力をいただけるようにし、継続的な支援が円滑に行えるようにしていきたい。
- 学校応援の内容について現場のニーズを検証してさらに充実が図れるようにしていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度の小松川小学校学校応援団は安全安心に関する部門、図書に関する部門、行事での支援を行う部門、環境整備に関する部門が活動を行いました。保護者が中心となっている状況ですが、学年学級の枠を越えた関係が作れる他、子どもたちの普段の学校での様子が分かるなどメリットの多い活動であると考えています。今年はこれまでの実践を生かして、子どもたちがより活動しやすい環境を整えることで学校に協力していけるようにしてまいりました。今後は通学路の交通安全の見守り等、地域の人材を集め、協力できるようにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

今年度も様々な方にお力添えいただくことができました。おかげさまで子供たちにとって安全で実りの多い学習の場としていくことができましたことを深く感謝いたします。ボランティアさんが思うように集まらないなど課題点を解決しながら、今後も保護者や地域の方と力を合わせて子どもたちのためによりよい環境を整え、充実した教育活動を行ってまいります。また、近隣の都立小松川高等学校や東京情報デザイン専門職大学と連携し、音楽や外国語、ICTを通じた交流活動を日常的に行い、地域の教育力を活用してまいります。皆様におかれましても小松川小学校に通う「こまっ子」たちのためにご協力のほどよろしく願いいたします。

# 小松川第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立小松川第二小学校長      山本 佳子  
コーディネーター                      二見 美恵子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	8人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	毎週木曜	7人から8人

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度の読書週間では、『はらぺこあおむし』のパネルシアター（図書委員会児童と連携）、読書おばけのハロウィンパーティ（児童の読書カードを活用した掲示）、『ブレーメンの音楽隊』のエプロンシアターなど、季節や対象学年に合わせたイベントの実施により、多くの児童が学校図書館に行き、本を借りて読む活動が推進された。
- ・新着図書や寄贈図書の装丁作業や、本の修理など迅速に対応、作業していただくことで、児童が読みたいと思う本を早く手に取ることができた。

### <課 題>

- ・活動場所が、第二図書館内に設置されているため、話合いやイベントの練習が思うようにできないことがある。以前のような、活動場所があるとありがたい（図書ボランティア）。
- ・イベントを進める際、学年や学級によって児童への周知にばらつきを感じる。校内の周知の仕方や図書委員会との連携も含め、改善していきたい（学校図書館担当）。

## 5 コーディネーターより

学校で設定されている読書週間中のイベントを主として、ボランティアのメンバーで考えを出し合いながら企画、準備、進行に取り組むことができました。イベントの際の子どもたちの反応や喜ぶ顔が活動の励みになっています。次年度以降も、小松川第二小学校の子どもたちが本と触れ合える時間や場所を増やしていけるよう協力し、活動に取り組んでいきたいです。

## 6 学校長より

毎週木曜日、児童が楽しく本を読めるように、そして、本が好きになるように、様々な工夫をしていただいています。図書委員会の児童と連携して実施した「はらぺこあおむし」のパネルシアターでは、美しいイラストと楽しい朗読が披露され、その場にいる全員が物語の世界に引き込まれていました。校内にある掲示板も児童が自然と読書活動に取り組めるよう、常に季節に合った装飾がされています。今年度は東京都内にある数多い「学校活動支援団体」の中から、「学校教育活動支援部門」の優れた団体として選ばれ、東京都教育委員会から感謝状が贈られました。これからも、本校の読書活動の推進に力を貸していただけることを願っております。



1 学期読書週間パネルシアターの様子



2 学期 児童の読書カード掲示の様子

# 平井小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井小学校長                    渡邊 法子  
 コーディネーター            笠松 志保

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	463人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
スクールガード	・登下校時の安全見守り、旗振り（毎日）	5人
登校時旗振りボランティア	・登校時の安全見守り（毎日）	385人
読み聞かせボランティア	・各学級での本の読み聞かせ（月1回）	160人
おやじの会	・学校行事、PTA 行事の支援（不定期）	30人

### 平井小学校学校応援団



PTA 平井小まつり



読み聞かせ



町探検出発式



登下校時の見守り

#### PTA・保護者

- ・読み聞かせ
- ・登下校時の交通安全指導（旗振り）
- ・親子安全見守り隊活動
- ・交通安全教室・自転車教室
- ・環境学習等校外学習の安全見守り
- ・地域パトロール

#### 地域

- ・登下校時の交通安全見守り
- ・荒川環境学習
- ・凧作り指導
- ・地域行事の準備、運営

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「PTA平井小まつり」では、これまで数年にわたり取り組んでいるSDGsへの理解を目的に、今年もエコステーションを設置して実施しました。当日は、校庭、体育館とたくさんの模擬店とイベントが催され、多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただきました。大盛況であったという間に楽しい時間が過ぎていきました。前日から子どもたちは、わくわくドキドキ。まつりの話題でもちきりでした。運動会前のグランド整備（おやじの会）や、卒業記念イベントとしてのキャンドルナイトなど、年間を通した活動は子どもたちの安心と笑顔につながりました。
- 読み聞かせボランティアによる読み聞かせに、子どもたちは、どんな本を読んでいたのか、開始まで期待に胸を膨らませています。読み聞かせが始まると、本の世界に集中する姿がたくさん見られました。外国語の本などの紹介もあり、読み聞かせを通して読書の幅を広げることができました。
- 町探検や荒川の校外学習、凧作りなど、生活科や総合的な学習の時間に多くのボランティアの皆さんに子どもたちの引率をサポートしていただきました。子どもたちも安心、安全に学習することができ、充実した活動となりました。ボランティアの方々も子どもたちの引率を通して、地域の様子や普段の子どもたちの姿とは違う新しい発見をすることができました。

### <課 題>

- 読み聞かせボランティアの活動内容をさらに工夫していきたいです。
- それぞれの活動を幅広く紹介し、参加人員をより多くの場面で募集する取組が必要です。
- スクールガードの方々に通学路に立って交通安全の見守りをしてくださっています。参加人数が減少傾向にあります。PTAとの連携を図り、組織の再編成をしていく必要があります。

## 5 コーディネーターより

地域の皆様、保護者の皆様に支えられ、学校応援団としての活動が行われました。これまでの活動をもとに、さらなる工夫ができました。PTA執行部・おやじの会をはじめ多くのスタッフが力を結集し活動しました。「平井小まつり」では、飲食とともに体験コーナーも充実し、大いに盛り上がるまつりとなりました。ありがとうございました。

来年度も、幅広く充実した活動となるように尽力していきたいと考えております。今後も多くの皆様のご支援をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

地域と共に歩む学校を目指す中で、登校から下校まで学校応援団の皆様には様々な教育活動を支えていただいております。日々の学校生活で見せる子どもたちの姿とは違った様子が、たくさんの場面で見られます。地域の中で身に付けた新しい力を、自身の成長に大いに結び付けてほしいです。常に進化する取組はいつも楽しみです。これからも学校は地域・保護者・子どもたちと社会をつなぐ場となるよう尽力して参ります。今後とも学校応援団の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

# 平井西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

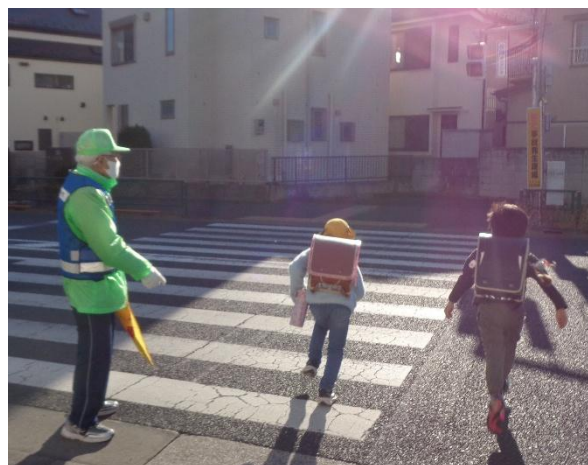
平井西小学校長            藤澤 優子  
コーディネーター        前澤 勝三

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	26人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
下校安全指導	週5回	2人
読み聞かせ	毎週水曜	24人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 学校応援団による下校時の見守りが毎日行われており、児童の交通安全の意識が醸成され未然に交通事故を防いでいる。また、見守りの学校応援団の方との挨拶のやりとりがあり、地域の方との交流が図られている。三者協議会では、学校応援団下校見守り担当とPTA本部役員並びに生活指導主幹や教務主幹などの教職員が、児童の下校時や放課後の様子について情報や課題を共有し、児童の健全育成に協働することができた。
- 読み聞かせの取組では、本の面白さや知識を得られる楽しさを伝えるとともに、ただ読むだけでなく子供たちと対話をしたり、クイズ形式で行ったりするなど工夫して実施している。今年も子供たちが、いろいろな本と出会える機会を増やすことができた。

### <課 題>

現在、見守り担当では、高齢化が進んでいること、読み聞かせ担当では、在籍保護者の人数が少ないことが課題として取り上げられている。昨年度、見守り担当は、4名体制から2名体制になり、今年度も団員が増えることなく2名のままである。町会に呼び掛けたり、見守りの様子を保護者に見てもらったりすることで、学校応援団の必要性を訴え、団員を確保していくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

学校応援団では、毎日の下校の見守り活動や本の読み聞かせなどを行って平井西小の子供たちと深く関わってきました。下校時の安全見守りは交通事故を防ぐだけでなく、挨拶をすることの大切さを伝えていきます。朝、元気に挨拶をすることで子供も地域の方々も生活に張りがでます。見守りでは、団員が2名となり、見守りをしてくださる方が増えることを願っています。

今後とも学校、PTA、地域の方々が連携して、子供たちの健やかな成長のために少しでも協力ができるよう活動してまいります。これからも頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。毎日の下校時の安全見守りは、児童の交通安全の意識向上だけでなく挨拶を通して地域の皆様との交流を深める大切な機会となっております。夏休みのラジオ体操では、多くの子供達や地域の方が参加していました。また、引き続き、読み聞かせの取組もでき、更に児童が本に興味をもてました。進んで読書する態度が育っています。学校応援団の方々が、子供たちの安全や読書を楽しむ環境を整えてくださっています。これからも、学校応援団の皆様とともに、「共育・協働」が続いていくことができるよう努力してまいります。

# 平井東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井東小学校長                      大辻 隆夫  
 コーディネーター                  三枝 憲幸



## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	48人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ応援団	年10回くらい	23
図書整備応援団	月4回	15
環境整備応援団	不定期	10

## 平井東小学校学校応援団

### 地域

- ・荒川環境学習のゲストティーチャー
- ・金管楽器演奏
- ・ナイトウォーク
- ・マラソン大会
- ・年末地域行事
- ・その他地域行事

### PTA・保護者

- ・図書ボランティアによる活動  
(月2回の読み聞かせ)  
(週1回の図書室整備等)
- ・荒川環境学習での安全見守り活動
- ・地域パトロール
- ・運動会の準備、片付けなど学校行事の支援
- ・PTAやパパスクラブ(父親の会)による行事
- ・花壇、樹木、雑草、排水溝等の整備

### すくすくスクール

- ・指導の一貫性  
(学校との情報交換)
- ・子供の活動の場の拡大  
(ウエルカムガーデン・  
工作教室・車いすバ  
スケットボール・ポ  
ッチャ他)



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

○ 図書ボランティアを募り、年間を通し活動することができた。どの学年の教室でも子供たちが目を輝かせて「読み聞かせ」に聞き入る様子が見られ、確実に本好きな子供たちが育っている。本好きな方が多く、おすすめの本を共有し、情報交換も活発に行われた。PTAの広報誌にも掲載し、意欲的な取り組みが紹介された。

図書室の環境整備においても、巡回図書支援員と連携し、児童が本に慣れ親しんだり、調べ活動を行ったりするということを効率的に行えるような場を作っていた。学校図書館に子供たちがすすんで来室し、「本を読みたい」「調べ学習をすすんで行いたい」という意欲をもって活動できる環境が整ってきている。

これらのことは、本校の教育活動の一環である「読書科」の充実にも大いにつながっている。具体的な活動としては、以下の通りである。

(読み聞かせ活動)

- ・朝の時間(15分)を活用し、第1学年から第6学年までの各学級を訪問し、読み聞かせを行うことができた。
- ・読む本は、図書ボランティアの方が学年の発達段階に応じ選定し、「読み聞かせ」の楽しさを子供たちに味わわせることができた。
- ・学年を縦割りにして、読み聞かせを行う学級を決めた。活動内容を工夫しながら、取り組むことができた。

(図書室の環境整備活動)

- ・学校図書館の環境整備や本の修理を定期的に継続して行った。
- ・学校図書館の室内の掲示を工夫し、児童が、読書に親しめるような環境作りを行うことができた。

○「環境整備応援団」として、学校の草花、樹木、校庭の側溝・排水溝の整備を行った。活動の中で、普段目につかない段差や枝に気付き、安全な環境を整えることができた。

○4年生の総合的な学習の中に位置付けている本校の特色の一つである「荒川環境学習」には、児童が「互いに考え、楽しむ」という活動が実現できるような支援をしていただくことで、実際の現地である荒川でも、安全で充実した活動が展開できた。

○運動会の準備や後片付けの作業に、「パパスクラブ」をはじめとするPTAの方、保護者の方の協力が大変多くあった。「学校を応援したい」という気持ちをもつ方が多く、学校を支えていただいていることがよく分かり、大変ありがたい。

### <課 題>

○「読み聞かせ応援団」は、ボランティア間の情報交換の場で、読みたい本がたくさん挙げられるが、人数が確保できないこともある。時間帯的に難しいのかもしれないが、男性の読み聞かせの機会が増え、子供たちにいい影響を与えたいと考えている。

○読み聞かせ活動や図書室の整備活動等、図書に関わること以外にも、PTA活動とリンクさせ、新たな取組を考えていくことを今後検討していきたい。

○応援団の活動の様子を学校ホームページ等で紹介し、その活動を広く周知していくようにする。

○学校応援団は、組織編制上の課題として、子供の卒業とともに抜けてしまうメンバーの方もいる。無理なく多くの保護者の方や地域の方(卒業生の保護者含め)が学校応援団として、参加できるように、組織編成においても今後工夫していく必要がある。

## 5 コーディネーターより

PTA 活動と学校応援団が連携し、活動に取り組みました。特に、運動会においては、朝の準備から片付け、熱中症対策の取組など学校行事の一日を支援することができました。このブロックである小松川・平井地区には「地域で子供を育てる」という風土が強くあります。これからも、本校児童「ひがしっ子」の身心共に、健やかな成長のために、互いに協力し合いながら、「出来ること」を「少しずつ着実に」行っていきたいと思います。日頃より、学校応援団の諸活動にご理解とご協力をくださる皆様に感謝いたします。

## 6 学校長より

平井東小学校は、子供たちの学校生活や学習活動を支援してくださる「学校応援団」の皆様によって、大きく支えられています。

本校では、読書活動の充実に向け、週2回以上設けている朝読書の時間がありますが、その中で、「読み聞かせ応援団」の皆さんが月に1回参加してくださる日があります。子供たちは、その時間を大変楽しみにしております。「読み聞かせ応援団」の皆様が選定してくださる本も子供たちにとってはどれも楽しい内容ばかりであり、大変ありがたいです。

さらに、「図書整備応援団」の皆さんは、定期的に図書室に集まり、本の整備をはじめとした、子供たちが活用しやすい図書室を目指し、環境作りを工夫してくださっています。

また、学校に隣接する荒川を題材に、身近な自然の営みや、環境について主体的に関わる学習である『荒川環境学習』では、地域の方が講師となって、荒川について教えてくださいました。その活動で、4年生の児童が、荒川に出かけて活動をする際の安全の確保としては、保護者の方々が見守りに来てくれており、これも大変ありがたいです。

このように、平井東小学校を愛する保護者・地域の方々が、学校応援団として活躍してくださることを大変ありがたく思っております。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

# 平井南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立平井南小学校長      岡田 盛雄  
コーディネーター                阿部 美代子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	32人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校安全見守り隊	登校時の安全見守り	20
朝の読み語り	毎月1回	12
クリーン作戦	年2回	21
平和学習講師	年1回	3



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

「登校安全見守り隊」の活動では、夏の暑い日も冬の寒い日も毎朝所定の交差点に立っていただき、児童の安全を見守っていただいています。本校の通学路では蔵前橋通りやそこから京葉道路に抜ける道路など、交通量が激しく、かつ速度を上げる車両が多く危険度が高い学区です。しかしながら、今年度も無事故で過ごすことができています。見守り隊の皆さまのお陰であると思います。また、登校する子どもたちに「登校安全見守り隊」の方々から必ず「おはようございます。」と声を掛けていただくなど、継続的に挨拶指導を行っていただきました。このことを通して、子どもたちの挨拶に対する意識や、地域への帰属意識などを高めていくことができていますと感じています。また、登校中の児童以外の通行中の方にも率先して声を掛けていただくなど、不審者等の防犯対策としても効果を感じています。

「クリーン作戦」では、残念ながら暑さのため、第1回の実施ができませんでしたが、2回目の開催では、20 町会・自治会あまりの地域の方と学校近隣の地域清掃に取り組みました。学校と地域との交流や清掃活動を通して、地域に対する理解や地域を愛する心を醸成していく機会の大切さについて改めて強く感じました。

「平和学習」では、今年は終戦 80 年目ということで、児童も教員も意識を高くして臨みました、旧中川灯籠流し実行委員会の方をお招きして東京大空襲の戦火にさらされた小松川・平井地区の当時の状況を知る方に直接お話していただきました。戦争の悲惨さや平和の尊さについて学ぶ大切な機会になっていると感じています。

「読み語りの会」の活動では、12 人の地域の皆様に月 1 回、各学級での本の読み語りをしていただいています。高学年になっても人の声で言葉を聞き、物語に考えをめぐらす機会は重要であると考えています。読み語りの皆さまには、その貴重な時間を支えていただいています。

### <課 題>

応援団の人材の拡がりに課題があります。高齢化が進んでいます。天候が厳しい中、朝の旗振りが大変になっています。常時協力者を募集していますが、新規協力者がなかなか集まらない状況が続いており、引き続き方法を工夫して周知・募集をしていきます。

## 5 コーディネーターより

学校応援団の皆様のご協力の下、今年度も学校や子どもたちの活動を支援することができました。今後も支援体制の充実に向け、人材の確保をしていくとともに団員同士が交流できる機会の設定や、学校との連絡体制の整備など、団員同士のつながり、学校との連携を更に深めていきたいと考えています。

## 6 学校長より

温かく学校を支えてくださる小松川・平井地区の皆さまに心から感謝いたします。学校のみならず、地域でも児童を育てていく心意気のある皆様と共に歩んできたのが、平井南小学校であると感じています。これからも、学校応援団の皆様をはじめ、保護者や地域の皆様からの応援をいただきながら児童のより良い成長のため、教職員一同、精一杯努力して参ります。ご協力の程、よろしくお願いたします。

# 松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

松江小学校長                    大須賀 慎一  
 コーディネーター            八武崎 秀紀

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	30人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	不定期（およそ2週に1日）	10
読書ボランティア	不定期（およそ2週に1日）	20
読み聞かせボランティア	不定期（およそ2週に1日）	20



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・「読書ボランティア」が蔵書の整理や季節ごとの飾りづくりなどに取り組んでいただいた結果、図書室の雰囲気明るく、本に親しめるすてきな環境に変わった。また、松江図書館に出掛け、団体貸出し用の図書選定をしていただいた。毎月、その時期にふさわしい読み物や学習に関連した図書が届けられ、子供たちの本に親む姿勢も高まっている。
- ・読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせは、低学年が中心だが、子供たちにとって楽しみな時間の1つとなっている。
- ・花の苗植えなど、学校環境美化についても協力できた。



### < 課 題 >

- ・それぞれの活動内容を明文化し、毎年、計画的に活動できるようにしていく必要がある。
- ・地域の方々の人材把握。連絡手段の確立する必要がある。
- ・今後も「共育・協働」をさらに進め、本校児童の心豊かな「育ち」と確かな「学び」のために地域の資源・人材をより積極的に活用していく。

## 5 コーディネーターより

「学校」「PTA」「地域」「子供会」が一体となり、子供たちの安全を中心に、そして子供たちが、安心して楽しい学校生活を送れるよう支援するために発足しました。今年も大きな事故や事件に巻き込まれず、子供たちが安全に過ごせたことが何よりです。松江小学校を、地元商店街や地域の方々にご協力いただき、さらに活気に溢れた学校にしていきたいと思ひます。

## 6 学校長より

松江小学校の学校応援団は、子供たちの安全・安心の見守りを第一に、保護者や地域の皆様が地道な活動を展開してくださっています。読書ボランティア活動が一層組織的な動きとなり、活動が高まってきています。おかげさまで、本好きな子供たちが増えています。

既存団体をはじめ、ボランティアの方々の協力で、子供たちのために良い環境を作ることができています。子供たちの主体的・対話的で深い学びを実現するためにも、学校応援団の方の力を貸していただきたいと思います。今後も、子供たちの伸びや高まりを目指すとともに、本校の「共育・協働」をさらに一層進めていきます。

# 西一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西一之江小学校長 五十嵐 一嘉  
 コーディネーター 野元 宏枝

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	148人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア 「本はともだち隊」	図書整備：休み時間 及び 夏休み期間の2日間	16人
	読み聞かせ：各学期1回 (6月10月1月)	44人
父親ボランティア 「イクメンジャー」	校内外パトロール：学校公開など行事時の不定期 昆虫飼育など教育活動支援/鼓笛隊の地域行事でのパレード参加への協力：不定期	20人
安全指導	登下校見守り：不定期	100人
行事支援	学校行事・PTA行事支援：不定期	80人

図書ボランティア「本はともだち隊」  
本の読み聞かせ



カブトムシ小屋の整備



登校時の見守り

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・図書ボランティア「本はともだち隊」は図書室整備と読み聞かせの活動を行ってきた。読み聞かせは、6月・10月・1月に企画し、本を使うところ・大型モニターを使うところの工夫が見られた。今年度は、ボランティアの方の周りに集まって聞くようにして実施することができた。
- ・父親ボランティア「イクメンジャー」の活動としては、昆虫飼育小屋の整備、行事での見守り活動、西一フェスタ企画への協力があげられる。今年は、2回の鼓笛隊の地域行事でのパレード参加が2回とも中止となり、実施日当日の活動協力ができなかった。
- ・本校の昆虫飼育小屋では毎年800匹以上のカブトムシの飼育を行っており、父親ボランティア「イクメンジャー」を中心に、児童・保護者・教員が毎年春から初夏にかけて幼虫を掘り起こし、土の入れ替えと幼虫の数を数えている。今年度は50匹の幼虫を掘り起こすことができた。3年生が自然観察用に一人一匹配布することができず、学級ごとに飼育することになった。
- ・登下校時の保護者、地域の方の見守りの強化では、保護者・地域の方の協力を得ることができ、事故を減らすことにつながっている。また、登校時だけでなく下校時や放課後も危険であることを再認識し、交通安全を中心に呼び掛けることができた。(学校応援団以外にも、地域ボランティアによる見守りも実施され、連携していただいている。)

### <課 題>

- ・人材確保が毎年の課題である。父親ボランティアの活動する場が少なく宣伝する機会が少なかったため人材確保が難しかった。学校管理職やコーディネーターが変わっても継続して行うことができると、世の中の情勢にも柔軟に対応できるように確実なものにしていくことが課題である。
- ・昆虫飼育小屋の活動が、夏季の高温のために、昆虫にとっても生息しづらい環境になってきている。そのため、活動の継続が難しくなっており、活動の見直しが必要になってきている。
- ・見守りの強化は、登校時のみでなく下校時や放課後の見守りを学校応援団の方々の力を借りて充実させていくこと、児童の学力向上や体力向上につながる活動の充実を図ることも視野に入れていく。

## 5 コーディネーターより

- ・西一之江小学校では学校応援団としての活動がスタートしてから15年になる。4月のカブトムシ小屋整備、6月の体育科学習発表会への協力を行うことができた。文化的行事の「西一さくらっこまつり」への協力も行うことができた。鼓笛隊の地域行事でのパレード参加は雨天中止のため実施できなかった。今後も応援団の活動を広く周知しながら「西一応援団」の輪を広げることに努めていきたい。多くの方々のご協力を仰ぎ、児童の安心・安全、笑顔のために、全力投球で学校、地域、保護者と力を合わせて取り組んでいく。

## 6 学校長より

- ・本校は、「明るい学校」「楽しい学校」「魅力ある学校」を教育方針の柱とし、「挑戦」「元気」「思いやり」あふれる学校づくりを保護者や地域の皆様と協働して進めている。具体的には、「各教室での読み聞かせ」「昆虫飼育支援」「鼓笛隊の地域行事でのパレード参加」等多岐にわたる教育活動でご支援いただき、学習支援や環境整備、健全育成等、様々な面で教育効果を上げてきた。
- ・今年度は、地域の皆様の登校時の見守りも定着してきたことで、児童とボランティアの皆様とのあいさつの輪も広がってきた。また、保護者の方の付き添いや見守りも増え、子供たちの安全は、地域、保護者、大人たちが守るという意識の高まりを感じた。
- ・管理職やPTA会長が代わっても、地域の皆様の学校に対する熱い思いは、開校当時から今日までしっかりと引き継がれ息づいている。学校、地域、保護者が協働して、子供たちに郷土愛や愛校心を育む機会をつくり、「西一応援団」の更なる充実を目指していく。

# 西小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西小松川小学校長      落合 由美子  
 コーディネーター      塚原 一希

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	112人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守りボランティア	毎朝、校門前等で児童の交通安全の見守りと、挨拶等の声掛けをする。	1人
下校見守りボランティア	4月末ごろまで、1年生の下校時の見守りと、声掛けをする。	20人
校外学習（行事）見守りボランティア	遠足や生活科見学等の校外学習時に、安全を確保し教員の指導の補助を行う。	40人
ブラスバンド練習ボランティア	週に3回、練習時の安全見守りと教員の指導の補助、出欠確認を行う。	5人
図書館整備ボランティア	週に1回、本の整理や修理修繕、季節に合った壁面装飾などをする。	7人
読み聞かせボランティア	月に1回、朝読書の時間に、各クラスで本の読み聞かせをする。	10人
環境ボランティア	畑を耕す、種を撒く、苗を植える等の花壇の整備に関わる作業をする。	1人
昔遊びボランティア	2年生の生活科において、コマ、けん玉、お手玉、おはじきなどの昔遊びを教える、	8人

登校見守りボランティア



読み聞かせボランティア



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 1・2年生の生活科の校外学習や全校遠足で、校外学習（行事）見守りボランティアの方に、教員の指導の補助や安全見守りをしていただき、児童が安心して活動することができた。
- 読み聞かせボランティアの方に、学年の実態に応じた本を選んでいただき、読み聞かせ後には本の記録を残していただいた。これを担任が読み聞かせをする際の参考にすることができている。
- 図書館整備ボランティアの方には、週に1回、本の整理や修理、壁面装飾などを行っていただいたことで、児童の読書環境を整えることができた。
- ブラスバンド練習ボランティアの方に、週に3回、練習時の安全見守りと教員の指導の補助、出欠確認等を行っていただき、活動を円滑に進めることができた。

### <課 題>

- 学校応援団の活動を今後も継続させていくために、活動内容の記録や引継ぎを確実に行いたい。
- 学校ホームページや学校評議員会等を通じて、学校応援団の活動を紹介し、ボランティアに参加していただける人材の発掘に力をいれていきたい。

## 5 コーディネーターより

地域の皆様やPTAの皆様をはじめとするボランティアの方々の活動を拝見し、たくさんのご支援をいただいていることを実感するとともに、多くのボランティアの方々の活躍により、学校教育活動に協力できていることを大変うれしく思います。

今後も今まで以上に、学校と保護者、地域の方々を結び付けることに注力して、子供たちが、より充実した学校生活を送れるように活動を続けていきたいと考えています。

## 6 学校長より

校外学習や体験的な学習の機会が増える中、本校の教育活動が多岐にわたり展開できますのも、ボランティアの皆様のお力添えによるものと感謝しております。学校全体、または、各学年の活動や学習の進め方について、ご理解いただきご協力いただくことで、子供たちは安心して学習に取り組むことができいております。

コロナ禍で途絶えてしまった元保護者の方や、応援団の方々のボランティア活動が再開できたことは何よりです。これをきっかけに、元保護者の方々の活動を広げていきたいと思えます。地域に愛され大切にされている学校だからこそと思え、ボランティアの皆様、地域の皆様の期待に応えられますよう、さらに子供たちと共に頑張っていきたいと思っております。

今後も、子供たちの安全安心な学校生活のために、多くのお力をお貸しいただけますよう学校の教育活動の様子を学校HPや学校だより等で、保護者の皆様、地域の皆様に発信してまいります。

# 大杉小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

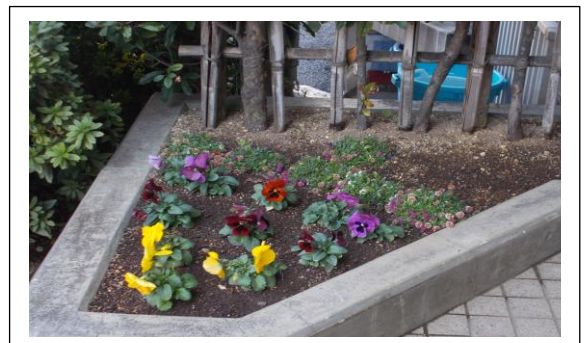
大杉小学校長            藤田  曉美  
 コーディネーター        池田  政弘

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	15人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
行事の支援	不定期	15人
登下校見守り	週5回・各学期1回集団下校	4人
環境整備	不定期	8人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 毎朝に加え、集団下校時でも、信号のない横断歩道を中心に危険個所に立っていただき、児童だけでなく、保護者にも大きな安心感を生んでいる。今年度は無事故である。
- 環境ボランティアは、昨年度「学校花いっぱい活動」に再度計画を見直し。学校敷地内にある花壇に花だけでなく、ミニ大根（写真）も植えるようにした。玄関や校庭の花壇に季節感のある花であふれるようになった。各学級にも育てた花を飾り、農林水産省が推奨している「花育」を実施していく第一歩を踏み出せた。
- 昨年度、応援団のメンバーを刷新し、若返りを図った。その結果、大杉まつりでは、模擬店や安全管理を担っていただき、安全に行事の運営ができた。

### <課 題>

- 年1回でも集まり会議をもち、顔を見合わせて学校応援団の取組みを考えて行くこと。
- 大杉まつり、花いっぱい活動以外も考えていくこと。

## 5 コーディネーターより

- 今年度はメンバーを刷新し、学校の要望に沿えるように学校と連携した。大杉まつりでは、コーディネーターとして学校との調整を図り、子供たちが楽しい思い出ができるようにした。その結果、子供たちとも触れ合う機会ができた。子供達の成長を間近に見る度に、「やっつけてよかった」とその職責を果たせたと感じています。

新たな提案、新たな取組を学校側の要望を聞きながら、これからも「子供たちのよりよい成長を願って」学校応援団の皆さんと力を合わせて、努めてまいります。ありがとうございました。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、本校の児童が日頃からたいへんお世話になり、心から感謝申し上げます。全ての児童が安全に過ごせますのも、ボランティアの皆様のご尽力のお蔭です。1年間、毎日、また、適時にご協力を賜り、親身にお世話をいただいたことは、子供たちの心に温かな思い出として未永く残ります。私は、今年度異動して来ましたが、この学校応援団の皆様のお力を本当にありがたく思っております。本校児童が今年度これまで無事故であったのは、学校地域応援団の皆様が毎日登下校の見守りをしていただきましたお蔭です。本当にありがとうございました。

来年度もどうぞよろしく願いいたします。

# 大杉第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉第二小学校長 笠井 三恵子  
 コーディネーター 田崎 國男

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	157人
	学生ボランティア	1人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	月2～3回	20
登校班及び旗振り	常時	50
ふれあいウェンズデイ	毎週第3水曜日	25
読み聞かせボランティア	月1回(朝読書)	18
学校図書館ボランティア	年間(随時)	9
学校内外清掃環境整備	年間(随時)	20
杉ニサポーターズ (児童の安全等サポート)	年間(随時)	15

読み聞かせ  
ボランティア



見守り隊



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 見守り隊の皆様が1年生の下校に付き添い、安全を見守っていただいたことで、児童は安心して下校することができました。また、見守り隊からの報告をもとに安全指導を行うことで、交通安全の意識向上にもつながっています。
- 五北町会・大杉町会などの地域有志の方々による見守り活動は、今年で20年目を迎え、継続的な地域の支えが大きな成果となっています。
- 登校時には、児童が登校班で登校し、PTAの方々による毎朝の旗振り活動により、安全な登校が実現しています。
- 学校図書館ボランティアは、図書館整備や読み聞かせを通じて、児童の読書活動を豊かにし、発達段階に応じた選書により、本に親しむ時間を提供できました。  
本年度は開校50周年記念行事の一環として、中井貴恵さんを代表とする大人と子供のための読みきかせの会の皆様にご来校いただき、素敵なお話を聞かせていただきました。
- 学校図書館ボランティアによる読み聞かせ活動は、今年度より学校公開日の朝学習の時間にも実施しました。地域の方や保護者の皆様にも実際の活動の様子をご覧いただくことで、ボランティア活動への理解を深めていただくとともに、新たな参加者の募集につなげることを目的としています。今後も、地域と連携した読書活動の充実を図ってまいります。

### <課 題>

- ボランティア活動に取り組んでくださる方は、意欲的に活動をしてくださっているが、固定化する傾向がある。今後も活動を継続してくださった方に加え、新規加入者を増やし、活動を継続することや活動の幅を広げていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

大杉第二小学校学校応援団は、「できるときに」「できる人が」「できることを行う」をモットーに、自らの意志で積極的に子供たちのために活動しています。活動を通じて、地域の人々がつながりを深め、児童にとっても地域にとっても、よりよい環境づくりを目指しています。

「見守り隊」では、五北町会・大杉町会・保護者の方々など、常時20名ほどのボランティアが1年生の下校を見守りながら送り届けています。また、「ふれあいウエズデイ」では、工作やゲーム、折り紙などを通して、子供たちとの交流を楽しんでいます。

これらの活動は、子供たちの健全な成長を支えるものであり、私たちの誇りです。今後も学校・家庭・地域が一体となり、人と人との絆を深めるボランティア活動を大切にしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

大杉第二小学校は、1975年（昭和50年）の開校よりこれまで、町会やPTA、PTAのOBの方々、地域近隣の皆様に厚く支えていただいております。その中でも、大杉第二小学校応援団は、様々な分野のボランティア団体の皆様から組織されています。学校応援団田崎代表のお言葉にある通り、本校の学校応援団は「できるときに、できる人が、できること」を児童のために行ってくださいています。今後も引き続き、大杉第二小学校の子供たちの健やかな成長のためにボランティアの方々のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

# 第三松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第三松江小学校長      小松 広宣  
 コーディネーター      椎橋 治美

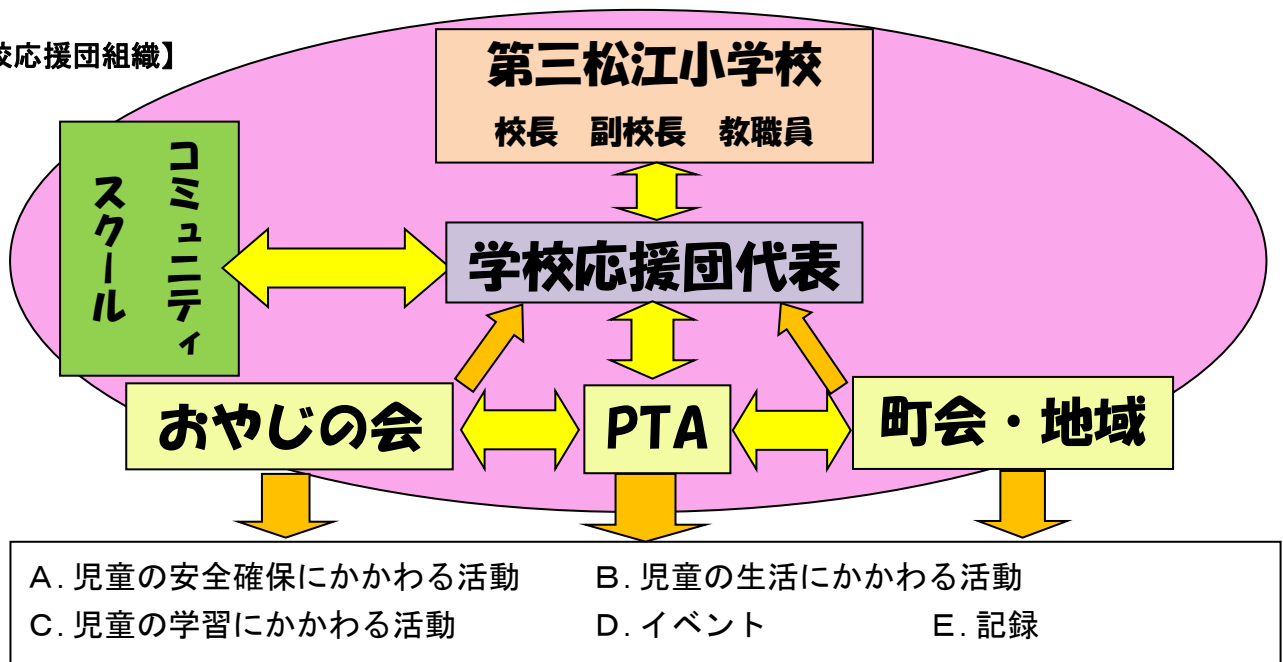
## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	165人
	学生ボランティア	

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守りボランティア	毎日	40人
読み聞かせボランティア	月1回	50人
図書ボランティア	月3～4回	10人
イベントボランティア	不定期	60人
動物飼育ボランティア	不定期	5人

【学校応援団組織】



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

#### (1) 常時活動の定着と充実

登下校時の見守り、読み聞かせ、学校図書館の環境整備等のボランティア活動を充実させることをめざして数々の取組を行った。登下校の見守りは、登校班がなくなったが、PTA 有志の会を中心に危険個所で毎日安全の見守りを行うことができた。多数のボランティアが登録している読み聞かせでは、全学級で月に1回の読み聞かせ活動を行うことができた。学校図書館の環境整備は、毎週1回行われ、年間を通して季節に合った壁面飾りが見られた。また、新聞記事のスクラップも確実に行うことができた。

#### (2) P T A ・おやじの会のイベントの充実

現在、PTAは休止中ではあるが、有志の会とおやじの会を中心にイベントを実施することができた。7月に「おやじんぴっく」と10月に「学校宿泊会」を実施した。12月には「三松グランプリ」を実施し、校庭での花火も子供たちは楽しんだ。どのイベントも児童の参加率が高く、大いに楽しむ姿が見られた。2月に「おやじランド」、3月に「6年生を送る会」と今後もイベント実施予定があり、P T A（有志の会）やおやじの会の熱意が感じられる。



### <課 題>

今後は、地域の方々とのかかわりを増やしていくことで、学校応援団の存在や活動内容をさらに地域全体に周知し、協力を依頼できる体制を整えたい。

本校の卒業生がP T Aやおやじの会の行事、学校行事や児童の教育活動に関わることができ、その輪は広がりつつあるが、今後はさらにそれを広げ、幅広い年齢層の応援団を継続的に組織していきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度の活動を振り返り、応援団員である保護者、P T A、おやじの会、地域や町会のみなさまにお礼を申し上げます。大きな事故や事件もなく、安全に子供たちが登校し、学習できたのも皆様のお力のおかげだと思っております。

今後も、より「安心・安全な学校」になるよう、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

## 6 学校長より

そんな中、三松小を見守る地域・町会のみなさん、そして、P T A・おやじの会のみなさんの「子供たちの笑顔のために」という強くあたたかい思いによる、『最高のイベント』を安全に楽しく実施していただきました。

今後も「学校教育目標」達成に向け、三松小らしく前向きに教育活動を進めて行ければと思います。どうぞこれからも、引き続きご支援ご協力をよろしくをお願いいたします。

# 大杉東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉東小学校長 高橋 真  
 コーディネーター 水越 晃



## 2 ボランティア数（令和7年12月1日現在）

東っ子秋祭り

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	92人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	毎日	11人
図書館整備	毎週火曜日	5人
読み聞かせ	不定期(月2回)	8人
サポーターズ	花火大会(年1回)	13人
行事支援・サポーターズ・町会	東っ子秋祭り(年1回)	30人
行事支援	学校行事補助(年2回)	14人
すくすくスクール	おりがみ教室・クリスマスミニコンサート	11人



図書館整備



寄席



読み聞かせ



見守り隊

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・「見守り隊」は、地域の方や近隣の会社の方が、毎朝登校時に、信号機のない横断歩道や危険な場所に立ち、見守りをを行っています。「登校見守り（旗振り）」は、保護者の方が当番制で毎日旗振りを行っています。子供たちは多くの見守りのもと安全に通学することができ、1年間交通事故はありませんでした。
- ・「学校図書館整備」は、PTAの「図書ボランティア」が、毎週火曜日に、学校図書館内の掲示や本の修理等の活動を行っています。季節を感じる掲示物が飾られ整備された環境の中、子供たちは図書に親しむことができました。また、「読み聞かせボランティア」が始業前の朝読書の時間に読み聞かせを行うことにより、落ち着いた雰囲気ですぐの学校生活を始めることができました。
- ・「サポーターズ」は、9月上旬の土曜日の夜に、校庭で「花火大会」を開催しました。親子で参加し、一緒に楽しんだり絆を深めたりする様子が見られました。
- ・「PTA」は、10月中旬の土曜日に、町会や地域と連携し、『食と防災』をテーマにした「東っこ秋祭り」を開催しました。かまどベンチの見学や消火器訓練など、防災について学ぶとともに、地域で育てたサツマイモを食べたり、小松菜をいただいたり、地域との交流を深めることができました。

### <課 題>

「見守り隊」は、長年活動していただいている方が多数です。毎年募集しますが、新規の方の応募が少ないことが課題です。また、「図書ボランティア」や「読み聞かせボランティア」も、長年活動していただいている方が多いです。「学校や地域、保護者がより連携できる活動は何か。」という視点をもちながら、それぞれに負担が掛かりすぎないように継続していくことが今後の課題です。

## 5 コーディネーターより

昨年までは、松江第四中学校をお借りしていましたが、今年度は大杉東小学校の校庭で花火大会を行いました。保護者の方も子供もたくさん参加していただき、喜んでもらいました。ありがとうございます。来年の開催も楽しみにしてくださっているので、今後も継続していきます。

学校と地域、家庭を結ぶお手伝いをし、子供たちが地域の一員として自覚をもって成長できるよう協力していきます。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

サポーターズでは、会員を随時募集しています。一緒に子供たちのために活動しましょう。

## 6 学校長より

令和7年3月に待望の校庭が完成し、4年ぶりに本来の学校生活をスタートさせることができました。休み時間や体育の授業、放課後のすくすくスクールなど、新校庭には元気な子供たちの声と笑顔が溢れ、環境に恵まれた大杉東小学校の輝かしい未来への喜びを感じているところです。

さて、本校は今年度から集団登校をやめ、年間を通して個人登校としましたが、これまで同様、見守り隊の皆様や旗振り当番の保護者の皆様のお陰で安全に登下校ができています。また、図書ボランティアの皆様には、朝の読み聞かせや学校図書館の環境整備を通じて、本好きな子供たちを育てていただいています。サポーターズの皆様には、今年も花火大会で夏の終わりを楽しませていただきました。PTA本部役員や地域の皆様には、子供たちの防災意識を高める大切な活動を行っていただきました。子供たちをいつも温かく見守り、支えてくださる皆様方に心から感謝申し上げます。

今後も本校は、「地域とともに歩む学校」として、皆様と共によりよい教育活動を目指していきます。

# 東小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東小松川小学校長 藤島 寿晴  
 コーディネーター 尾崎 守男

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	105人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
蓮田栽培支援	4月(蓮植え)、11月(蓮掘り) 不定期(蓮の世話)	40人
図書整備ボランティア 読み聞かせ	毎週木曜日 不定期	20人
学校行事支援	不定期	30人
おやじの会	不定期	15人



蓮田は、校舎改築工事の間も、大事に守られていました。蓮を掘るのは、重労働です。児童は初めて見る蓮掘りに興味津々です。

児童椅子に取り付けるテニスボールの穴あけを、おやじの会の皆さんが引き受けてくれました。静音効果があり学習に集中しやすくなります。



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 今年度7月に、待ちに待った校庭が完成しました。約4年間にわたり校庭に自由に出入りできない状態が続いていましたが、本校の伝統である蓮田の活動を継承するため、蓮田を守る会の皆様やPTAの本部役員の皆様、おやじの会やボランティアの皆様にご支援ご協力をいただきました。おかげさまで、4年生と5年生の代表児童による蓮掘りが復活し、全校児童が蓮田の活動を見学することができました。学校公開日ということもあり、保護者や地域の方にも、蓮掘りの様子を披露することができました。学校が新しく生まれ変わる中、長年続いている伝統行事を学校応援団の皆様のご協力により継承することができました。
- PTA本部役員をはじめ、ボランティアの方々のご協力により、運動会の実施準備やパトロール、学習発表会での保護者の誘導、学校公開での受付などご支援いただきました。特に運動会ではプログラムが大幅に変更した中でも、大きな混乱がなく成功できたことに大変感謝しています。
- 図書ボランティアの方々が、図書館の整備や飾りつけを行ってくださり、学校図書館が活用しやすく、子供にとって楽しみな場所になっています。松江図書館の団体貸し出しや、朝の読み聞かせ活動など、児童の読書体験を豊かにするための活動も活発に行われています。

### <課 題>

- ボランティアの方が固定化する傾向は今年度も続いています。また、活動内容によっては、ボランティアの方の確保が難しいこともあるので、より多くの方に関わっていただけるように働きかけていきます。

## 5 コーディネーターより

7月までは校庭に入ることができず、制限が加わった中での応援団活動となりました。このような中でも、蓮田活動や図書ボランティア、学校行事支援等、学校応援団の皆様のご協力により、状況に応じた活動を展開することができましたことに深く感謝申し上げます。今後もコーディネーターとして、地域の皆様、保護者の皆様にご協力をいただきながら活動の幅を広げ、児童がより安全に楽しく学校生活を送れるよう尽力したいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 6 学校長より

- 校庭が7月に完成し、4年間かかった一連の改築工事が無事に終了いたしました。そのような目まぐるしい変化の中で、今年度も蓮田を守る会をはじめ学校応援団の皆様のご協力により蓮田活動を継続して行うことができました。これまでと同様に立派な蓮に育ち、本校の良き伝統と地域とのつながりを児童に伝えることができました。また、運動会や学習発表会での安全管理と保護者の誘導、図書ボランティアや学校公開での受付など、実に多くの皆様にご協力をいただきました。年間を通して本校の教育活動を支援していただきましたことに感謝申し上げます。今後も皆様のお力をお借りしながら、教育活動をさらに充実させてまいります。ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 船堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀小学校長                    山下 靖雄  
 コーディネーター            田中 寿士

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	645人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館ボランティア	月2回	20人
おはなしボランティア	週1～2回	20人
安全見守り隊	週5回（月～金曜日、土曜授業日）	2人
おたすけ隊	不定期	40人

「安全見守り隊」

「お話会」



「学校図書館ボランティア」

「船堀小ガーデンボランティア」「おはなしボランティア」



## 4 今年度の成果と課題

### 〈成 果〉

- ・おはなしボランティアによる読み聞かせが定期的な実施でき、読書へ親しむよい機会となっている。読み聞かせてもらった本を図書室で探して、もう一度自分で読み返したり、関連する本を借りて読んだり、読書への関心にもつながっている。
- ・学校図書館ボランティアによる図書室の整備がすすみ、落ち着いた温かな環境で本に親しむことができているとともに、修理していただいた本を手取る中で、物を大切にしたいというメッセージを受け取ることができている。
- ・おたすけ隊による校内の装飾や掲示物の整備がすすみ、楽しく学習を行うことができている。
- ・自由登校においける毎日の登校見守りを、旗振り当番を中心に行い、児童の安全を守っていただいている。
- ・「船小まつり」、「おやこ運動会」、「映写会」、「プール」、「夏フェスタ」、「逃走中」、「餅つき」、「ガチンコ対決」など様々なイベントを開催することができた。

「船小まつり」



「餅つき」



### 〈課 題〉

- ・学校応援団と児童との交流活動を学習の一環として計画することで、より地域の一員としての思いをもてるようにしていきたい。
- ・学校応援団と教職員との連携について意図的、計画的に進めていくとともに、休日や週休日などの運営で教職員の負担増にならないように配慮していかなければならない。

## 5 コーディネーターより

保護者や地域による子供たちとの係わりは、子供たちにとってかけがえのない体験となり、地域への愛着となります。学校と連携し子供たちを地域で見守り、地域で育てていければと思います。引き続き子供たちの心身の成長を豊かにする取り組みを行っていきたいと思います。

## 6 学校長より

多くの体験活動の中で「地域を愛し、次の時代を担う意識」を育むために地域の自然や施設、文化を地域教材として、それらを知り尽くしている学校応援団のお力を借りながら、子供たちの興味関心を高めることができました。学校応援団の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。引き続き、来年度以降もどうぞよろしく願いいたします。

# 船堀第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀第二小学校長 則岡 小織  
コーディネーター 生井 敏昭

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	440人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
体験活動支援 親児の会 P T A	ウォークラリー（4月） サマーキャンプ（7月） 縁日風 花火大会（10月） 餅つき大会（12月） 焼き芋大会（3月（予定））	90人
登校見守り	週5回	400人



縁日花火大会では、たくさんの児童や地域の皆様が来校してくれました。

朝早くから準備して下さった皆様、ありがとうございました。

## 4 今年度の成果と課題

### <成果>

○4月には新1年生を対象に、親子で学校周辺を歩くウォークラリーを実施しました。入学して間もない1年生が、学校近くの公園を巡り、各所に設けられたクイズを楽しみながら参加する姿が見られました。

○7月のサマーキャンプでは、学校内にテントを張ったり、手持ち花火を楽しんだりするなど、子どもたちにとって貴重な体験となりました。

○10月には「縁日風花火大会」、12月には「餅つき大会」を実施し、笑顔で楽しむ子どもたちの姿を見ることができました。

○登校見守りボランティアの方々には、児童の登校の様子を見守っていただくだけでなく、通学路の危険箇所についても実際に確認した上でご意見をいただき、今後の生活指導に役立てています。

○3月にも焼き芋会が予定されており、子供たちは今から楽しみにしています。

### <課題>

●お子さんが卒業すると、応援団の皆さまも引退されるケースが多く見られます。活動を支えてくださっている方々が減ってしまうことは大きな課題です。より多くの子どもたちの笑顔を生み出すためには、地域・保護者の皆さまのさらなるご理解とご協力が必要です。児童に楽しい体験を提供し続けるためにも、引き続きのご支援をお願いするとともに、新たにお力をお貸しいただける方々の参加をお待ちしております。

●児童の登下校の安全を守るためには、大人による見守りが必要不可欠です。車通りの多い場所や見通しの悪い箇所など、事故や事件を未然に防ぐためにも、より多くの目で見守る体制づくりが求められています。しかし、見守りをしてくださるボランティアの方が仕事の関係でできないなど、減少していることも、課題にあげられます。

## 5 コーディネーターより

船二小の学校応援団として、地域と協力しながら、子どもたちが安全に過ごせる街づくりを目指しています。船堀は、古くからの歴史ある地域としての側面と、駅を中心に新たな発展を遂げてきた側面を併せ持ち、新旧さまざまな素晴らしい文化が息づいています。今後も、共に活動する機会を設け、多くの方々と学校を応援する体制を築いていくことで、地域を愛する子どもたちがさらに増えてくれることを願っています。

## 6 学校長より

安全に十分配慮した上で、模擬店や打ち上げ花火、キャンプなどを実施することができました。一方で、近年の厳しい夏の暑さについては、活動を行う上で一層の注意が必要であると感じています。工夫を凝らしたさまざまな活動を通して子どもたちを魅了してくださっている応援団の皆さまに、心より感謝申し上げます。

今後も、保護者・地域の皆さまにご理解とご協力をいただけるよう、学校の様子を積極的に発信するとともに、子どもたちの良さをさらに伸ばしていける取組を進めてまいります。引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

# 葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

葛西小学校長            荒巻 淳  
 コーディネーター      石川 勝

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	約50人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み語り	年12回(水曜日)	35人
学校図書館環境整備	週1回(毎週水曜日)	17人
登校見守り	不定期(ほぼ、週1、2回)	3人
下校見守り	不定期(ほぼ、週1、2回)	3人

LAS図書館整備



朝の「読み語り」



「お話集会」



登下校見守り



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・学校図書館ボランティア(L A S)の活動のおかげで、学校図書館内の本は常に綺麗に保管されており、本棚は整った状態であった。年度途中でインド大使館から寄贈していただいた本に対しても、児童が見やすい場所に置くなど丁寧に扱ってくださった。
- ・読み語りの活動では、今年度も多くのボランティアの方が実施してくださった。担任や自分の親以外の大人たちから本を読んでもらうことで、児童は真剣に話を聴き、話の内容を理解しようとする姿が見られた。話を聴いた後の児童の質問も多く、興味や関心を高める活動となった。
- ・11月末の「お話集会」では、今年度もL A Sの方が綿密に計画を立て準備をし、本番当日には児童にとって興味がわくような内容のお話を用意してくださった。読み方はプロの読み手のように感じ、児童は質の高い読み聞かせを聴くことができた。発表後には児童から大きな拍手が贈られた。
- ・登下校の見守りの方には、児童の安全を見守ってもらうことで、児童は安心して登下校することができた。特に東門を出た所の車道を渡る児童の安全を見守っていただき、大きな交通事故がなかった。

### <課 題>

- ・ボランティア活動の更なる発展のためにこれまでの活動とは別の活動について実施を検討していく。地域の人材の中でどのような方がいて、どのようなことができるのかをP T A会長や本部役員にも情報ももらいながら模索していく。
- ・ボランティア活動を行う学校応援団の数が年々少なくなっている。保護者への活動の紹介や各お便りによる声掛けを積極的に行っていかなければならない。保護者だけでなく、地域の方にも活動の様子をホームページ等を活用して発信し、ボランティア活動に関わる人の数を増やしていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

今年度もL A Sの皆様には学校図書館を綺麗にさせていただくだけでなく、読み語りやお話集会など多面に渡り活動を行っていただきました。毎週水曜日、欠かすことなく活動してくださるその姿勢に感謝しております。「お話集会」では、今年度もとても質の高い読み聞かせを実施してくださったことは嬉しい限りです。皆さんのナレーションは本当にプロのようです。音響を入れながら発表をすることで児童は本の世界に没頭することができました。

児童の交通安全を見守る地域の方々にも大変お世話になっております。特に下校時、東門から下校する児童が交通事故に遭わないよう、安全な歩行の声掛けを含めた見守りをしていただきました。

葛西小学校応援団として、児童のことを大切に思う気持ちを地域と共に育み、そして努めてまいりたいと考えています。どうぞ、今後ともご協力よろしくお願ひいたします。

## 6 学校長より

葛西小学校応援団の方々の活動は、児童にとって目立つような華やかなものではなく、また大きく目立つものではないのですが、児童のことを想って取り組んでくださる大切な活動だと認識しています。本校の教育活動が滞りなく行われているのも、応援団の方のお力添えによるものと感謝しております。

L A Sの活動においては東京都教育委員会より、日頃の活動の成果が認められ、感謝状をいただきました。本当に嬉しいことでありますし、学校のため、児童のためという想いを抱いてくださっていることには頭が下がる思いです。

今後とも、学校と保護者、地域の皆様と互いに良い関係づくりをしながら、葛西小学校の児童を育てていきます。

# 二之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

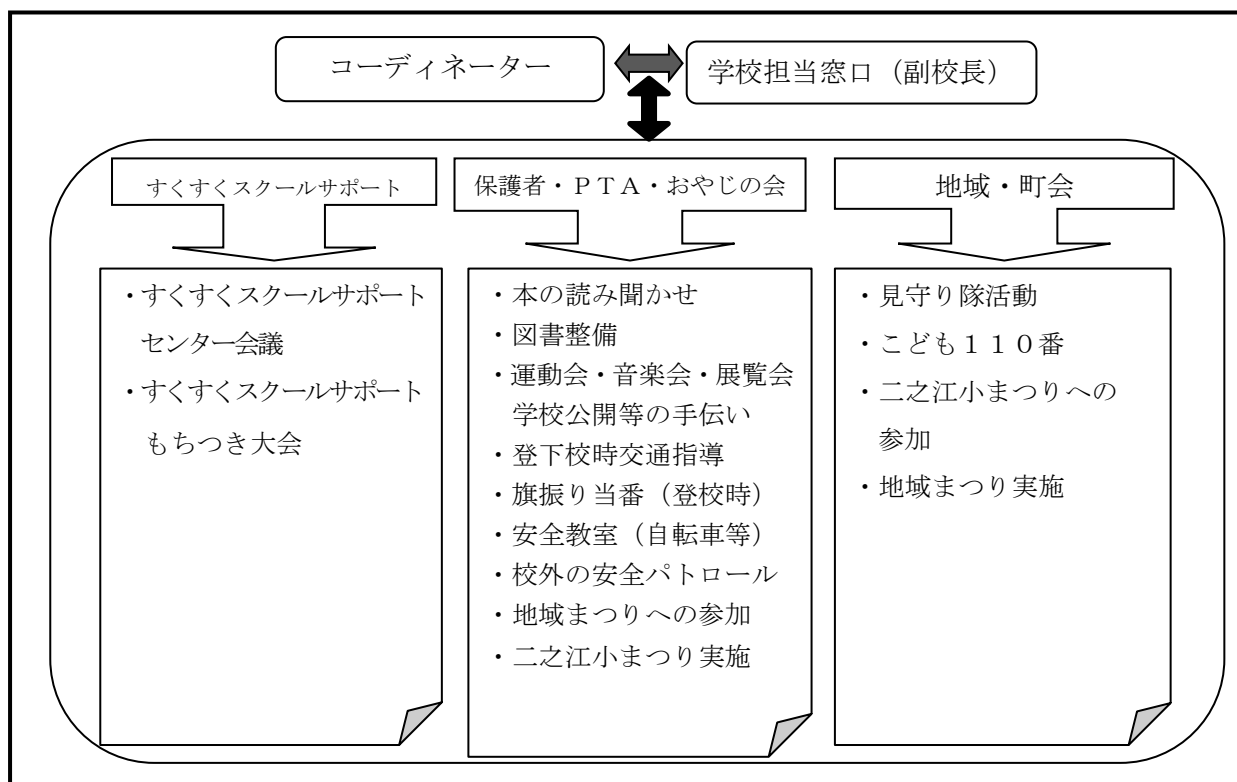
二之江小学校長 大石 吉郎  
 コーディネーター 須賀 英昭

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	355人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	毎月1回	28人
図書整備	毎月1回	28人
登下校の安全	週5回	327人
行事支援・催し	不定期	135人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 1 読み聞かせボランティアによる読み聞かせ及び図書ボランティアを月1回程度、定期的実施した。児童が本に親しみ、朝の読書活動が充実した。読み聞かせボランティアには新たに複数人の保護者が加入した。児童は着席しての読み聞かせだが、書画カメラで挿絵を大きくテレビに映し出し、教室後方の児童にも見やすくするなど適宜工夫をしながら取り組むことができた。より読み聞かせを実施しやすくし、児童の読書への興味関心を高める環境整備を行う。環境整備については図書ボランティアによる図書の修繕を定期的に行い、書架に戻すことで、児童がより多くの図書を手にしていた。
- 2 本校は学区が広く、登校時の見守りの場所も多い。PTA校外担当の調整を経て実施する保護者による「朝の見守り当番」、PTAによる長期休業中パトロール、4月当初の町会の方々による登下校の見守りにより児童の安全が保たれ、防犯の強化が推進された。
- 3 運動会は自校開催2年目となった。まだ慣れない新校舎での開催ではあったが、多くのボランティアの皆様から受付、準備や片づけ等の支援をいただいた。学習発表会では、自転車来校禁止の徹底を図っていただいた。
- 4 すくすくスクール主催の餅つき大会を12月に実施した。本校校庭で、すくすくスクールサポートセンター会議にご出席の皆様が餅をつき、大勢の本校児童、保護者が集まった。PTA役員、おやじの会の皆様も参加、協力してくださり、大会は盛況のうちに終了した。

### <課 題>

- 1 地域やPTAの人材を探す。
- 2 新たな応援団の活動を構築する。

## 5 コーディネーターより

二之江小学校は古川親水公園に隣接し、また、統合した二之江第三小学校も新川が近くに流れ、両校ともにとても地域に密接した学校です。特に歴代のPTAのOB会やおやじの会が中心となり、すくすくスクールの行事や伝統ある地域行事等に取り組んできました。皆、とても協力的です。

今年度は、夏の地域行事が多くの人を集め盛大に行われました。本校PTA主催「二之江小まつり」も秋に実施することができました。児童一人一人が楽しめて、参加してよかったと思える催し物をたくさん企画していきたいと思います。そして、児童と大人が古川・新川の自然の中でよりたくさん思い出を作り、地域を愛する心を育んでもらえたらと思います。二之江小学校のコーディネーターとして皆様のご支援・ご協力を切に願う次第です。

## 6 学校長より

平成22年度から実施された「学校応援団」の取り組みは、学校を応援して下さる様々な皆様のご協力をしっかりと意識できるよい機会となっています。地域やPTAのみならず、「おやじの会」の協力も、学校応援団としてとても大きな力となっています。多くの方々が、児童のために学校応援団として活躍して下さることは、とても喜ばしいことです。皆様方の心強いご理解とご支援は、本校職員一同が児童や地域のために一層頑張る大きな原動力になっています。

今後も子供たちのために学校と保護者、地域の皆様が相互の信頼で結ばれ、協力し合える二之江小学校を目指してまいります。

# 二之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

二之江第二小学校長 鳥居 圭  
 コーディネーター 石澤 多恵子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	約40人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーンボランティア	月1回程度 不定期	3人
蓮田愛好会	4月蓮植え・10月蓮掘り	3人
え・ほんの会	読み聞かせ月1～2回 図書整備不定期	20人
飼育ボランティア	連休 長期休業中	6人
金魚の養殖紹介	4年生 年1回	1人
学習ボランティア	不定期	8人
登校ボランティア	週5回	5人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ①グリーンボランティアの活動では、季節や学校行事に合わせて、花の苗を植える作業をした。  
きれいな花に迎えられ登校する環境が、朝の元気な挨拶に繋がっているように感じる。  
また、身近に植物を感じられ、子供らの情操教育に大きく役立った。
- ②「え・ほんの会」の活動では、朝の時間を使って全学年に毎月読み聞かせを行った。  
子供たちの話を聞く態度は真剣で、自分で本を読む時とは違う楽しみを味わっている様子が見られた。国語力の基礎育成にも役立っている。  
また、図書室の本の修理や整備作業から、物を大事に扱うことの大切さを学ぶことができています。
- ③登校ボランティアの活動は、毎朝子供たちの安全を見守っていただいたおかげで、安心・安全に登校することができ、本年度も大きな事故もなく過ごすことができた。
- ④学習ボランティアの活動は、本校の課題でもある算数の基礎学力をつけることを目的としている。  
昨年に引き続き江戸川総合人生大学の方々にご協力頂いた。算数の苦手な児童に週3回以上の学習支援を行うことができた。

### <課 題>

これからの一番の課題は、ボランティアの人員確保である。保護者以外の応援団の方の高齢化が進み、次世代の人材が確保できていない。地域や保護者の方々に、「できる事を、できる時に、できる範囲で」をモットーに活動して頂くため学校からの一方的なお願いとならないよう、お一人お一人の意思確認をしっかりと行いながら進めていきたい。

また、様々な分野の人材を活用していくことも課題となる。PTAを始め、地域の方々に広く呼び掛けて新たな人材確保に努めていきたい。

## 5 コーディネーターより

グリーンボランティアは、環境の良い学校で子供たちを学ばせてあげたいとの願いから活動が始まり、校庭花壇の整備を行っております。特に、保護者の方が多く来校される行事前に合わせて新しい草花を植えています。これからも子供たちが気持ちよく心豊かに生活できるよう精一杯サポートさせて頂きたいです。

また、学校・PTA・地域等のつながりを広げていき、子供たち自身がその中の一員であることを自覚できるような活動を行っていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

児童の支援を始めとし、学習環境の整備、安全安心の推進のために、様々な活動をしていただいております。応援団の方々の「子供たちの笑顔のために・・・」というお気持ちに、感謝を申し上げるばかりです。

児童には、常日頃より地域を見つめる目、地域に感謝する心、地域に貢献する姿勢を育てる努力をしております。

これからも、学校と共に児童の健全育成に向けて、ご支援・ご協力をお願いいたします。

# 第二葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第二葛西小学校長 吉田 佳代  
 コーディネーター 五十嵐 英男

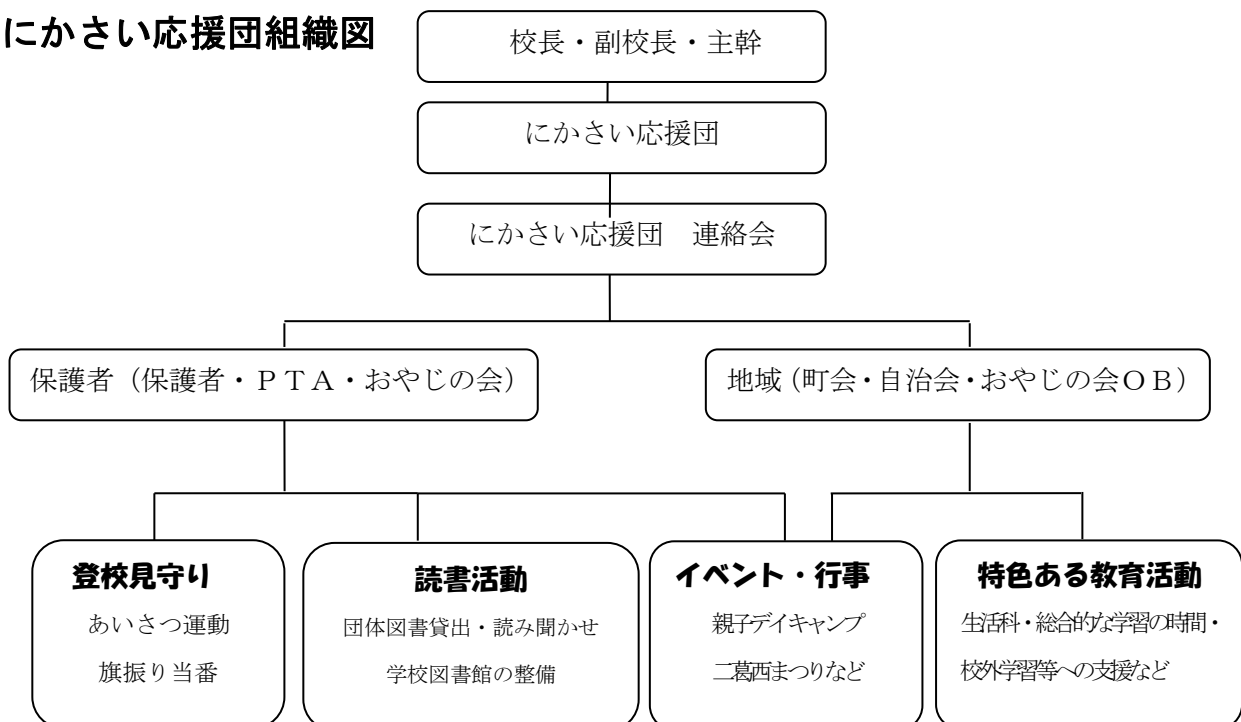
## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	423人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備	毎週金曜日	212人
読み聞かせ	年間5回	155回
団体図書貸出	月1回(年10回)	90人
登校見守り	週5日	698人
集団回収	常設	201人
おやじの会イベント	7月 3月	121人
二葛西まつり	11月	98人

### にかさい応援団組織図



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

第二葛西小学校は、多くの皆様のご支援で支えられており、特に学校応援団の皆様には「子どもたちのために」を合言葉にさまざまな活動に取り組んでくださっています。今年度も、登校時の見守り（旗振り当番）、東葛西図書館の団体貸し出し、各教室での本の読み聞かせ、集団回収、二葛西まつりなどのPTA活動の支援、日常的な取組を継続していただきました。さらに、おやじの会の皆様には、土曜授業日の登校見守りや夏季休業中の夜の見回り、二葛西まつり、地域のお祭りへの協力、区、地域と連携しての防災体験や6年生を送る会を中心とした親子イベントなど、企画力にあふれる計画と連携の取れた役割分担で、子どもたちを楽しませてくれました。

登校時には多くの保護者やおやじの会の皆様、地域の方々が児童の安全を見守ってくださいました。学校応援団の皆様の活動のおかげで、学校生活がより充実し、安全な毎日を送ることができました。

### <課 題>

PTA組織の変革などの状況に合わせて試行錯誤した昨年度に引き続き、内容を改善しつつ今年度の活動を推進してきました。昨年度、雨のために新しい企画が実現できなかった二葛西まつりは、天候に恵まれ、新たな飲食店や地域のスポーツチームとの連携によるアトラクションも加わり、新しい形での開催が実現しました。今後も、状況の変化に応じた柔軟な運営が課題です。

## 5 コーディネーターより

「にかさい応援団」の活動は、地域の方々とPTA、おやじの会が協力して活動しています。図書館団体貸し出しのおかげで、学校の図書活動を充実させることができます。毎月、図書館に選書に行くことは大変なことですが、子どもたちが本を選んでいる姿を見ると、にかさい応援団の活動が役に立っていることを実感できます。

今後も活動を続け、学校、PTA、おやじの会の実情に即して、その内容を柔軟に改善していくことを大切に、これからも「にかさい応援団」の活動を支援していきます。

## 6 学校長より

本校では、平成22年に学校応援団を「にかさい応援団」と名付け、15年が経ちました。保護者、地域の皆様と一緒に子どもたちを育てることを目的にしております。

今年度も旗振り当番、学校図書館整備、読み聞かせなど、様々な取組の中で子どもたちを育てていただきました。

昨年度は、雨で計画の減校を余儀なくされた二葛西まつりも、より充実した内容で企画、運営され、多くの児童が楽しんだり、地域の方が参加したりして、楽しく活気のあるおまつりになりました。

おやじの会の夏のイベントでは、新たな試みとして、防災体験をテーマに、消防署、区の防災課の方々にもご協力いただき、楽しく有意義なひと時となりました。

こうした活動に支えられて、第二葛西小学校の児童は、楽しく充実した学校生活を送ることができています。未来に向けて、子どもたちの可能性を大きく広げるためにも、「にかさい応援団」の活動を今後もより一層充実させてまいります。

# 第三葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第三葛西小学校長 吉野 麻哉子  
 コーディネーター 由良 江美子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	386人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校の見守り	週5日	386人
図書ボランティア	週1回	10人
親子安全見守り隊	年2回(6月・11月)	386人
夏休みパトロール	夏季休業中(2日)	16人
校外学習安全見守り	不定期	15人
環境整備	不定期	5人



図書ボランティア（読み聞かせや図書室前の季節掲示の様子）・花壇整備

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

保護者の皆様による毎朝の見守り当番のご協力により、登校時の事故も無く子供たちは安全に登校できました。また、親子安全見守り隊では、親子で通学路の危険箇所を確認する活動を実施しました。事後のアンケート調査で集まった学区域内の危険箇所情報は、安全マップとして配布し共有しました。

図書ボランティアの皆様には、各学年で学期に1回程度、児童への読み聞かせを行っていただきました。教員とは異なる視点での選書により、子供たちの読書の幅が広がり、読書意欲の向上につながりました。さらに、季節や行事に合わせた掲示物の作成や、本の補修にも取り組んでいただき、学校図書館の環境整備を進めることができました。

### <課 題>

登校時の見守り活動では、スクールゾーンへ自動車が入り込むケースや、交通ルールを守らない自転車の走行が見られ、児童の安全確保に苦慮しています。これらの課題には、葛西警察署のスクールサポーターとも連携し、引き続き対応していきます。

活動の規模や方法を見直しつつ取り組んでいるものの、児童数の減少に伴い、ボランティアとして参加できる人員の確保がさらに難しくなっています。依頼ベースでの運営のため、登校時の見守りが不在となる日が生じるのも現状です。今後は、「学校応援団」という組織の周知方法を工夫し、より多くの方々に関わっていただけるよう努めていきたいです。

## 5 コーディネーターより

日頃から先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご協力によって子供たちがより良い学校生活を送れるようたくさんのご支援をいただいていることに、心よりお礼申し上げます。登校の見守り、教育活動への支援、どの活動も子供たちの健やかな成長につながる大切な活動です。一人でも多くの保護者や地域の方に参加していただけるような活動を、今後も続けていきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 6 学校長より

第三葛西小学校では、保護者や地域の皆様に「読み聞かせ」「登校の見守り」「校外学習の見守り」など、様々な場面でご協力をいただきながら教育活動を行っています。これらの取り組みは、子供たちの安全を守り、心と体を健やかに育てる上で欠かせないものです。本年度も、皆様の温かいご支援により、子供たちは安心・安全に学校生活を送り、多くの活動に取り組むことができました。

来年度もコーディネーターを中心に、多くのボランティアの皆様と協力し、子供たちの笑顔につながる、よりよい教育活動を進めてまいります。

# 第四葛西小学校 学校応援団 実践報告書



(マスコット ダイヨンくん)

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第四葛西小学校長 伊藤 秀一  
 コーディネーター 堤 尚之

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	524人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
葛西さざなみ会	年4回	10人
登校見守り	週5回	524人
図書読み聞かせ会	第1・2・3学年 月1～2回	16人
行事支援	月1回	30人

### (活動の様子)



田植え



稲刈り



餅つき



海苔すき

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 今年度も保護者やPTA、地域の方々からのたくさんのご支援ご協力をいただき、体験的な活動を実施することができました。
- 登校見守りでは、毎朝子供たちへの挨拶や交通安全へのお声がけをいただきました。地域に見守られている実感とともに、挨拶の大切さ、感謝の気持ちが更に育っています。また皆様のおかげにより、登校時の事故ゼロも継続できています。
- 葛西さざなみ会様には、今年度も、田植え・稲刈り・餅つき（第5学年）、海苔すき体験（第3学年）を実施していただきました。お米ができるまでの大変さ、葛西の昔ながらの伝統でもあるのりすき、児童も大変興味をもち、体験活動の大切さを実感しました。
- 第1～3学年の図書読み聞かせ会を毎月継続しました。読み手の声や間合などでの臨場感で、自分が読むのとはまた違う本への興味をもつことができました。たくさんの本にも触れあう場となっています。
- 四小ふれあいまつりは、多くの方々が無事の準備を整え、当日を迎えました。本年は雨天開催となりました。限られた場所での開催でしたが、地域の方との交流もでき、子供たちの笑顔もあふれていました。

### <課 題>

- これからも学校応援団と学校が協力しながら、子供たちの体験的な活動の充実を継続していきたいと考えています。
- 活動協力団体の皆様の高齢化により、活動の継続が懸念されます。

## 5 コーディネーターより

- 今年度も、地域の方、学校、PTAの多くの方々とは協力し合いながら活動を進めてまいりました。子供たちや参加していただいた方との交流ができ、学校応援団としての活動ができた事をうれしく思っています。来年度も安全に考慮し、充実した体験活動になるよう努めたいと考えます。葛西さざなみ会様には、本年度も大変お世話になりました。来年度も子供たちが充実した体験活動ができるようよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

- 多くの方々のご協力のもと、いろいろな体験活動の機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。学校応援団の活動を通しての体験活動や、学びの場として子供たちが楽しく学校に通い、笑顔があふれる学校になるよう尽力いたします。

# 第五葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第五葛西小学校長 田中 雅生  
 コーディネーター 田中 成治

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	76人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
見守り隊	週5日	26人
読み語り	月1回	30人
図書環境整備	月1回	25人



↑ 季節に合わせた掲示物



↑ 図書室の環境整備



← 月に一度の読み語り

## 4 今年度の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「見守り隊」の方々へ学校だよりを配布する際に、下校時間のカレンダーも配布しているが、次月のはじめも周知するようにし、活動を円滑に行えるようにした。</li> <li>• 校内の図書を図書室に一元化し、「読み語り」用の拡大絵本などの拡充も行った。図書については継続的に購入を続けて、魅力ある図書室にしていくと共に、「読み語り」の活動が長く続いていけるようにしていきたい。</li> <li>• 読書ボランティアの方が、様々な季節に合わせた掲示物を作ってください、児童への読書の意欲が高まった。</li> <li>• 読み語りの活動は児童も毎月、楽しみにしており、読書活動への興味関心が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「見守り隊」の方々が高齢化と共に、参加いただく人数が減ってきている。また、6月以降の暑さは想定以上のものがあり、見守り隊の方々の体調も心配である。引き続き、連携をとり、今後の取り組み方について、相談しながら継続していく必要がある。</li> <li>• 読み語りの時間と教育活動の中の「読書科」の時間を連動させるような年間計画を立てていくことが、充実した読書科の活動となっていくと考える。「読書科コンクール」への出品など、児童の意欲の向上に繋がる学習活動も盛り込み、計画を立てたい。</li> <li>• 今年度の活動の積み重ねを生かし、さらに充実した活動を行っていくため、各ボランティアと学校の担当者との打ち合わせを適宜取り入れていく。</li> </ul>

## 5 コーディネーターより

地域の方々とも協力し、学校応援団の代表として、日々努めてきました。「見守り隊」「学校図書館ボランティア」「読み語り」等、来年度もぜひ継続させていただきたいと思っております。今年度はサマーフェスタ、GOGOフェスタなどの行事や、学校の展示会のにぎやかな様子も見ることができ、開かれた学校として、地域、家庭と協力して子供たちの未来を育てています。今後も学校応援団の更なる充実を心掛けて取り組んでいきます。

## 6 学校長より

子供たちの安全・安心と豊かな学びのため、学校応援団の皆様の日頃の多大なるご協力とご支援に深く感謝申し上げます。

学校は、各町会自治会、地域の方々、PTA会長はじめ保護者の方々との連携をより一層深め、地域、保護者、学校が一体となった教育活動を推進してきました。

「見守り隊」の皆様には、今年度も雨の日も風の日も通学路の安全を欠かさず見守っていただきました。1日に2、3回になることもある下校時刻に合わせて、毎日登下校を見守っていただきました。

また、読み語り、図書環境整備のボランティアの方々には、五葛西の子供たちが本に親しみ、積極的に読書活動を行えるように、様々な取組を行っていただきました。

今後も、地域や保護者の皆様と学校との絆を一層深くし、教育活動のさらなる発展を目指してまいります。これからもよろしく願い申し上げます。

# 第六葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第六葛西小学校学校長 中山 和義  
 コーディネーター 関口 光治

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	141人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
ろくっこぶっく	週1回（毎週水曜日）	15人
読み聞かせ	各クラス月1回（不定期）	66人
登下校安全指導 旗持	週5日	(493人対象) *月2回募集
ネパール姉妹校協力委員会	不定期	20人
行事支援・六雄会	各行事	40人



読み聞かせスペシャル



近隣図書館の読み聞かせ



登校安全見守り 旗持



ろくっこまつり



ネパール姉妹校交流



親子リサイクル

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 1 PTA の活動は、本部を中心にボランティア制で実施2年目となり、登下校の安全見守りの「旗持ち」や「親子リサイクル」などが行われた。
- 2 「ろくっこクラブ」の活動は、「新一年生歓迎会」や縄文土器づくりを行い楽しく親子で過ごした。
- 3 読み聞かせ活動は、月1回対面式で行われた。季節の行事に合わせた学年合同の会も実施された。
- 4 「ろくっこぶっく」は図書館整備、近隣図書館の方はアニマシオンも実施。読書の関心を高めた。
- 5 「ネパール姉妹校協力委員会」はネパール姉妹校の卒業生で通訳をしてくださっている方と息子さん、ネパールで教育長のような方も来校され、直接交流をすることができた。

### <課 題>

- ・ 保護者の関わりが多い応援団は、子供たちの卒業と同時に人的な確保をどのように進めるかが常に課題である。
- ・ コロナ前の内容に戻すには、保護者の負担が大きいものもあり、新たな活動の工夫が求められている。
- ・ 気温上昇により、例年と同じ時期に活動できない行事がある。時期の検討が必要である。

## 5 コーディネーターより

家庭や学校だけでは体験できないことを応援団の皆さんのご努力・ご尽力により体験できていることは喜ばしい限りです。同時に、子ども時の快体験は成長しても忘れることのない思い出となり、次の世代に引き継いでいこうとする力になると考えます。

今年度は、「サマー・キャンプ」を秋開催にし、「ろくっこキャンプ」と名称を変更しました。また、昨年からは、地域の自治会の方も参加する「ろくっこまつり」を秋から冬開催に変更しました。

これからも季節の変更などの工夫をしながら、学校の活性化とともに地域の活性化にもつながる「応援団の活動」を充実させてまいります。代表として、さらに活動を推進したいと考えています。

## 6 学校長より

保護者・地域の皆様による「応援団活動」は、子供たちが「保護者や地域」の温かい気持ちを感じるよい機会を生み出しています。「うちの地域の子供たち」の意識は、地域の安全にもつながります。

今年度は、PTA によるボランティア制の導入2年目として成果と課題が見えてきました。

毎年、今年度の成果と課題を持続可能な活動へと形を工夫し、親子や地域の方も一緒に楽しめるさまざまな活動を実施してくださる応援団の皆様にご感謝いたします。

これからも子供たちの笑顔のために、蓄積してきたノウハウを活かし、さまざまな活動を工夫していただけましたら幸いです。

# 第七葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第七葛西小学校長 山崎 美佐子  
 コーディネーター 小田原 備一

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	46人
	学生ボランティア	3人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	年間12回(読書月間)	20
図書環境整備、 パネルシアター	週1回(火曜日)、年間17回	11
図書見守り	不定期	6
学習活動支援	年3回(凧作り・海苔づくり・ヤゴ救出)	10
七小田んぼ愛育会	不定期(常時活動・苗植え・稲刈り・脱穀)	10
登下校見守り	週5回	15



2年 パネルシアター  
(図書ボランティア)



3年 ヤゴ救出作戦  
学習(学校応援団)



5年 稲の田植え授業  
(七小田んぼ愛育会)

## 4 今年度の成果と課題

### <成果>

- ・学校応援団「七小田んぼ愛育会」と保護者の力を借りて、今年度も5年生の稲作（総合的な学習の活動）に取り組んだ。水田は、校庭内の4畳分と、四季の道（緑道）にある20畳分がある。四季の道の水田は、区より借り受けて本校専用として使わせていただいている。田起しから始まり、田植え、稲刈り、脱穀、縄ないと年間を通して取り組む中で、子どもたちに農業の大切さを学ぶとともに、SDGsについて考えさせることができた。児童にとって大変有意義な学習活動である。
- ・1月に学校応援団のメンバーの方を講師に招き、2年生の和風作り（生活科）に取り組んだ。日本の伝統文化である和風の仕組みや面白さを知ることができた。
- ・保護者で構成される「図書ボランティア」の活動では、「読み聞かせ」「環境整備」「図書室の見守り」を実施できた。特に「読み聞かせ」では、パネルシアターを行っている。図書ボランティアが、忙しい中、都合を付けて図書室に集まり、時間をかけて準備と練習をしている。そのため、大変レベルの高いパネルシアターを行うことができています。児童に読書の大切さと楽しさを十分に伝えることができた。
- ・登校時の「旗振り当番」の活動をPTAボランティアにお願いしている。PTA活動がボランティア形式となっているため、人員不足に苦労しているが、今年度も無事に実施できた。

### <課題>

- ・学校や地域の歴史等に精通している方が年々高齢となり、協力いただける方が少ないこと。
- ・PTA活動がボランティア形式のため、協力いただける保護者の数の確保ができないこと。
- ・少人数でも教育効果の高い活動ができる組織と内容の工夫が必要なこと。

## 5 コーディネーターより

今年度も、PTA役員やおやじの会と協力して、予定していた全ての活動を行うことができた。また、教職員の参加率も高く、相撲大会・オータムキャンプ・ともだち祭りと、数多くの企画に常時教職員が参加し、子どもたちと触れ合いながら楽しい時間を作ることができていた。また、おやじの会が加わったことで、父親と子どもたちの関わり合いも多かった。例えば、子どもと父親が一緒にカレーの材料を切り、調理をしたり、父親が遊びコーナーのホストとなり、子どもたちにゲームをさせて楽しませたりする様子が見られた。

課題は、人材不足である。取り組む内容を精選し、より効率的・効果的な活動を工夫することが必要になっている。協力していただける方々の負担を減らしながらも、未来を担う子どもたちの思い出に残るような学校になるよう努めていきたい。

## 6 学校長より

「学びがい・働きがい・通わせがい」のある魅力ある学校にするためには、子どもたち・教職員・保護者・地域が協働で動かなければ実現はできません。そのつなぎ役の一つが学校応援団です。学校応援団の方々には、ご自分の仕事の時間を割いてご支援・ご協力をしていただいております。経費援助をしたり、保護者や教職員が手伝ったりしながら、今後も子どもたちのために、『協力・共働・共育』をめざして連携を深めていきます。

# 南葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

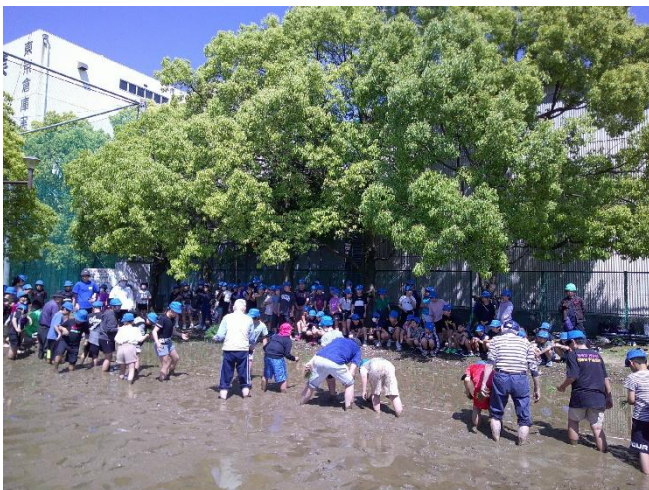
南葛西小学校長 長内 好美  
 コーディネーター 齋藤 憲一

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	520人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	年間2回	20人
安全見守りボランティア	毎日	490人
さざなみ会南葛西町会	田植え・稲刈り(年間2回)・のりすき等	20人
行事支援	テント張・受付等 不定期	40人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度、富士公園につきましては、工事中のためボランティア活動はありませんでしたが、今年度もPTA、南葛西町会の皆様方からのご協力をいただきました。

「さざなみ会さん」には、田植え・稲刈り・のりすきなど、3年社会科・5年社会科のまとめとして、子供たちが普段体験できない貴重な体験をさせていただきました。教室だけでは学べない経験や知識を、身をもって感じることができ、子供たちの視野を広げることにつながりました。子供たちが、地域の一員であることを自覚し、地域への愛着が深まるように、今後も学校と地域社会の連携を深め、子供たちの成長を支援していきたいと思えます。

保護者からの応援団では、読書活動のさらなる充実に向けて、読書活動の支援（お話し届け隊）のおかげで、読書に対する意欲の向上につながっています。

登校支援である旗振りにおいては、児童の保護者のご協力のもと旗振り活動に取り組んでいただき、事故等がなく安全に登校することができました。

### <課 題>

図書ボランティア（お話し届け隊）の確保と継続が課題となっています。継続的な活動のためには、子供の豊かな心を育むために必要な活動であるという意義をしっかりと伝えていくことが必要不可欠です。そのために、今後も地域との連携を深め、学校と保護者、地域が協力していけるように対応していきます。

## 5 コーディネーターより

今年度も多くのボランティアの皆様の温かいご支援に、心から感謝しております。皆様の献身的な活動によって、子供たちの笑顔を引き出すことができました。

学校、保護者、地域が連携してボランティア活動を行うことは、子供たちの成長をサポートし、より良い地域社会を築く上で、非常に重要なことです。それぞれの主体が協力し、互いの強みを活かし、さらに連携を深めていきたいと考えています。

これからも、『チーム学校』をキーワードに町会や自治会をはじめとして、保護者、地域とのかかわりを密にして取り組んでいきます。

## 6 学校長より

今年度も、保護者・PTA・町会、地域の皆様の協力をいただき、学習活動、教育環境、健全育成において多くのご支援をいただくことができました。特に、ご多用の中、南葛西町会・さざなみ会の皆様方から多大なるご協力をいただき、「田植え」「稲刈り」「のりすき」等の充実した体験型の教育活動をすすめることができました。

これからも、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、「地域を大切にする」子供の育成に努めてまいります。

# 南葛西第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第二小学校長 川浦 孝彦  
 コーディネーター 藤野 尚志

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	40人
	学生ボランティア	5人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回(金曜日)	15人
図書整備	週1回(金曜日)	15人
登下校見守り(地域)	週5回	1人
田植え・稲刈り体験	学期1回程度	12人
学習補助	不定期	17人

【5月・新体カテスト補助】



【9月・ミシンお手伝い】



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年は、新しい活動として、さまざまな学習に補助として学校応援団として地域の方に協力してもらった。1学期には、新体力テストの補助として、各担当場所で子供が正しく運動できるよう見守ってもらった。2学期には、家庭科のミシンの学習の際、各グループ（5，6人）の中に入り、スムーズにミシンの学習ができるよう支援してもらった。3学期には、マラソン大会で待機場所の児童管理やコース横で安全管理を行ってもらった。

これまで、読み聞かせや図書室の環境整備、朝の旗振り、5年の田植え、稲刈りを行ってきたが、これまで以上にたくさんの方に学校に来てもらった。今後も、子供たちの健やかな成長のために、地域や保護者の協力の下、幅広い協力をお願いしていきたいと考える。

### <課 題>

地域の良さがあっても、学校側がどう教育活動に取り入れていくかが課題かと考える。田植え・稲刈りといったすでに根付いた学習の他に、今後新たに始めた活動においても、伝統となるよう継続していけたらと考える。その際、地域の方は、ずっとこの土地に残るが、教員は、ある程度の期間で異動がある。学校として、継続していける体制づくりが課題である。

## 5 コーディネーターより

地域の皆様には、日頃より本校の児童のためにご尽力をいただき、ありがとうございます。地域の良さを生かした田植えや稲刈りといった活動は、教室では体験できない活動であり、地域の方々に感謝しています。本好きの子供を増やすため、保護者有志による毎週行われている図書館整備や毎月1回行われる低学年への読み聞かせは、本好きの子供を育てるのにとっても効果があると聞いています。新しい活動も含め、今後も子供たちの笑顔のため、活動を続けていいただけるようご尽力をお願いいたします。PTA・地域の皆様、今後どうぞよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

今年度もPTA・地域の皆様には、本校児童のためにご協力をいただき、ありがとうございました。これまでの活動に加え、今年は、新たに杉山様を中心に学習補助にたくさんの方々に参加していただきました。1学期には体力テストや水泳指導の補助、2学期には運動会前にラジオ体操の講師や家庭科のミシン指導と、子供たちにとって達成感や充実感だけでなく、教員にとってとてもスムーズな運営になったと大いなる支援に感謝しています。3学期に行われるマラソン大会にも、たくさんの方々に協力をいただく運びになっています。こうした地域に愛される学校を目指し、今後も子供たちの笑顔のために学校は努力していきますので、今後も幅広いご支援・ご協力をお願いします。

# 南葛西第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第三小学校校長 佐久間 貴広  
 コーディネーター 森 友希

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	338人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館整備	図書館の本の修理・書架の整備等 児童への読み聞かせ（月1回程度）	34人
下校見守り	通学路での登下校安全見守り・横断歩道での旗振り（毎日）	315人
安全教室（自転車）補助	自転車の安全な乗り方の指導支援	8人
行事支援	運動会時の受付・会場設営・学校周辺安全管理	30人
生活科・総合的な学習の時間支援	校外学習時の往復時の安全確保等	16人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度は、限られた授業時数の中で、いかに効率的に学習や行事を進めていくか、教職員とボランティアが一体となって取り組むことができた。「運動会」では、コロナ禍以前に実施していた全校競技「大玉送り」の復活、赤白応援合戦を新たに追加し、昨年度よりもバージョンアップした内容となったが、競技数は増えても午前中で全プログラムを終え、下校まで完了した。PTA役員ならびに関係者様には、学校の運動会運営にご理解いただきながら、テント設営・会場受付・学校周辺の見回り・後片付け等を組織的に行っていただき、スリム化を図ることができた。
- ・図書ボランティアの活動では、開校35周年の記念品としてPTAより本を寄贈していただいた。合計286冊の本が学校図書館に新たに増えたことに伴い、ブックトラックを設置し、図書委員会と共同で装飾を行い、図書室の環境整備に積極的に取り組んだ。また、本の選定から読み聞かせまでを熱心に行っていただき、児童の読書への興味関心へとつながった。他にも、教員が薦める本の紹介コーナーの設置や、教職員による読み聞かせ等、図書ボランティアの活動から波及し発展的な取組へとつながった。
- ・毎朝、児童の登校時に、道路の横断の見守りとして学区域内の主な横断箇所、に、輪番で旗振りとして児童の横断の見守りを行った。保護者の他に、地域の熟年者の方々にも協力を仰ぎ、登校時に加え、下校時の見守りもしていただいた。このような交通安全活動により、交通事故の未然防止につながっている。

### <課 題>

「学校応援団協力リスト」を有効に活用できなかった。来年度は、年度当初にリストを作成し、早い段階で各学年の年間指導計画に組み込み、学校応援団協力者を効果的に活用することができようにしていく。そして、学校外部とのつながりをさらに広げ、人材を確保していく。

## 5 コーディネーターより

年々、児童数の減少傾向が続いている中でも、学校の教育活動はもちろんのこと、各種行事を通じたPTAや地域の方々の関わりのもと、子供たちの笑顔のために尽力していただき感謝申し上げます。児童と保護者の安全・安心を第一に考えながら、より充実した取組を実施するにあたり、学校職員はさぞ大変だったことと思います。そのような中、学校ボランティア・PTAと連携して新たな取組も含めて今年度無事に活動できましたことを嬉しく思います。

今後も、地域や保護者の方々にさらに働きかけて、様々な専門分野の方に協力していただき、幅広く教育活動のお手伝いができるようにしてまいりたいと思います。

## 6 学校長より

多くのボランティアの皆様のご協力により、教育活動及び児童の安全な登下校につながっていることに感謝の念でいっぱいである。教育活動の充実を図るうえで、こうしたマンパワーはもちろん、子供たちを地域の宝として大事に見守り、サポートしてくださる保護者や地域の思いを大切に、より効果的に生かすことができるよう、「学校応援団協力リスト」の活用も含めて計画的に協力依頼できるようにしていきたい。

# 西葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西葛西小学校長            森川 康一  
コーディネーター        中村 岳

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	150 人
	学生ボランティア	0 人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
野鳥の巣箱づくり・巣箱かけかえ	7月・12月	15人
図書整備ボランティア	毎週火曜日	10人
ビオトープ管理	毎週木曜日	4人
うさぎの世話	長期休み期間	1人
読み聞かせ	年5回	50人
学習支援	都度	100人



巣箱づくりの様子



巣を作っていた巣箱

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 野鳥の巣箱づくり、巣箱かけかえを実施できた。これは、「東京都愛鳥モデル校」の事業として、学校応援団が主催し、東京都鳥獣保護員、PTA、区立行船公園の協力・連携のもと、毎年行っているものである。今年度も、7月に「巣箱づくり」、12月に「巣箱掛け替え」を行った。巣箱づくりには28組の保護者と児童が参加し、鳥獣保護員からの鳥獣保護に関する説明ののち、木材の切断、やすりかけなどを行い、木工細工を楽しんだ。作った巣箱は、12月に校庭や行船公園の木に掛け替えた。地域の方々とともに、自然を愛し楽しむ心の育成を図っている。
- 四季折々の植物や昆虫、生物に触れることができ、授業やすすくすくスクールでも活用できる場になるようビオトープの維持管理を行っている。子どもたちは登下校時や休み時間等にビオトープを観察している。自然に触れる機会の少ない子どもたちにとって、身近に観察ができる環境は単に教科学習にとどまらず多くのことを学ぶ機会になっている。

### <課 題>

- 巣箱づくりに関して活動する人材が固定化されていること等から、巣箱づくりの進め方に関するノウハウが十分に引き継がれていないことや、PTA との連携の仕方が課題として挙げられている。学校応援団経費を効果的に活用して材料調達を簡略化できる工夫や、参加者の保護者がより積極的に制作に関われるような作業工程の工夫をしていく必要がある。
- ビオトープ管理は、新しい人材が増えていないことが課題となる。中心となっているのは地域の方だが、その他は在校生の保護者であり卒業と同時に活動をやめてしまう。昨年度から2人の在校生の保護者が参加している。より活発な活動を目指し、人員増加を図っていきたい。

## 5 コーディネーターより

- 巣箱づくり、巣箱かけかえが実施できてよかった。子どもと保護者、地域の方が協力してできる活動なので、学校応援団の意義を十分に感じることができる。今後も継続的に実施していきたい。

## 6 学校長より

- ビオトープは本校の開校 20 周年の時に作られ、学校応援団の方のご協力を得ながら大切に守られてきています。四季折々の草花や昆虫が観察でき、春から秋にかけて子どもたちもよく観察していました。また、夏休みには巣箱づくりが実施され28組の親子が参加しました。東京都鳥獣保護管理推進委員の方のご協力もいただきながら、学校や近隣の公園にやってくる野生のスズメやシジュウカラの生態を学び、鳥たちが活用できるように作製しました。12月には作製した巣箱を実際に木にかける活動も行いました。今年度はほとんどの巣箱に、実際に鳥が巣を作っており、子どもたちはもちろんのこと、教職員や学校を訪れた保護者も興味深く鑑賞する様子が見られました。教育活動の中にも効果的に取り入れながら、応援団の方、保護者の皆様、地域の方と共に、自然を大切に育てる子どもを育てる活動を今後も活発に行っていきたいです。

# 新田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新田小学校長                      鈴木 剛司  
 コーディネーター                座間 久美子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	250人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登校見守り支援	毎日	4人
安全見守り支援	4月、2月	35人
学習支援	書道教室（3～6年） 12月、1月	1人
	読書活動支援	15人
	図書団体貸し出し支援	8人
	SDGs学習支援（2年ヤゴトープ）	3人
環境整備支援（畑）	不定期	3人
環境整備支援（花壇、池）	不定期	3人
環境整備支援（清掃）	6月、12月	25人
学校地域行事支援	お父さん会 不定期	25人

### SDGs 学習支援（ヤゴトープ）



ヤゴの救出(3年生)



いかだづくり(2年生)

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 昨年度「ヤゴトープ」を設置した3年生が、プールの排水前にヤゴを救出して育て、トンボの羽化に成功した。学校応援団の皆さんの手助けや、教員へのレクチャーのおかげである。今年も2年生が、水泳指導が終わった後のプールにヤゴトープを作った。来年度のトンボの羽化が楽しみである。
- 今年も、学校農園では、今年度もすくすくスクールと連携した活動を行い、子供たちは野菜の栽培・収穫を通して、自然の大切さ、人との触れ合いを実感することができた。天候や害獣の影響が心配されたが、学校農園に携わってくださる応援団の方のおかげで、計画通り実施することができた。
- 学校周囲の樹木の整備には、地域の皆様やお父さん会メンバーが力を貸してくださった。学校行事のクリーンデーにも多くの保護者が参加し、親子で地域のきれいにすることができた。
- 読書活動支援「えほんのとびら」、図書団体貸し出し支援は、毎回、子供たちが楽しみにしている。
- 3年生以上は、席書会の指導を20年以上受けている。「書道」を通して、日本の伝統の良さを学ぶことができた。
- お父さん会は、運動会などの学校行事、校庭キャンプなどの自由参加行事、ふれあいフェスティバルなどの地域行事と、様々な場面で子供たちの支援を行うことができた。

### <課 題>

- 昨年度、取り掛かった池の整備がまだ途中である。また、池のコイやメダカが鳥や猫に狙われたのか数を減らし、子供たちが心配していた。整備と併せて、生き物が安全に住む環境を整えたい。
- 以前からの課題であるが、基本的に、新田小の保護者は新田小の学校応援団の一員という気持ちを皆さんにもってもらえるように、広報活動を行う。様々な活動への参加者を増やし、活動をさらに充実させていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度も新田小学校の学校応援団は、すくすくサポートセンター、保護者、PTA、地域の皆様、お父さん会、新田町会、公社新田住宅自治会の皆様で成り立っており、いろいろな活動をより計画的に組織的に行っております。今年度も、多くの方に参加していただきました。お子さんが卒業しても関わってくださる方が多いことも、新田小の学校応援団の良さだと思います。

これからも、新田小の子供たちのために、たくさんの皆様で見守り、たくさんの手で助け合い、より良い学校づくりをお手伝いしていきましょう。

## 6 学校長より

昨年度は初めて取り組んだ「ヤゴトープ」でヤゴがたくさん育ち、ヤゴの羽化まで子供たちが見届けられました。今年も「ヤゴトープ」を作り、毎年を取組として継続させることができます。

また、読み聞かせ、校庭キャンプ、サツマイモ掘りなど、子供たちが喜ぶ活動を学校応援団の皆様が継続して行ってくださいました。皆様の活動により、子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。心から感謝申し上げます。今後も子供たちのために、保護者・地域の皆様、PTA、お父さん会、新田町会、新田住宅自治会の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

# 宇喜田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

宇喜田小学校長            青山 美和子  
コーディネーター        増田 正敏

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	55人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
登下校の安全見守り	週5回	7
学校図書館環境整備	週1回（毎週金曜日）	16
図書選定	月1回	15
読み聞かせ	年間9回	17

登下校の安全見守り



読み聞かせ



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

毎月、学校便りを届ける際に下校時刻表も配布し、登下校の安全見守りに御協力をいただいている。今年度も変わらず、挨拶や声掛け等、児童との交流を進めながら、優しく見守っていただけた。地域の方々に見守られていることを感じながら、地域への愛着の心を育てられている。

学校図書館整備の方には、学校図書館環境整備の活動を行っていただいた。地域図書館との連携もあり、学校図書の商品登録作業や破れた本の修理、掲示物の作成等、貸し借りしやすい環境や、季節を感じられる掲示の中で本に親しめる環境を作っていた。

図書選定や読み聞かせにより、授業に関する本や季節を感じられる本、読書の幅を広げられる本等が教室にあることで、読書への関心を高めることにつながっている。

### <課 題>

各種の応援団では、常時協力者を募集していますが、新規協力者がなかなか集まらない状況が続いており、引き続き方法を工夫して勧誘をしていきます。学校応援団の皆様気軽に活動していただける環境を整え、特に学生から子育て世代を含む協力者の拡充が必要だと感じています。このことを踏まえ、持続的・発展的な学校応援団の活動について、幅広く検討していくことが課題となっています。

## 5 コーディネーターより

学校応援団の皆様御協力の下、今年度も学校や子どもたちの活動を支援することができました。今後も支援体制の充実に向け、団員同士が交流できる機会の設定や、学校との連絡体制の整備など、団員同士のつながり、学校との連携を更に深めていきたいと考えています。

## 6 学校長より

日頃より、宇喜田小学校の子どもたちのために御支援を賜りありがとうございます。児童一人一人にタブレット端末が配布され、様々なことが簡単に調べられるようになってきました。しかしながら、本を読むという活動は、自ら考えていく力や豊かな心の育成につながるものです。

学校図書環境を整えていただいているおかげで、子どもたちにとって本の魅力が自然と感じられるようになってきています。本当にありがとうございます。

登下校の安全見守りの方には、登下校時の見守りと共に、児童への温かい声掛けをしていただき、心より感謝申し上げます。

今後とも、子どもたちのために、応援団の皆様と協力しながら、児童にとって安心できる・魅力ある学校にしていけるようにと思っています。今後とも、無理のない範囲での御協力をお願いいたします。

# 清新第一小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新第一小学校長      金木 圭一  
 コーディネーター      鶴澤 貴範

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	36人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
日本舞踊	月2回～4回	5
フラダンス教室	月1回～2回	1
おはなし隊	12月と3月「お話し会スペシャル」 7月と9月（年4回）	2
パステル画	年4回	8
盆踊り体験	年1回	6
わくわく広場	年1回	6
サポート会議	年3回	6
折り紙	年10回	1
けん玉	年3回	1



盆踊り体験



パステル画

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

活発なPTAボランティア活動が卒業後のOB・OGにつながっていくスムーズなボランティアシステムとなっています。今年度も多くの方々が登録をし、子供たちのために様々な企画を実施しました。

今年度は、わくわく広場における活動、フラダンス教室や日本舞踊教室、おはなし会、パステル画など、様々な活動を行うことができました。発表の場が増え、活動が盛んになっています。

すくすくサポート会議で学校応援団に関して検討し、児童のための活動を広げていきたいと思えます。児童の安全・安心を最優先に考えながら、できる範囲の中で計画し、活動を進めることができます。

### <課 題>

児童数が約700人程度で、わくわく広場での活動を見直していく必要があります。PTAとも連携し、わくわく広場（PTAお祭り）の内容を次年度検討し、変更していかなければならないと思えます。ボランティアの募集をかけ、今後も新しく応援団に参加していただけるよう、継続した活動につなげていきたいです。

## 5 コーディネーターより

今年度も前年度に引き続き、日本舞踊、フラダンス教室、おはなし隊、パステル画、盆踊り体験、わくわく広場、サポート会議が開催されました。折り紙、けん玉が新しく活動として加わりました。子供たちも楽しんで参加しています。3学期には、「お話会スペシャル」を開催する予定です。今後とも、学校、PTA、すくすくスクールと連携しながら、子供たちのために活動を行っていきたいと思っています。

## 6 学校長より

子供たちが様々な体験をしていくことは、成長過程において、自分の選択肢が広がることにつながります。また、体験の中で様々な人と関わることは、子供たちのコミュニケーション能力を培うとともに、地域の中で知っている人が増えるということです。学校応援団がその一翼を担い、地域の中で子供が育つ環境づくりに尽力いただいていることは、本当にありがたいことです。

子供たちがイベントのみならず、日本の伝統文化や昔遊びなど、様々な体験ができる機会を考案し、実践いただいていることについて感謝します。今後も学校応援団、PTA、すくすくスクールと連携して、子供たちのより良き成長を支えていきたいと思えます。

# 清新ふたば小学校 学校応援団 実践報告書



## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新ふたば小学校長      三柴 祐子  
 コーディネーター      山本 祐子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	190人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書応援団 おはなしクローバー	毎週金曜日	35人
読書応援団 こびとの本屋さん	毎週第一火曜日	10人
TOMODACHI PROJECT (ともプロ)	不定期	10人
お花咲かせ隊	月1回	15人
「見守り隊・歩き隊」	不定期	120人

おはなしクローバー



お花咲かせ隊



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

読書応援団（おはなしクローバー）は、毎月の本の読み聞かせと学期に1～2回程度のスペシャル企画を行っている。子供たちもクローバーの時間を毎回楽しみにしており、読書応援団（こびとの本屋さん）は、SSSと連携し学校図書館等の掲示等を工夫するなどの環境整備を季節ごとに行い、使いやすく楽しい雰囲気の図書館を維持した。TOMODACHI PROJECT（ともプロ）は、外国籍の保護者が安心して子供を学校へ送り出せるための活動で、外国人が多く通う本校にとって、コミュニケーション面の不安を徐々に解消した。お花咲かせ隊は、学校敷地内の環境整備活動を主事や飼育栽培委員会の子供たちと一緒にやっている。委員会の子供たちは、地域の方々と交流しながらの花の苗の植え付け等を楽しんでいる。子供たちが通る場所の花壇は、季節の移ろいを感じさせてくれている。見守り隊・歩き隊は、PTA・地域の方が協力して、児童が安心・安全に通学したり遊んだりできるようパトロールを行った。子供たちは、パトロールの方々との挨拶することも含め、地域の方々が見守ってくれているという安心感と地域への親近感を高めた。それぞれの応援団の方々との交流は、子供たちの成長に大きく関わっていた。

### < 課 題 >

本校は、2つの学校が統合してできた新設校である。10年が経過し、学校応援団の活動も充実したものになってきたが、さらに協力メンバーの増加を目指したい。年度当初の保護者会で、活動について周知するなどの広報活動を行っているが、年間計画を工夫するなどして誰でも参加しやすい体制を整えていきたい。

また、本校の学校応援団は、学生ボランティアが0名である。卒業生や教育実習生等にも積極的に声掛けをして、増加を図りたい。そのことにより、活動の幅も広げていけるとよい。

## 5 コーディネーターより

それぞれの応援団の活動は、活発に行うことができました。地域と子供たちとの交流の良い機会の一つとなっています。子供たちと関わることにより、応援団のメンバーも楽しく活動し、やりがいも感じていました。

少しの時間であっても地域と子供たちとの関わりを大切に、さらに活動を充実させていきたいです。各グループの活動の年間計画で時間を設定するなどして、誰でも参加しやすい体制を構築し、少しでも清新ふたば小学校の教育活動の支援ができればと思っています。

## 6 学校長より

清新ふたば小学校の教育活動をさらに充実させるためには、学校応援団団長・副団長をはじめ、各応援団のリーダーや副リーダーの方々、そして多くの応援団のメンバーの方々の支えが必要です。今年度も子供たちのために様々な活動をしていただき、感謝しております。

今後も学校応援団の皆様のお力をお借りしながら、教育活動を推進してまいります。皆様の活動がますます充実していき、その輪が広がっていきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

# 臨海小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

臨海小学校長 西澤 盛和  
コーディネーター 高原 賢一

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	23 人
	学生ボランティア	6 人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月1回	各回15人以上
図書館整備	月2回	各回5人
登下校見守り	週5日	254人
安全教室	年1回	10人
環境整備	不定期	各回10人
挨拶運動	不定期	5人
校外学習の同行	不定期	各回10人



登下校の見守り



図書館の整備

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 図書館の本の管理が電子化されたので、その情報についてもボランティアの方に共有することができた。また、本の整理や修理、学年の実態に合わせて学級文庫を入れ替えたりされることで、児童が積極的に本に関わるようになってきた。毎年季節に応じた飾りつけを計画してくれることで、児童が行きたいと思える親しみやすい図書館となった。
- 定期的な読み聞かせにより、児童が本に対する親しみを感じて興味関心が高まっている。
- 日々の登下校を見守ることで、保護者が安心して児童を通わせることができている。
- 2年生「まちたんけん」では、校外学習等の同行ボランティアの参加によって安全確認に関わることができる人数が増え、児童が調べたい場所をより多く選ぶことができ、児童が主体的に取り組むことができた。また、担任も安全確認よりも学習についての声掛けを多くすることができ、児童が楽しく学習することができている。

### <課 題>

- 学校応援団の取組がよりよくなるように、これまでの活動を振り返って情報を蓄積していく。
- 学校応援団として活動してくださっている保護者の方々が卒業等によりいなくなることで、ボランティアが減っている。より多くのメンバーを募っていく必要がある。
- 保護者が「学校応援団」についてさらに認知、理解していくよう発信していく。そして、積極的な参加を促していく。

## 5 コーディネーターより

- 学校応援団として、子ども達のためにどんなことができるか日々考えて活動しています。子ども達の笑顔を見ると、嬉しさとやりがいを感じます。また、これまでにない取組についても積極的に考え、何ができるか考えていきます。今後も学校、保護者、地域と連携して、よりよい活動ができるように頑張っていきたいと考えています。

## 6 学校長より

- 今年度も様々な場面でご協力をいただき、児童も毎日楽しく生活することができています。学校応援団の方々をはじめ、日頃から学校の教育活動のために様々な支援をしてくださっている保護者・地域の皆様に感謝いたします。  
特に、毎朝登下校の見守りをしていただき、児童の安全を守ってくださっていることは、子どもにとっても学校にとっても大きな安心となっていて、その分教職員は子ども達の学びのために全力を尽くしていきます。  
今後ともご協力いただくことが多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

# 東葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

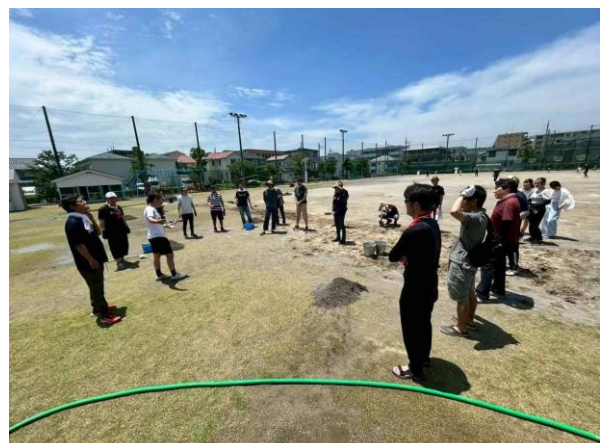
東葛西小学校長 武内 広明  
 コーディネーター 横内 人志

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	36人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
芝生ボランティア	朝学習の時間で決まった日	20人
本の読み聞かせ	不定期	16人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

#### (芝生ボランティア)

毎週土曜日 午前8時より芝生の水やりを実施。参加する親子で楽しく水やりをしています。身近な“みどり”と触れ合う機会を多くして、子どもたちの大切にしている心と、親子の触れ合いの時間となっています。

今年の芝植えイベントは6月に TOKYO23FC との芝生植替え交流会として、チームの選手と子どもたち（すすくスクールと地元の少年サッカークラブ、少年野球クラブなど）やその保護者の方と一緒に夏芝の植替えを行いました。芝の植替えだけでなく、選手とのサイン会やサッカー交流などを行い笑顔あふれるイベントとなりました。7月の東葛西小学校おやじの会主催の毎年恒例の親子キャンプでは、子どもたちみんなで芝生の水やりや剥げた芝生の植替えなどを楽しみました。散水器を使った水撒きでは、ずぶぬれになりながら楽しんでいました。8月には新たなチャレンジとして、芝生の移植をし、芝生エリアの拡大に挑みました。芝生整備をした個所から出た余剰の芝生を活用して、校庭の南西側に移植をしました。移植後はうまく育つか不安ではありましたが、しっかり根付いてくれました。

#### (図書ボランティア)

季節や行事に合わせて本の選定をしているため、児童が本への関心を高めていることが伺えます。読み聞かせや朗読、群読など、児童の実態に合わせて表現方法を工夫しています。そのため、児童が本の内容に対する想像を広げ、楽しむ機会となっているようでした。また、朝読書10分間で1～2冊読み聞かせをしています。児童にとって充実した時間になっていると担任の先生から聞くことが多いです。

### <課 題>

#### (芝生ボランティア)

課題としては、冬芝の育成。冬季に備え冬芝の種をまいていますが、なかなか根付かず冬の期間は、校庭にみどりがなく寂しい状況になっています。なんとか、冬芝が育成できる環境を整えていきたいと思っています。

校長先生をはじめ学校に関係する皆さんにご理解をいただき芝生張りを初め15年以上が経過しました。開始当初は、ほんの一部から始まりましたが、おかげさまで現在のところまで拡げることが出来ました。芝生が憩いの場や親子の交流の場になるように今後もしっかり育てていきたいと思っています。

#### (図書ボランティア)

課題として、ボランティアの人数があまり増えず、同日に全学年で読み聞かせ実施をすることができない。また、読み聞かせに対して難しいというイメージをもつ保護者が多いため、ボランティアの人数が増えないという実態がある。

## 5 コーディネーターより

昨年度の活動を軸に、保護者お父さんの集まりである、おやじの会が今年度も校庭の芝生管理を行いました。今年度も TOKYO23FC（プロサッカークラブ）の選手との交流しながらの芝植えやおやじの会が企画する、親子サマーキャンプでも芝植えを行い環境教育に繋げる活動を行いました。

また、図書ボランティアの方々が児童のために、本の読み聞かせをしてくださいました。児童が毎回楽しみにしていると、先生方からも聞きます。子どもたちの本の世界が広がり、読書を楽しむ児童が増えていくといいなと思っています。

今後も、東葛西小学校に関わる大人の力を結束し、様々な環境整備と子ども達へ多くの体験・経験を届け、子ども達の可能性を広げる活動に繋がることを期待しております。

## 6 学校長より

毎年、校庭の遊具周辺などを中心に（芝生ボランティア）の方には手入れをしていただいています。児童も芝生で遊ぶことを楽しみにしており、休み時間になるとたくさんの児童が出ています。また、（図書ボランティア）の方の読み聞かせなどは、どの学級も児童が集中して聞いており、図書の時間では、シリーズ本を手取るなど、図鑑だけでなく物語に挑戦している姿を見かけます。多くのボランティアの方に参加してもらい、学校環境を整えていただいていることに感謝申し上げます。

# 瑞江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

瑞江小学校長                    牧岡 優美子  
 コーディネーター            花輪 牧子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	42人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
朝の交通安全見守り	登校時の安全見守り	3
下校時安全見守り	すくすくスクール下校時の安全見守り	4
花ボランティア	校内畑・花壇の整備、畑での学習支援	11
読み聞かせ	朝学習時、全学級での本の読み聞かせ	20
図書室整備	本の修理や書架の整頓、図書室の整備	20
瑞小まつり	模擬店（焼きそば）の出店	4



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「花ボランティア」は、瑞江小敷地内の花壇・畑「みずえの園」の整備を行っています。児童が学習用に植えた作物の世話のほか、季節に合わせた花や野菜の整備を行い、年間を通して畑や花壇を華やかにしました。児童が苗の植え付けや作物の収穫をする際には、作物に関する話や作業の仕方の説明などを行い、学習支援においても活躍しました。
- 「読み聞かせボランティア」は、令和7年度は年間26回の読み聞かせを実施しました。読み聞かせた本を毎回ノートに記録し、読書科担当教員と情報共有をしています。また、「図書館整備」は、実際の図書館と同様の分類にするとともに、児童が図書に親しみやすく使いやすいよう整備しています。図書館司書とも情報共有し、図書室整備を協力して行っています。
- 町会を中心とした地域の皆様には、登校時における門前での挨拶や、すくすくスクールからの下校時などに見守り隊として児童の安全確保、健全育成のための協力をいただいています。その他に、小松菜畑見学、各種事業所見学等にも町会・地域の方々の協力をいただいています。

### <課 題>

- 「読み聞かせボランティア」活動は、コロナ禍で活動が一旦中止になったことをきっかけに保護者の参加が減ってしまい、OB・OGの方の協力なしにはできない状況です。
- 「見守り隊」については、町会からの参加者が減少し存続の是非を検討しているところです。新しくボランティア活動に参加してくださる方が少ないところが課題です。
- 「花ボランティア」は現参加者の方々が徐々に高齢となり、今後も活動していくことができるよう参加者の募集やリーダーの引継ぎを模索しています。

## 5 コーディネーターより

- 登校時の旗振りやあいさつ運動、すくすくスクールの下校時の安全見守りの活動を通して、子どもたちの安心安全な学校生活を支えることができました。
- 有志のお父さんで構成したグループ「ダディーズ」は、OBの方の力も借りて子どもたちのイベントにご協力いただいています。参加者を増やすためにさらに周知を図りたいです。
- 「花ボランティア」の活動では、地域の方を中心に子どもたちの学習の場である畑や花壇の整備をしていただきました。今後も継続的に活動していただけるようPTAや町会とも連携し、計画を立てていきます。

## 6 学校長より

本校の学校応援団は「花ボランティア」「読み聞かせボランティア」「挨拶・見守り隊」が主な活動です。「花ボランティア」は毎週土曜日の午後、年間を通して地域の方々が集まり、苗植えから草取り、整地、植え替え等の活動を継続して行っています。今年度も猛暑の中、毎日数回水まきや、ひまわり迷路の整備をしてくださり、子どもたちの学習活動を充実させてくれました。大きな大根やきゅうり、ピーマン、ナス、ジャガイモ、サツマイモ等の野菜をボランティアの方々と一緒に収穫し、食育にも役立てることができました。「読み聞かせボランティア」は、金曜日に各学級の読み聞かせを子どもたちが楽しみにしています。「挨拶・見守り隊」は、登校時の挨拶やすくすくスクールの下校時の見守りで、子どもたちの安全を見守ってくださっています。

本校の子どもたちを支えてくださる熱い思いに、感謝しかありません。今後も「チーム瑞江小」として、学校応援団の皆さんと一緒に教職員一同、力を尽くしてまいります。

# 春江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

春江小学校長            小林 麻子  
 学校応援団団長        芦田 孝二            コーディネーター    三羽 由紀子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	102人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読書活動支援	各学年 月2回程度(水・金)	66人
学習活動支援	不定期(必要に応じて)	15人
安全安心支援	毎朝の登校時の見守り	6人
栽培活動支援	不定期(必要に応じて)	15人



【読書活動支援 環境整備】

【学習活動支援 環境整備】

## <成 果>

- ・読書活動支援（読み聞かせ、校内環境整備）では、各学年とも月に2回程度の応援団の方々による読み聞かせ活動を行った。保護者の方にも教育活動に参画していただく場となった。また各階に読書に関わるような掲示や学校図書館整備の作業を進めることができた。
- ・安全安心支援では、毎朝の登校の見守り活動を行った。見守りを通して安全の確保をしていただいた。
- ・学習支援では、かけ算につながる掲示や体力テストの補助を行った。
- ・栽培活動では、夏場の暑い中数日に分けて学校園の草取りを行っていた。
- ・活動の様子を保護者に参観していただき、学校応援団の活動に関心をもってもらった。

## <課 題>

- ・応援団の活動について経験のない方にも気軽に参加していただけるように、情報の発信や活動時間の設定等、見直しを図る。

## 5 応援団長より

- ・今年度も体力テストにおけるスポーツ支援や、農園ボランティアによる草むしり等の活動も定着してきました。またボランティアしてくれる保護者の数も増えてきており、より広がりを見せています。

「だれでも参加できる応援団」を目指して、全ての地域の方や保護者にも分かりやすい活動を目指して取り組んできました。「できる時にできる人が、できることを。安全で元気で楽しい学校生活を子供たちのために」の精神は確実に根付いています。今後も、春江小学校学校応援団が充実していけるよう、心がけていきます。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、今年度も様々な学校教育活動でたくさんのお力添えをいただき、深く感謝しております。本当にありがとうございます。登校時の見守り、読み聞かせ・校内掲示、学校園の草むしり等に取り組んでいただいたことで、子供たちの学校生活が安全で楽しく豊かなものになっています。今後も、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

# 新堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新堀小学校長 地平 憲司  
コーディネーター 笠井 雅世

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	70人
	学生ボランティア	3人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全見守り隊	不定期（毎日）	8人
校外学習の安全の見守り	校外学習時に要請	30人
運動会 学芸会 行事ボランティア	年3回	20人
学校図書館整備ボランティア	月2回	15人
新堀小フェスティバル	年1回	30人
ふれあいガーデン作り手伝い	年1回	2人
さつきのさし芽指導	年1回	4人



みなさんのおかげで いろいろな体験ができています！

## 4 今年度の成果と課題



### <成 果>

運動会や校外学習、マラソン大会などの学校行事の実施に対し、安全対策を十分に考え、快くボランティアを引き受けてくださった方々のおかげで、滞りなく運営ができた。

「ふれあいガーデンづくり」では環境委員会の児童とたくさんの花を植えることができた。また、今まで花植えのボランティアに参加していた方が、今年度も家で寄せ植えを作って学校玄関に飾ることを継続してくださっている。

「学校図書館整備ボランティア」は、学校図書館支援員と連携して整備を進めてくださっている。お父さんの会の「夏祭り」は、午後3時からの開始と共にたくさんの来場者を迎えることとなった。昼間は焼きそばやかき氷の模擬店、夜はキャンプファイヤーや花火で盛り上がり、その輪の中に教員も参加して地域の方々との交流を深めることもできた。

「新堀小フェスティバル」は今年で4回目となった。児童が主体となる「新堀まつり」とのコラボとし、児童が準備した各ブースに加えて学校応援団の「防災クイズコーナー」もある、大変にぎやかな会を実施できた。2月には、地域に住む相撲部屋の親方と本校卒業生である藤の川関にも来ていただき、「ちびっこ相撲大会」を開催する予定となっている。今後もみんなで力をもちより、活動を盛り上げていきたい。

### <課 題>

活動人数、人材の確保が継続した課題となっている。また、運営側にも舵取りをする経験者が少ない現状がある。一部の方に負担を偏らせず、皆で進めていくための方法を考えていきたい。中心となって活動してくださる方や保護者の方の参加を促進していくことが今後の学校応援団の充実につながると思う。

## 5 コーディネーターより

今年度は、防災教育を絡めた「餅つきフェスティバル」を1月に開催する運びとなりました。また、「ちびっこ相撲」も継続することができ、うれしい限りです。これからも開催方法の工夫を考えていきたいです。今後も子供たちのための活動を学校とともに積極的に行っていきます。

## 6 学校長より

学校応援団が主催する「ちびっこ相撲」は4年目を迎えた。防災教育を絡めた「餅つき大会」を1月に開催してくださることもありがたい。開催にこぎつけることができたのは、コーディネーターの尽力の賜物である。今後も継続していくためには、協力してくださる人材確保等の課題解決も必要である。

# 下鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田小学校長 黒澤 義和  
コーディネーター 宇佐美 慎一（応援団長）

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	74人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
交通安全	毎日	9
図書ボランティア	読み聞かせ学期に各学級1~2回 図書室の整備月に数回	44
栽培ボランティア グリーン	随時	5
下っ子助け隊	行事等	3



毎朝、交差点に立って子供たちの安全を守っています。



臨場感たっぷりに読み聞かせをしています。



6月には新しい校舎の木に付ける樹木プレートを作成しました。



季節やイベントを意識して、図書館の飾りつけをしています。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

交通安全は9名の学校応援団に加え、地域の協力者5名により、毎朝の児童の登校見守りを実施した。今年度は2学期から校舎移転により通学路や各登校班の登校経路に大きな変更があったが、主要な信号だけでなく、車通りの多い交差点に立って、無事故に終えることができた。

図書ボランティアは読み聞かせや図書室壁面の装飾など、保護者を中心にそれぞれの都合のよい時間を見つけて実施した。読み聞かせでは、地域の協力者やOB・OGの協力も篤く、毎学期、全学年で実施することができた。

栽培ボランティアは校舎移転もあり、栽培支援は難しかった。「樹木プレート」制作を行った。夏休みには児童対象の樹木プレート教室を実施し、85名の児童が参加した。制作した樹木プレートは近隣の公園の樹木にかけられ、好評を博している。

### <課 題>

それぞれの部門で、地域や保護者の力を借りながら子供たちの成長を応援することができた。一方、校舎移転により活動の範囲が狭められたものや、行事支援のようにスタートしたばかりのものもある。今後も学校との連携方法を引き続き検討していく。

## 5 コーディネーターより

下鎌田小学校の学校応援団は「交通安全」「図書ボランティア」「栽培ボランティア グリーン」に加えて、今年度は本校を卒業した児童の保護者にも声をかけ「下っ子応援隊」として、行事等のお手伝いのボランティアも発足しました。

どの部門もそれぞれの立ち位置で、「できる人が、できるときに」をモットーに、子供たちの安全のため、よりよい学校生活のために活動してきました。

今年度は校舎移転により交通安全では新しい通学路での登校支援、図書ボランティアは新しい図書館での装飾や読み聞かせ等々、変化の大きい年でした。その中でも、メンバーがそれぞれにできることを考え、活動することができたと思います。今後も地域と学校、保護者が一体となり、子供たちのさらなる成長に向けて活動していきます。

## 6 学校長より

今年度も学校応援団の皆様には、交通安全、学校図書館の整理や読み聞かせ、樹木プレート作りなどの活動に加え、統合後の卒業生の保護者による行事手伝い「下っ子助け隊」を発足させていただきました。今年度は夏に新校舎に移転し、今までと勝手が違うこともたくさんあったかと思えます。学校だけでは手の届かないところまで、たくさん助けていただき、お陰様で教育活動がより充実したものになりました。

子供たちの健やかな成長には、学校だけでなく、学校応援団をはじめとした地域の力が不可欠です。今後も、皆様の力を借りながら、子供たちの更なる成長のため学校教育の充実を図ってまいります。引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

# 下鎌田東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田東小学校長      山本 浩一  
 コーディネーター      棚橋 義隆

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
家庭科実習補助	6月11日、13日、10月の水金	5人
町探検補助	6月20日、27日、10月14日、 17日、20日11月18日	30人
体育大会練習補助	10月8～10日	7人
生活科補助	11月27日	8人



体育大会練習補助(6年)



家庭科実習補助(6年)



生活科補助(1年)

様々な学校行事において、児童の見守り、保護者の誘導、会場整理のご対応をしていただくなど、教育活動へのご支援をいただいております。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度より学年ごとの学習活動で人材が必要な際に、学校応援団を依頼し活用するようにしました。毎回需要にあった人数が確保され非常に助かったという声が多かったです。特に地域安全マップづくりのための町探検補助は、地域にお住まいの保護者だからこそその視点で子供たちにアドバイスをしていただくことができ、学習にも役立ちました。また、家庭科実習ではミシン自体を見たことがなかったり、お鍋でご飯を炊くことを知らなかったりする子供たちが多いため、教員一人では指導しきれない部分への声掛けや手助けがあり、安全面でも安心して授業を行うことができました。コロナ禍を経て学校行事の持ち方やPTAのあり方が変化してきた今、学校応援団の形もマイナーチェンジをすることで教育活動の大きな一助となっていることを時間することができました。

### <課 題>

学年ごとに活用したため、学年によって活用の差が出てしまいました。開かれた学校として、学校公開に留まらず、子供たちの日常を保護者や地域の方々にご覧いただくためには、幅広い学年での活用が望まれます。

## 5 コーディネーターより

本校は、地域からの大きな力添えをいただきながら、地域とともに歩んできております。町会や地域の各施設の方々、PTA役員、ひがしボランティアなど、様々な組織が学校の教育活動を支援しています。今後も、様々な状況を判断して課題解決を図り、学校、PTA、地域が連携して子供たちのためにできることに取り組んでまいります。今後とも多くの皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。町会や地域の方々をはじめ、PTA役員の方々等、多くの皆様に教育活動を支援していただいております。

本年度は、「読むぞ！走るぞ！描くぞ！東っ子！」をスローガンに掲げ、運動会や展覧会などの学校行事等を工夫しながら進めてまいりました。そのような中、年間を通して本校の様々な教育活動を支えていただきました。おかげさまで、安心・安全な教育活動を進めることができます。子供たちも、日々の教育活動をとおして、明るくたくましく育っております。

本校は開校55周年となる令和9年度に閉校となります。令和10年度には学校統合が行われ新校として、リスタートすることとなります。下鎌田東小学校としての日々を子供たちにとって思い出深いものとなるよう、保護者・地域の方々に信頼され、集いの中心となる学校を目指し、皆様のお力をお借りしながら、学校の教育活動をより一層充実させてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 江戸川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川小学校長 江島 しのぶ  
 コーディネーター 三田 栄一郎

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館ボランティア	図書館整備・充実（月1回第3木曜日）	14人
読み聞かせボランティア	児童向けの読み聞かせ（月1回）	3人
旗振り・見守りボランティア	登校時の児童の安全確認（毎朝）	16人
学校施設充実ボランティア	学校施設の修繕、什器備品の制作、 樹木の剪定（週2～3回）	1人
藤棚整備ボランティア	藤棚の剪定（年2回）	1人



図書館整備



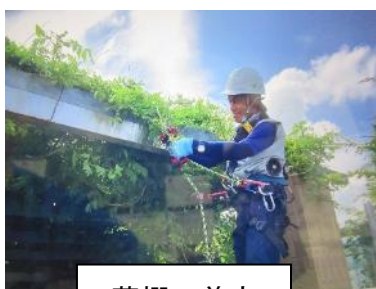
登校時の見守り



登校時の見守り



学校施設の充実



藤棚の剪定



読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度も、江戸川サポーターズクラブとしてボランティア制に移行してから継続的に活動が行われ、活動内容をさらに充実させることができました。図書館整備や旗振り・見守りボランティア、学校整備充実ボランティア、藤棚整備など、年間を通して江戸川小学校を支えていただきました。

旗振り・見守りボランティアでは、人数が減少する中でも、暑い日や寒い日、天候の悪い日にも、子どもたちの安全を守るため、変わらず安全に活動を実施していただきました。限られた人数の中でも、交差点や横断歩道での見守りを継続して行ってくださいました。

学校整備充実ボランティアの方々には、ハードルの台車や一輪車台の制作、水道蛇口や教室扉の修繕など、学校生活に直結する整備を行っていただきました。学校にとって必要な作業を的確に行ってください、教職員一同、大変助かりました。

図書館ボランティアでは、今年度は各学年の書架の再整備を行っていただきました。その結果、読書の時間に子どもたちが手に取れる本が増え、本に親しむ環境がより整いました。また、暑い中での藤棚整備も実施していただき、校内環境の維持・向上につながりました。

### < 課 題 >

年々ボランティアしていただける方が減っている傾向にあります。そのため、活動する方が負担に感じないように気を付けています。作業が多くなってしまったり、同じことを繰り返したりすると、ボランティアは長く続きません。これからも江戸川小学校を支えていただけるように、改善や工夫をしていくことが大切だと考えています。

## 5 コーディネーターより

江戸川サポーターズクラブ（ESC）は発足から6年が経過し、今年度も多くのボランティアの皆様にご協力いただき活動を行うことができました。旗振り・見守り、図書館ボランティア、学校整備充実ボランティア、藤棚整備など、それぞれの立場から学校を支えていただいております。

学校応援団の取組にご理解とご協力をいただいている皆様へ、心より感謝申し上げます。今後も子どもたちのために、無理のない形で活動が継続できるよう努めてまいります。

## 6 学校長より

本校では、学校応援団の活動をより身近に感じていただくため、「江戸川サポーターズクラブ（ESC）」として、地域の皆様と協働しながら教育活動を支えていただいております。今年度も、多方面から学校環境の充実に向けたご支援を賜りました。

関係者の皆様には、日頃より本校の教育活動を支えていただき、深く感謝申し上げます。今後も、サポーターの皆様との連携・協働を大切に、新たに活動に参加して下さる方が増えるよう、取組を進めてまいります。

# 一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江小学校長 平川 惣一  
コーディネーター 牧島 孝行

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	9人
--------------	----------	----

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
本よみ隊！	不定期	9人

### 土曜授業等での「本よみ隊」の様子



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度も現校舎での実施方法を模索しながらのスタートとなりました。1 学期には、リニューアルされた新しい図書室で自由参加の読み聞かせを行いました。新しい図書室にはマットが敷いてあり、自由なスタイルで本を読むことができます。平日の中休みに行いましたが、読み聞かせのポスターを見て足を運んでくれた子どもたちがいたり、自分の本を探しに来た子が何だろう？と耳を傾けてくれたり、とても楽しい時間になりました。2 学期には学校公開日の中休み、3、5、6 年生を対象に行いました。初めて読み聞かせに参加して下さった保護者の方々からは、子どもたちがよく聞いてくれて楽しかったとの感想をいただきました。

### <課 題>

図書室で行った際、開始時間になかなか人が集まらず、先生に放送をしていただきました。初めての試みでしたので、浸透すればそれは解決するのではないかと思います。機会があればまた実施したいと思っています。学校公開日の実施については、やはり中休みは先生方も子どもたちも忙しく、落ち着いて本を楽しむ雰囲気ではないように感じました。そういったことを踏まえて、来年度以降も子どもたちが楽しんで参加してくれるような読み聞かせを考えたいと思います。

## 5 コーディネーターより

令和6年度からの改築工事に伴い、一之江小学校は旧二之江第三小学校に移転し、1 年が経過しました。地元から離れた所に学校はあり、まだまだ手探り状態のところはありますが、変わらずに支援して参ります。子どもたちが新校舎に戻ってきたことを念頭に置き、引き続き、学校応援団としてどのような活動が可能であるのかを考えつつ、令和7年度までの取組を振り返り、令和8年度に向けての改善・充実を進めていきたいと思っています。

## 6 学校長より

学校応援団、「本読み隊」の皆様には、さまざまな制約、課題がある中、取組を進めていただいておりますことに心より感謝申し上げます。

保護者、地域の皆様の取組は、教育活動の改善・充実にもつながっています。学校図書館の関係で言えば、一部書架を室外に移動し自由に本に親しめるスペースを用意した、1 人 1 台端末を活用して本の紹介・交流を行えるようにした、図書購入にあたって子どもたちの意見、要望を取り入れるようにしたなどの取組につながりました。

新校舎へ戻ることを視野に入れつつ、保護者や地域の皆様とともに、すべての方々から信頼と誇りを得る学校となるべく、励んでまいります。引き続き、ご支援のほどよろしく願いいたします。

# 一之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江第二小学校長 木村 紀朗  
 コーディネーター 溝口 泰志

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	71人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
金魚会 (子供活動応援団)	PTA ふれあいまつり手伝い・イベント 不定期	15人
ぐりぐら会 (環境応援団)	毎月の整備 ・図書整備 本の分類・整理、修復等の実施 ・図書室の装飾、特設コーナーの設置	11人
いち・にの・くれよん♪ (読書活動応援団)	読み聞かせ 毎月1回	24人
見守り隊 (安全・安心応援団)	登下校時の安全の見守り 週5回	21人

### 金魚会 活動風景



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・学校図書館の整備は、計画的・定期的に環境整備を進められた。四季折々の様々なテーマに沿った展示に触れ、児童は知的好奇心を刺激されながら学校図書館を利用している。また、定期的にオスメの本が展示され、気軽に親しむことができている。
- ・読み聞かせの活動は、継続的に行うことができ、児童は学年を問わず、お話の世界に浸ることができた。語彙や想像力、集中力を養い、心の成長を育むことに有用である。
- ・見守り隊の活動により、児童が安全に下校することができた。横断歩道などで車や自転車の往来に気を配っていただくなど、事故の防止に繋がっている。また児童の状況を踏まえ安全指導を行うことで、児童の交通安全に対する意識を深めることができている。

### < 課 題 >

- ・継続していくためには、人材の確保していくことが必要である。そのために活動を広く周知し、多くの人に興味を持ってもらい、繋がりを築いていくことが今後の課題と考える。

## 5 コーディネーターより

学校応援団は、学校と地域、そして保護者が協力して子供たちにとってよりよい環境づくりを推進することを大切に運営してきました。

学校応援団の全ての活動を行うことができました。子供たちが様々な経験を通して、多くの「楽しい」「うれしい」を感じられる活動となるように考えてきました。今後も、子供たちのために保護者と地域が連携し、一之江第二小学校応援団の活動内容を可能な形で、実のあるものにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

学校応援団の取組は、学校を応援してくださる皆様のご理解とご支援をいただきながら、安全に十分配慮して実施されています。

地域安全「見守り隊」の皆様による下校時の見守りでは、挨拶を通して子供たちと暖かい交流が生まれており、また子供たちは安全安心に下校することができています。「いち・にの・くれよん♪」の皆様による読み聞かせは、子供たちとコミュニケーションを通して心のつながりを深めています。「ぐりぐら会」の皆様による図書館整備の装飾や推薦図書の展示に、子供達は心を明るくし、心のこもった装飾に感謝の気持ちを抱いています。そして「金魚会」の活動は、多くの子供たちが他学年と楽しみながら交流する機会となっています。

これからも「人の和」を大切にしながら「笑顔あふれる一之江第二小学校」を目指して地域・保護者・学校応援団とともに、子供たちへの応援により一層努力してまいります。

# 鹿本小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿本小学校長                    奥村 孝史  
 コーディネーター            飯沼 俊雄

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	29人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学習ボランティア	授業支援、環境整備（週3日）	9名
お話バンビの会	読み聞かせ、環境整備（月2回）	10名
おやじの会	運動会の手伝い 水鉄砲大会	10名



学習ボランティアによる学習支援補助



お話バンビの会による装飾作業

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

学習ボランティアは、1、2年生の算数の授業に入らせていただいている。子供たちが自力解決できるようにヒントを出したり、かけ算九九では、暗唱を聞いたりし、子供たちの学力定着の手伝いを担っている。また、生活科では児童とともに球根を植えたり、花の世話をしたり、珍しい動植物をもってきて、子供たちの興味・関心をもてるようにしている。12月からは、書き初めの練習が始まり、3～6年生の練習の手伝いをさせていただいた。

お話バンビの会は、各学年で毎学期3～5回程度朝読書の時間に読み聞かせをしている。子供たちに様々な本を読み聞かせることで、自分では読まない本との出会いや本の世界を広げ、読書習慣のきっかけになるようにしている。図書室や閲覧室の掲示物を作り、本に出てくる登場人物や出てくるものを再現し、より一層魅力ある図書環境を整えている。今年度は開校110周年の年ということもあり、開校110周年を祝う花束などの装飾も作り、校舎内に掲示して、お祝いに花を添えていただいた。

おやじの会は、運動会の手伝いとして、高学年の短距離走でゴール後方にエバーマットを立てて構え、子供たちが全力でゴールを駆け抜けられるようにした。また、準備や片付けではテントの設営や玉入れ等の用具運搬に力を貸していただき、円滑に運動会を終えることができた。すすくスクールやPTAと共催で、水鉄砲大会を開き、子供たちが楽しめるようにしていただいた。

### <課 題>

どの活動においても人材の確保が課題となっている。

学習ボランティアの方々が、だいぶ高齢になっている。コーディネーターが町会等で呼び掛けているが、次の担い手がない。お話バンビの会は、保護者に参加を呼び掛けているが、卒業された保護者の方々のお力も借りて続けている。おやじの会は今年度PTA活動が休止中のため、前年度のメンバーが中心となり、活動している。

## 5 コーディネーターより

学校応援団は、私が、平成20年4月に「鹿本小教育ボランティア」として立ち上げた学習ボランティアと読み聞かせや図書室の装飾で子供たちが本を好きになるようにするお話バンビの会、運動会や水鉄砲大会等で子供たちに楽しい思い出を与えるおやじの会からなっている。

現在、団員の高齢化も進み、新しい人材確保が必要なところであります。地域の方々や保護者の方で、一緒に活動していただける人がいればと思っている。

## 6 学校長より

今年度も、学校応援団の方々には、子供たちのためにご尽力いただきありがとうございます。

今年度は、本校開校110周年の記念すべき年だった。学校応援団の方々には、式典に参列していただいた。学習支援や読み聞かせのほかに子供たちと校庭を彩る植物の手入れをしていただいたり、会場入口や廊下の装飾をしていただいたりし、子供たちとともに開校110周年を祝うことができた。またおやじの会には、運動会の手伝いやすすくスクールと共催した水鉄砲大会など子供たちを支えとともに楽しい企画で思い出をつくっていただいた。今後も子供たちの健やかな成長のために協力をお願いしていきたい。

# 鹿骨松本小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨松本小学校長      渡邊 浩輔  
 コーディネーター      二村 寿三



## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	51人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
グリーン ボランティア活動	不定期	2人
安全・安心の見守り活動 朝の挨拶運動	通年	10人
ヤギのお世話	通年	41人



👉 朝の挨拶運動



👉 グリーン  
ボランティア活動  
(さつまいも掘り)



👉 ヤギのお世話



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「グリーンボランティア活動」として、さつまいもや小松菜栽培の支援、収穫の指導と補助をいただいた。その結果、多くの実りを得ることができたことにより、児童の豊かな気持ちを育むことができた。
- 「安全・安心の見守り活動」として、通学路にある交差点や横断歩道で登校時の安全見守りを行っていただいた。児童も保護者も安心して登校ができた。また、継続的な「あいさつ運動」により、元気に挨拶できる児童が増えてきている。積極的に朝の挨拶に参加する教職員も増え、学校全体に挨拶をする機運が高まってきた。
- 「やぎのボランティア活動」では、「人が好きで人が来るのを待っていて、鳴いて出迎えてくれます。」「とてもかけがえのない経験です。」など、やぎの世話を通してさまざまな感想が聞かれるようになった。子どもたちもなかよし班（異学年交流の班）をとおして、世話を一生懸命行っており、命の大切さを感じるよい機会となった。

### <課 題>

- 今年度新校となり、年度当初は学校応援団の活動が思ったように進まなかった。これまでの両校の良さを残しつつ、来年度の計画を考えていく必要がある。

## 5 コーディネーターより

- 鹿骨松本小学校は、今年度誕生した新しい学校です。そのため、今年度は、以前の両校のような活動ができませんでした。来年度からは、鹿骨松本地域の特色を生かした活動を行っていきたいです。子どもたちの満面の笑顔を活動の糧として、できることから始めていこうと思います。地域の伝統を大切に、地域の未来を担える子どもたちに育ててくれることを願っています。

## 6 学校長より

- 鹿骨松本地域は、古くから花卉栽培や小松菜栽培が盛んな地域として知られています。これから本校は、この豊かな地域資源を教育に取り入れ、児童が実際に土などの自然に触れ、動植物を育て、収穫や成長の喜びを味わう「労作教育」を積極的に進めていきます。学校応援団を中心に、地域の皆様のご協力をいただきながら、児童の心豊かな成長につながる教育活動を展開していきます。

# 鹿骨東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨東小学校長 中田 伸代  
 コーディネーター 杉田 省吾

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	61人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安全・安心見守り隊	週5回	25
図書ボランティア	学校図書館週1回 児童読み聞かせ月1回	5
グリーンボランティア	不定期 学校菜園の整備 米作りの指導・助言	6
環境整備（おやじの会）	不定期 学校の側溝清掃 各種イベントの企画・運営	25



安全見守り隊が毎日の登校を見守ってくださります。



おやじの会の皆さんが、田んぼの整備や側溝掃除、まつりや肝試しを企画・運営して下さいます。



グリーンボランティアの皆さんのおかげで、四季折々の花が鑑賞できます。

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

本校は、地域の教育に対する関心と協力体制が高く、登校時には多くの地域の皆様から児童へ温かな声掛けをいただいている。その結果、児童の挨拶は年々活発さを増し、自ら進んで挨拶を交わす姿が定着してきた。令和7年度も登校中の事故はなく、安全見守り隊の皆様の継続的なご尽力により、学校として大きな安心感を得ている。

また、全学年で取り組む「ふるさと学習」では、地域の伝統文化や自然環境を学ぶ際に、講師として地域の方々に協力いただき、学習内容の深化につながった。

さらに、グリーンボランティアの皆様には、稲作活動の準備から収穫後の作業、菜園での栽培活動まで幅広く支えていただき、体験的な学びを充実させることができた。おやじの会の皆様には、学校環境整備や行事運営を、図書司書および図書ボランティアの皆様には、図書館環境の整備に尽力いただき、読書活動の推進に大きく寄与した。これらの取り組みを通して、児童が地域・母校への誇りと愛着を育む教育活動を継続して展開することができた。

### <課 題>

一方で、本校を支えてくださる応援団の皆様の高齢化は依然として進んでいる。厳しい気候の中でも毎日登校を見守ってくださる姿には深い感謝の念を抱くが、若い世代の参加を増やすことが今後の重要な課題である。

本地域は学校への期待や協力の意識が高く、教育活動をより開かれたものとし、児童・教職員と地域の方々が交流できる機会をさらに増やしていく必要がある。令和8年度に向けて、地域行事や学校公開の場を活用し、参加のハードルを下げる工夫や情報発信の強化を図っていく。

また、教職員の異動が多い年度であっても、ふるさと学習をはじめとした地域連携の知見を確実に継承し、教育活動の質を維持・向上させる体制づくりを進めていくことが求められる。

## 5 コーディネーターより

本年度も大きな事故なく教育活動を終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。特に朝の見守り隊の皆様には、在籍児童だけでなく、卒業生にも声をかけていただくなど、地域のつながりを実感できる温かな関わりを続けていただき、児童の小さな変化に気付き寄り添っていただきました。このことは、不登校の未然防止にも大きく貢献しており、地域としての強みが十分に発揮されたと感じています。令和8年度も引き続きよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

「子供たちのために」という共通の思いのもと、多くの学校応援団の皆様が本校の教育活動を支えてくださっています。明るい挨拶が響く登校の様子、読書科の充実、米プロジェクト、おやじの会による特色ある行事など、本校が誇る多くの取り組みは、皆様のご協力によって成り立っています。令和8年度に向けても、地域とともに歩む学校として、より良い教育活動を進めてまいります。改めて深く感謝申し上げます。

# 本一色小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

本一色小学校長 末松 睦士  
 コーディネーター 吉野 誠司

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	15人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせ	月2回(隔週水曜日)	13人
図書館壁面装飾	月1回(第1木曜日)	8人
農園整備	不定期(土起こし、草取り、散水等)	1人



整備していただいた学校園



図書ボランティアによる図書館整備



図書館壁面装飾ボランティア作成の装飾



読み聞かせボランティアの活動

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・月2回、水曜日の朝の時間に保護者の方が本の読み聞かせをしてくださっている。読み聞かせを通して子どもたちは本に親しみをもつようになっている。
- ・図書館装飾ボランティアの方々は、季節に合った装飾で、図書館を居心地のよい空間にしてくださっている。また、使いやすい図書館を目指し、図書の整理にも取り組んでくださった。そのため、図書館は活用しやすくなっている。
- ・地域の方から学校園として畑をお借りしている。低・中学年でサツマイモを育てて収穫する体験ができた。

### <課 題>

- ・学校応援団の取り組み活動内容を、保護者や地域の方になかなか周知できていないことが課題である。ホームページ等で広くその活動内容を知らせ、よりたくさんの方に興味をもっていただく。
- ・学校応援団メンバーを増やしていくために、参加しやすい組織作りや運営方法などを改めて考えていく。

## 5 コーディネーターより

今年度も地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただき、学校応援団の活動が行われました。

今後とも、多くの方に学校応援団の仕組や活動について、協力していただくことが必要です。子供たちの健やかな成長を支えるため、地域・保護者・学校が協力して関わっていくことが大切であると思っております。

今後も、学校と連携を深め、子供たちの教育活動に協力できるような充実した活動が展開できるようにしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

今年度も学校応援団の皆様は、読み聞かせや学校図書館整備など、子供たちの健全育成のために活躍してくださいました。また、ゲストティーチャーとして授業に協力していただいた方もいっしょにいました。子供たちにとって地域や保護者の方との学習は、自分の生活に結びついた学習になり、学習意欲の向上につながります。ご多用の中、今年度も本校の教育活動にご支援、ご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

今年度で本一色小学校 PTA は解散となります。今後、今までと違った形でご協力をお願いすることも出てくると思いますが、子供たちの笑顔のために、どうぞよろしくお願いいたします。

# 篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎小学校長                      平林 千恵  
 コーディネーター                佐々木 堂至

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書館整備ボランティア	不定期（月3回程度）	13人
読み聞かせボランティア	隔週火曜日	10人
農園栽培ボランティア	不定期	12人
凧作りボランティア	11月	15人
登下校見守りボランティア	不定期	2人

読み聞かせの様子



図書館整備の様子



農園活動の様子



凧揚げの様子



登校の見守りの様子



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

#### ○図書整備ボランティア

4月より学校図書館の空き時間に3～8名程度で集まって学校図書館の本の整理や清掃・補修、また学校図書館内の季節ごとの装飾等を行ってくださった。学校応援団予算で表示・掲示物制作に使う材料を例年以上に購入していただき、精力的に作成してくださった。また、蔵書点検を図書館職員と協力し活動してくださった。新しい学校図書館の新鮮さを維持できるように、児童が気持ちよく読書活動ができるように、常に子供目線を取り入れた環境作りを続けてくださっていた。

#### ○読み聞かせボランティア

今年度も5月から読み聞かせボランティアがスタートした。季節や行事に合わせた本を選択し、読み聞かせを行ってくださったり、書画カメラで拡大して見せてくださったりすることで、学年問わず集中して楽しんで本の世界を味わっている。ボランティアの方もいつも楽しみながら取り組んでくださる。それが子供たちにも伝わっており、身を乗り出し聞き入っている児童がいるクラスもあった。

#### ○農園栽培ボランティア

長年お借りしていた土地を持ち主に返却することとなった。お別れと感謝を伝えるために、自作の看板を制作していただき、最後の使用日まで飾ることができた。1年生の「いもほり」の活動では、ボランティアの方を中心に学年の保護者の方々も数多く集まった。1年生が掘り起こしやすいように整備して下さったり、掘った後に丁寧につる切りをしていただいたりした。そのため、児童の活動を効率よく進めることができた。また、水まきや雑草抜き、畑を耕し作業等、農園の状況を見ながら声を掛け合って取り組んでくださった。

#### ○凧作りボランティア

今年度も全学年の担任へ凧の下絵書きから凧作りについて丁寧に指導してくださった。凧揚げは河川敷で11月の学校公開日（土曜日）に揚げたが、当日、児童へ凧の揚げ方についても指導もしてくださった。また、一昨年度の開校140周年記念式典で使用した、記念の大凧や連凧も運び出してくださり、来賓の方々も含め、来訪者を楽しませることができた。

#### ○登下校見守りボランティア

毎朝、正門で子供たちを誰よりも大きな声で出迎えてくださっている。元本校卒業生の里親であったり、元民生児童委員であったり、常に地域のため、子供のためにご尽力いただいていることに大変感謝している。

### <課 題>

○学校農園が今年度で終わりとなるため、応援団の活動が一つ減ってしまう。新たにできないことがないか、模索していきたい。また、さらなる募集をかけ、人数を集めることが課題である。年度当初だけでなく、定期的にイベントや広告などを周知し、興味を広げることが必要である。

## 5 コーディネーターより

いつもたくさんのボランティアの方が協力してくださることで、篠崎小学校の児童は大変気持ちよく学校生活を送れているのではないのでしょうか。子供たちがこの篠崎小をもっと好きになってくれるよう、これからも活動をいろいろと工夫していければと思っています。学校、保護者、地域を少しでもつなげていけるように取り組んでいきたいと思っています。

## 6 学校長より

令和7年度も、学校応援団ボランティアの皆様が篠崎小学校のために積極的に関わってくださいました。図書館整備ボランティアの方々は本の修理をしてくださり、季節に合わせた掲示に子供たちは大変喜び、読書の興味を高めています。読み聞かせボランティアの方の読み聞かせは、子供たちの発達段階に合わせ選書をしてくださっているのも、とても楽しんでます。農園ボランティアの方々もさつまもやしや小松菜などの植え付けや夏の水やりにも協力してくださいました。凧作りボランティアの方々は大凧を揚げて子供たちに披露してくださいました。凧の作成にあたり、教員にも指導していただき大変ありがたく思っております。引き続き、「篠小応援団」の皆様と協力しながら、篠崎小学校の教育活動がさらに充実していくよう、教育活動を進めてまいります。



### 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第二小学校長 高橋 宏幸 コーディネーター 佐々木 仁

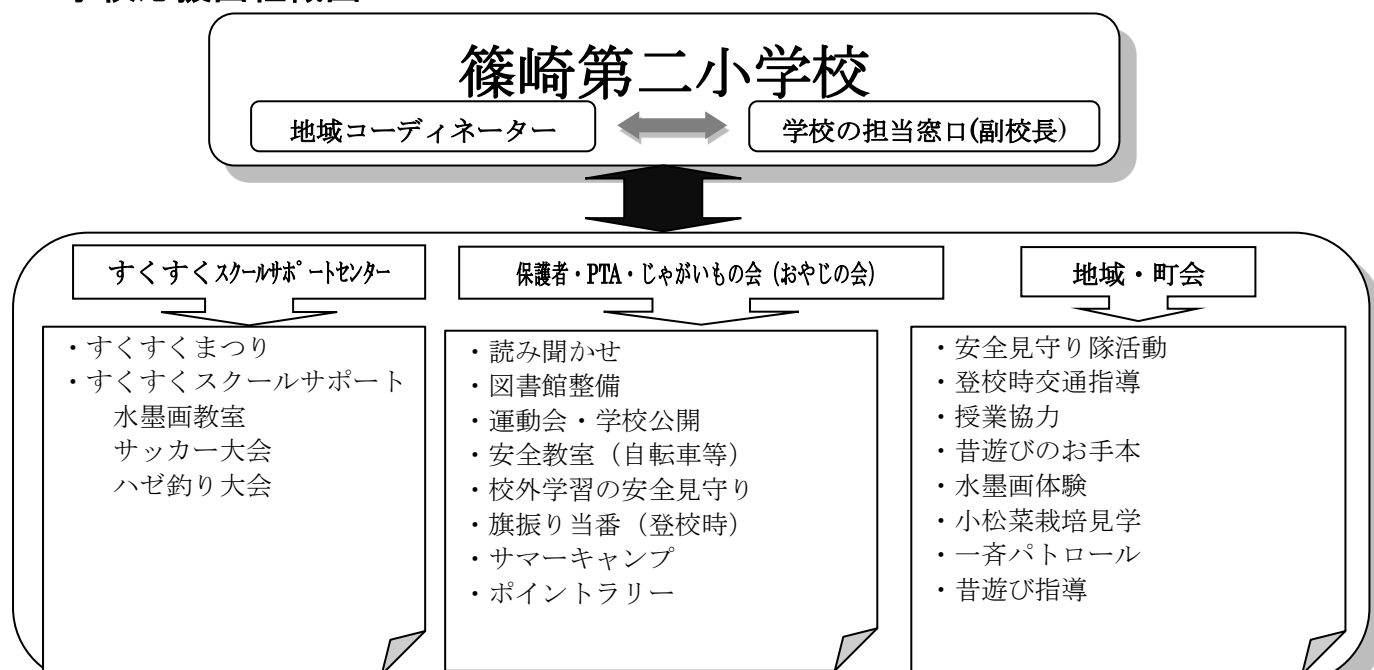
### 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	63人
	学生ボランティア	0人

### 3 今年度の活動内容

	応援団の名称	活動内容
地域・町会	登下校パトロール	○通学路で登下校の安全を見守る。 4人【一斉下校パトロール時】
	水墨画指導	○総合的な学習での水墨画の指導 1人（今年度はなし）
	読み聞かせ	○学級に入って本の読み聞かせをする。 4人
	小松菜栽培見学	○小松菜栽培の指導や見学をさせてくれる。 2人
	竹寄付・昔遊び指導	○七夕の笹を寄付、竹で作ったおもちゃの昔遊び指導をしてくれる。 2人
保護者・PTA・じゃがいものおやじの会	旗振り	○登校時の安全を見守る。（毎朝） 25人
	登下校パトロール	○通学路で登下校の安全を見守る。 5人【一斉下校パトロール時】
	交通安全教室	○自転車教室等でのお手伝い。 10人程度
	学校行事の際の受付対応	○学校公開、運動発表会等の受付 6人程度
	読み聞かせ	○学級に入って本の読み聞かせをする。 5人
	ミシン学習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 4人(今年度はなし)
	調理実習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 5人(今年度はなし)
	図工学習支援	○安全を見守り技術指導の支援をする。 随時募集(今年度はなし)
図書館整備	○本の修理や本の整頓を行う。 随時募集(今年度はなし)	

### 4 学校応援団組織図



## 5 今年度の成果と今後の課題

### <成果>

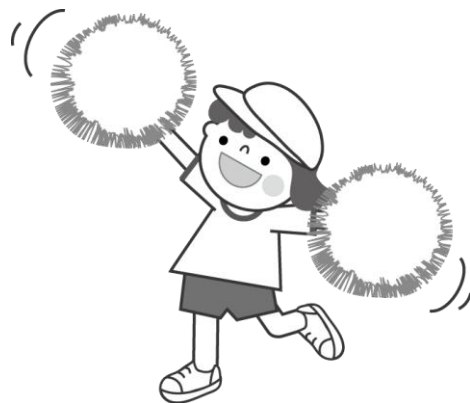
篠崎第二小学校のさまざまな教育活動に、「学校応援団」の方々の協力を得ることができました。朝の読み聞かせは、全学年で行われ、子供たちが読書への興味・関心を高めることとなりました。授業では、校外学習時の安全確保や1・2年の昔遊びの専門的な要素の高い内容を地域の専門家の方にお越しいただき実施することができました。その他にも、学校図書館の整備や学校行事の際の安全パトロール、お花を植える協力など多くの場面で応援をしていただきました。

### <課題>

学校応援団は、これまでも「おらが学校」のために一肌脱ぐ方々で実質的に組織されてきました。本校では開校当時から脈々と続く「応援団」魂が受け継がれ、現在、「篠崎第二小学校学校応援団」として教育活動のサポートをいただいています。そのサポートは副校長を窓口として各応援団員の方々に依頼をし、協力していただいています。しかし、現在応援団の方々の高齢化が進んでおり、今後、地域人材の発掘と学校応援団の理解を求めていくことが課題です。

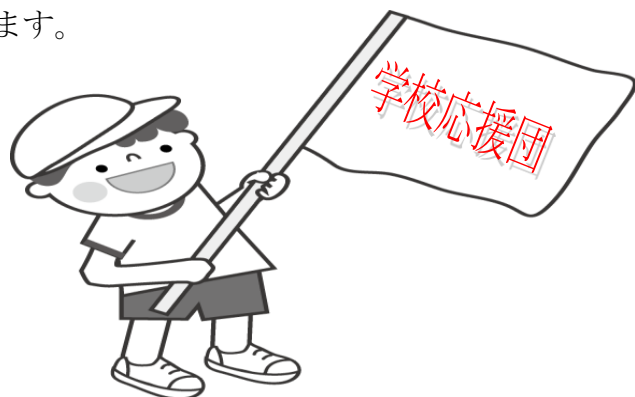
## 5 コーディネーターより

地域の方々の中には、自分自身がまたは子供が篠崎第二小学校にかかわった方が多いようです。母校のために何か協力ができないかと思っている方は多いです。コーディネーターとしてそのような応援の「心」と学校からの「要望」をつなぎ合わせて、篠二小の教育がさらにより良いものにしていこうと考えています。



## 6 学校長より

いつも、篠崎第二小学校のために様々な場面で、保護者、地域の方々に支えていただいています。子供たちの安全と学びの向上のために、付き添っていただいたり、パトロールをしていただいたりと、その応援ぶりいつも感謝しております。こうした保護者・地域の「応援団」の方々の姿そのものが子供たちにとって、「ふるさと江戸川」を知る良質な『教材』として生きています。今後とも、子供たちが健やかに育つ学びの場としての学校を応援団の方々と一緒に創っていきたいと考えています。よろしくお願ひします。



# 篠崎第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第三小学校長	熊田 和則
コーディネーター	井上 伸也
	関口 晃

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

<b>学校応援団ボランティア数</b>	一般ボランティア	22人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
安心・安全見守り隊	毎日の登下校時 SPSパトロール	2人
学校図書館業務	毎週木曜日	15人
読み聞かせ	隔週水曜日	15人
学校行事・PTA活動 支援・サンクラブ	不定期（フェスティバル運営・体育学習 発表会・学習発表会受付・見回り）	20人
授業支援	不定期（9月職場体験・1月書き初め大会 手伝い・2月家庭科ミシン学習補助）	22人

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 毎日、登下校を見守っていただき、全児童が安全に通学することができた。  
下校時間が遅れている学年は学校に声を掛け、最後まで見守ってくださることもあった。
- 6年生の職場体験では、グループの引率をしていただいた。事業所への往復の交通安全管理に加え、児童の挨拶や学習内容も見守っていただいた。各事業所から、「小学校でもこのような体験をすることで将来の夢や仕事について考える機会となる。よい学習である。」との声をいただいた。
- 書き初め大会では、「清書の半紙を乾かす場の準備（新聞紙を体育館ステージに広げる）」「児童一人一人に半紙を配る」「清書を預かって乾かす」「乾いた半紙を新聞紙で1枚ずつくるみ、クラス毎に束ねる」ことを手伝っていただいた。  
この作業を学校応援団がしてくださることで、担任は個別指導を十分に行うことができ、とても感謝している。
- 定期的に学校図書館の整備や飾りつけをしていただいている。児童が思わず本に手を伸ばしたくなるよう、様々な工夫をしてくださっている。また、本の読み聞かせやお話会を開き、児童の読書の世界を広げ、楽しく行えるような活動を企画・運営した。
- フェスティバルではブックドライブも行い、自分が普段、手に取らない本に興味をもってもらえるような機会を設けた。

### <課 題>

- 学校応援団の活動をもっと広げるために、年間当初に見通しをもったり企画したりするとよい。
- 必要な物品についても、まとめて聞くのではなく随時質問する必要がある。

## 5 コーディネーターより

- 今年度も、安全見守り活動や学校図書館支援活動、6年生の職場体験、ミシンの授業補助、書き初め大会の補助等、多くの支援活動をすることができました。  
フェスティバルでも、以前学校応援団の運営費で必要な道具を購入し、今年度に生かすことができました。今後も、学校応援団の一員として、メンバーの皆様と協力して活動していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

## 6 学校長より

- 毎年、たくさんのお力をお借りして学校の教育活動を進められていることに感謝申し上げます。  
「子供は地域の宝」と言いますが、子供たちがたくさんの方々に関わっていただいていることを、とても有難く思います。子供たちにも自分たちの周りで力を貸して下さっている方々がたくさんいることを伝えていきます。今後も学校応援団の方々、地域の皆様に助けていただきながら子供たちを育ててまいります。引き続き、本校の教育活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

# 篠崎第四学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第四小学校長      鈴木 宏美  
コーディネーター      風間 春彦

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	242人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備・ブックマム	月3回（原則木曜日）	11人
読み聞かせ・おはなし隊	各クラス3回	10人
登下校見守り	登校：毎日 下校：月1回	200人
防災部	不定期	3人
行事の補助・おやじの会	年3回	18人



図書整備 「ブックマム」



読み聞かせ 「おはなし隊」



登下校の見守り

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・校長の学校経営方針に基づき、ボランティア組織と連携を取ってきた。
- ・ブックママ（図書の整理整頓）、おはなし隊（読み聞かせ）、防災部、おやじの会では、学校行事等と関連づけた活動を行ってきた。
- ・今年度も、それぞれの活動を確認しながら、学校応援団の活動を継続することができた。
- ・「ブックママ」（図書室の整備）は、児童の実態を考慮し、児童が本に親しむ安い図書室環境を整えてきた。
- ・「おはなし隊」（読み聞かせ）は、年間の学校行事等を考慮し、朝の時間帯を活用して学級ごとに本の読み聞かせをしてきた。
- ・「登下校の見守り」は、保護者を中心に学区域内的の11か所を分担し、毎朝の児童の登校の見守りを行ってきた。月1回の「安全パトロール」では、保護者や地域の方のできる範囲での児童の下校の見守りと、安全確認を行った。
- ・「防災部」は、PTA主催の秋のイベントで、「お楽しみブース」設け、防災について楽しんで学べる体験コーナーを開催した。
- ・「おやじの会」（行事の補助）は、体育学習発表会での当日の会場整理や片付け、篠崎七丁目町会の盆踊り大会の準備と片付け、食べ物ブースの開催等を実施してきた。

### <課 題>

- ・今後も「共育・協働」をさらに進め、児童の心豊かな「育ち」と、確かな「学び」のために地域の資源・人材を積極的に活用していく視点が必要である。
- ・学校応援団の活動そのものの認知度が低いので、学校ホームページなどで学校応援団の活動を配信していく必要がある。
- ・登下校の見守りは、地域の方々にも呼び掛けて、できる限り保護者の負担がないようにしていく必要がある。

## 5 コーディネーターより

篠崎第四小学校は、学校・保護者・地域が一体となり、全校児童が安全で安心して楽しく学校生活を送ることができるように取り組んでいます。「学校応援団」の活動と今後もその継続にあたり、少しでもお手伝いができるものと考え、本年度も活動を推進してきました。

今後も、学校応援団のスローガンにある「できるときに できる人が できることを」を合言葉に、保護者と地域の方の協力のもと、学校への様々な支援活動をしていきたいと思えます。

## 6 学校長より

篠崎第四小学校は、全校児童が、安全で安心して楽しく学校生活を送ることができるように、保護者・地域のお力添えを得て、教育活動に取り組んでいます。学校応援団の皆様を始め、ボランティアの皆様のご協力のお陰で、子供たちの成長のためのより良い環境をつくることができています。

今後も児童の主体的・対話的で深い学びを実現するために、学校応援団の皆様のお力を貸していただきたいと思っております。さらに、児童の伸びや高まりを目指し、本校の「共育・協働」を一層進めて参ります。

# 篠崎第五小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第五小学校長 山田 勇一郎

コーディネーター 儀間 直江

## 2 ボランティア登録数(令和7年12月1日現在)

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	35人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	月2回程度	8人
農園ボランティア	月1回程度	40人
行事サポート	不定期	16人
朝のあいさつ運動	年間6回程度(各1週間)	24人
下校パトロール	学期1回程度	18人



畑整備(農園ボランティア)



読み聞かせ(図書ボランティア)

## 4 今年度の成果と課題

### <図書ボランティア>

#### ○成果

読書タイムの時間に本の読み聞かせを行っていただいた。ボランティアのみなさんは子供たちの発達段階や興味関心、季節・学校の行事に合わせた本を選定するなどの工夫をしてくださり、子供たちが本に親しむよい時間となっていた。また、読んでいただいた本のシリーズ本を教室で読むなど、子供たちが本に対する興味をさらに広げている姿も見られた。

#### ●課題

図書ボランティアさんをやってくださる方が年々減少していることが課題であるが、少ない人数で、うまく予定を調整して活動を実施していただいた。今年度は、4月の全体保護者会で図書ボランティア募集のお知らせの時間を設けた。来年度も継続して実施し、広く保護者の方への周知を図りたい。

### <農園ボランティア>

#### ○成果

筍掘り、田んぼの代掻き・田植え・稲刈り・脱穀、畑の整備等、多岐にわたる活動を農園ボランティアの方々に支えていただいた。教職員と子供たちだけでは、広い農園の整備や機械を使っての作業等を行うのは難しいので、大変助かっている。特に、5月～9月にかけての草むしり活動では、多くの方に参加いただいたおかげで田んぼや畑がきれいに整備され、子供たちの学習活動を安全に行うことができた。

#### ●課題

農園の活動は畑、田んぼと専門的な知識を要する。継続的に活動して下さる方、農園活動の核となる方との連携を図っていくことが急務である。

### <行事サポート・朝のあいさつ運動・下校パトロール>

#### ○成果

計画的に活動を行うことができた。行事サポートでは、体育発表会のテントの設営や片付け、学校公開での受付等でお手伝いをいただいた。教職員だけでは足りない部分をサポートしていただき、大変助かった。また、朝のあいさつ運動・下校パトロールでは、各通学路で声掛けや見守りをしていただいたことで、子供たちが安全に、気持ちよく登下校することができた。

#### ●課題

今後も組織だった人員募集や年間を通した活動計画を整備していきたい。

## 5 コーディネーターより

学校の様々な活動に多くの方が関わってくださり、大変ありがたい。読み聞かせでは、子供たちが真剣に聞いてくれるので、さらなる活動意欲の向上につながっている。農園活動では、担当の教員を中心に各学年と連携を図りながら進めていった。次年度はボランティア同士の連携や学校とボランティアの連携をさらに強化できるように努め、活動の充実と人員確保に努めていきたい。

## 6 学校長より

本校の特色ある教育活動である農園活動はじめ、読み聞かせ、行事・登下校のサポート等、様々な場面で学校応援団の皆様がご協力してくださったおかげで、学校教育の充実を図ることができた。教職員だけでは時間的・物理的に難しいことが多々ある中、学校応援団の力の大きさを感じる。今後も、学校と学校応援団の方と連携を図りながら、充実した教育活動を展開していきたい。

# 南篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名





南篠崎小学校長 園田 和子  
 コーディネーター 神子 雅史

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
畑の整備と運営補助 農園ボランティア	不定期	40人
図書室の本の整理や装飾等 図書ボランティア	月2回程度	10人
読み聞かせ 図書ボランティア	不定期	10人

<b>【農園ボランティア】</b>	 
<p>1年生は小麦の種まきやお芋ほりをしました。          2年生は脱穀機を利用した小麦の脱穀体験などをしました。          南っ子まつりでは、2年生が脱穀した小麦を用いて、クレープ屋を出店しました。</p>	
<b>【図書ボランティア】</b>	 
<p>図書ボランティアの方々に朝読書の時間を利用して、本の読み聞かせをしていただきました。          図書ボランティアの方々と学校司書が連携して、図書室の本の整理や装飾等を行いました。          南っ子まつりでは、巨大パズルを出店しました。</p>	

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 農園ボランティアのこれまでの経験を生かした農園の運営・管理のおかげで、必要に応じた学習活動を展開することができた。
- 低学年の生活科の時間を中心に、農園ボランティアの方々に協力をいただいている。専門的な知識や技能を活用させていただくことで、ものづくりの良さや大変さ、昔の人々の知恵や努力を体感することができ、栽培への意欲と関心が高まった。
- 2年生が刈り取った小麦を使って、南っ子まつりでは『クレープ屋』を出店し、大盛況だった。
- 図書ボランティアの方々に定期的に本の読み聞かせをしていただいたことによって、本への関心をより高めることができた。
- 南っ子まつりでは本を拡大して作成した『巨大パズル』を出店し、多くの子どもたちが楽しむ様子が見られた。

### <課 題>

- 図書ボランティアの方々がして下さる朝の読み聞かせの日程が直前だったり、クラスごとの実施だったりしていたため、実施方法や余裕を持った期間の設定をする必要がある。
- 農園ボランティアの方々が計画して下さる小麦はアレルギー児童がいないかどうか必ず確認する必要がある。活動内容を見ると2年生より3年生の方が適していることがわかったので、次年度よりそうする。
- 「例年通り」という気持ちではなく、毎年、年度当初に活動内容等、年間の計画を確認する必要がある。
- 教員やボランティアの方々が入れ替わった際もスムーズに活動が行えるように、引き継ぎや周知する方法を考え、広く周知できるようにする。

## 5 コーディネーターより

- 今年度は日頃の教育活動に加えて、南っ子まつりでも子供たちにとって有意義なものとなる活動が行えたと思います。来年度以降も子供たちにとってよりよい活動を目指していく上で、学校と連携して行っていきたいと考えています。

## 6 学校長より

- 図書ボランティアの方々による朝の読み聞かせを通して、子どもたちの読書に対する意欲の向上や関心も高まったと思います。農園ボランティアの方々が計画して下さった様々な体験活動を通して、低学年の児童を中心に食に対する興味関心や大切さ等が学べたと思います。それぞれのボランティアの方々には、PTA 主催の南っ子まつりにも協力していただきました。生き生きと楽しく活動する子どもたちの様子も見られました。引き続きご支援いただけますようよろしく願いいたします。

# 鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鎌田小学校長 石渡 靖  
コーディネーター 鷲尾 斎

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	29人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	年2回	6人
読み聞かせボランティア	年7回	23人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

「一緒に手を携えて」「出来るときに出来ることを」のスローガンのもと、地域・保護者の皆様にご支援、ご協力をいただいた。

読み聞かせボランティアには7回、朝読書の時間に各クラスに入らせていただき、本の読み聞かせをしていただいた。

花壇ボランティアには、体育館前の花壇の整備を12月に行っていたいただき、3月にも花壇の整備を行う予定である。

今年度も、ボランティアの皆様のご支援のおかげで、多くの教育活動を意義深く実施することができた。

### <課 題>

ご多用の中、活動に参加して下さったボランティアの皆様にご充実感を感じていただき、より良い活動ができるよう、担当者と密に連絡を取り合うことが重要だと感じた。

また、学校応援団と児童の交流活動を学習の一環として計画することで、より地域の一員としての意識を持てるようにしていきたい。

これからも学校応援団の活動がさらに発展するよう、企画や立案を進めていく。

## 5 コーディネーターより

「一緒に手を携えて」のもと、保護者や地域の方々の協力により、ボランティア活動がスムーズに行われました。子供たちの健やかな成長のために、お手伝いできたことが良かったと思っています。今後も、子供たちのために、地域の方々や保護者の方の力をお借りして、より良い学校応援団活動を進めていきたいと思ひます。

## 6 学校長より

令和7年度も、保護者、地域の皆様との「かかわり」「共育・協議」を大事にし、心と心の絆を深めながら、鎌田小学校の学校応援団の充実を図ることができたと受け止めている。今後も、読み聞かせボランティア、花壇ボランティアの2つの柱を中核にして、学校と家庭と地域とが、一緒に手を携えて、鎌田小の教育活動や教育環境の充実を図っていききたいと思ひう。

次年度もさらに多くの方々との「かかわり」「共育・協働」のもと、これまで以上により良い学校応援団を築きあげていきたい。

# 小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小岩小学校長                    平田 鐘明  
コーディネーター            安武 久弥

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	305人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書整備	月2回(水曜日)	21人
読み聞かせ	月1回(水曜日)	19人
子供見守り隊(登校時)	毎日(全員で交代制)	305人

## 学校応援団 (コミュニティスクールモデル校)

学校応援団長  
山邊 登 様  
コーディネーター  
安武 久弥 様

- PTA . . . . . 小岩小フェス
- 同窓会 . . . . . 新入会員歓迎の集い
- 図書ボランティア . . . . . 朝読書の読み聞かせ、図書室の環境整備
- 三校一園連絡協議会 . . . . . 三校一園音楽会
- 青少年地区委員会 . . . . . 地域まつり、ドッジボール大会、映画会
- 五町会 . . . . . 運動会、安全・安心パトロール
- 民生児童委員 . . . . . 第1・第3地区、定期的な情報交換
- すくすくスクール . . . . . 学校施設を活用したイベントや保育活動
- こども見守り隊 . . . . . 登校時の子どもの安全の見守り

## 4 今年度の成果と課題



### < 成 果 >

「子ども見守り隊」では、保護者や町会の防犯部の皆様を中心に、たくさんの方に児童の安全を支えていただきました。登校時にPTA加入者のみではなく、全家庭の保護者が輪番で全児童を見守るシステムです。そして、本校図書ボランティアによる図書室整備や本の修理等を月2回、読み聞かせも月1回行っていただきました。そのため、児童が多くの本を手にとることができ、読書活動が充実したものとなりました。同窓会の活動では、毎年6月の学校公開の午後に開催しています。同窓会幹部の方々にもご出席いただき開催することで、次代の小岩小のサポーターの育成に大きな力を発揮していただいています。

### < 課 題 >

学校応援団を活かして新しい活動を始めたり、地域の人材を更に発掘したりするなどして、様々な側面から支援して頂けるようにしたいと考えています。今年度はコミュニティスクールモデル校として、学校応援団の活動に加えて地域人材や地域商店等と連携した活動にも力を入れてきました。今後はコミュニティスクールとして保護者や地域の方々との理解と連携を一層深めていくことが大切です。そのため、計画的に活動を進め、人材の募集やホームページでの活動内容を発信して、学生等のボランティアを増やしていけるように努めます。

## 5 コーディネーターより

学校応援団を活かして新しい活動を始めたり、地域の人材を更に発掘したりするなどして、様々な側面から支援して頂けるようにしたいと考えています。そのため、計画的に活動を進め、人材の募集やホームページでの活動内容を発信して、学生等のボランティアを増やしていけるように努めます。

## 6 学校長より

小岩小の伝統やよさを活かしながら、バージョンアップした小岩スタイルづくりを進めています。新校舎が完成し、広い校舎で活動ができるようになったため、活動もより多様に、充実していくことができました。今年度も、保護者や地域の方々に多くの支援をいただきながら、教育活動を進めることができました。今後も、保護者・地域の皆様により、信頼のある学校となるよう努力していきます。

# 東小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東小岩小学校長            佐々木 恵子  
 コーディネーター        永井 邦房

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	30人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
○図書ボランティア		
・図書選書ボランティア	月1回	3人
・読み聞かせボランティア	週1回程度	10人
○農園活動ボランティア	不定期	13人
○安全指導ボランティア	不定期	10人
○校外活動ボランティア	不定期	14人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- (1) 「農園活動ボランティア」では、地域から寄付していただいた「ふき農園」を理科や総合的な学習の時間で活用し、年間指導計画に位置付けて活動している。今年度は、3年「ジャガイモ」、4年「トウモロコシ」の栽培・収穫体験を行うことができた。学校応援団の方々に準備や日々の管理等をご協力いただき、今年度も継続して児童の活動を充実させることができた。地域の小松菜農園でも3年生が見学・収穫体験をさせていただき、地元のよさを実感することができた。
- (2) 「安全指導ボランティア」では、土曜授業の際に、平日の登校見守りに加え、ボランティアの保護者が参加しての旗振り当番を実施していただき、交通事故0を継続することができた。
- (3) 「読み聞かせボランティア」では、月に2回程度の回数で朝読書の時間に読み聞かせを実施していただいた。児童が目をキラキラ輝かせながら話を聞き、問いかけに答える姿が見られた。

### <課 題>

農園活動ボランティアの方々が高齢となり、農園の日々の管理が難しくなりつつある。持続可能な「学校応援団」を継続していくためにも、様々な場面で活動を紹介し、さらに多くの人の協力や依頼の準備を徹底していくことが必要である。

## 5 コーディネーターより

P T Aや東小会（P T AのO B会）、小岩五町会が連携・協力して、児童の安全や健全育成に取り組み、平成21年度より学校応援団活動として統合しました。コロナ禍以前のような取り組みを実施できるようになり、「連携の伝統」を今年度も築くことができたと思います。地域の方々の協力により「学校農園活動が今年も無事にできました」という話や、保護者の協力により「子どもたちが安全に活動できた」等を耳にして嬉しく思いました。今後も児童の健全な育成に向けて、学校・保護者・地域が一体となって、活動を行ってまいります。

## 6 学校長より

農園活動を行っている「ふき農園」は、平成13年に元P T A会長から学校に寄付していただいた農園で、奥様のお名前（婦喜さん）から「ふき農園」と名付けました。この学習には、地域の方が「学校応援団」として協力してくださっています。今年度は、学校応援団の方々のお力をお借りして、子どもたちと一緒にジャガイモの植付けやトウモロコシの種まきをしたり、収穫を体験したりすることができました。また、収穫した実を使って、ポテトチップスやポップコーンを作り、食べる体験もすることができました。学校応援団の皆様が、日頃から草むしりや防鳥対策など、農作物のお世話を続けてくださったお陰で、とてもありがたく感じています。

今後も「連携の伝統」を継続し、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、地域とともに「地域に貢献できる子どもたち」を育ててまいります。よろしくお願いたします。

# 下小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩小 学校長 鶴田 麗子  
 コーディネーター 和田 夏海

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	28人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
1年生の学習支援	週3回	10名
2年生の学習支援	週2回	10名
図書を読み聞かせ	月2回から月3回	18名
図書ボランティア作り作成	学期1回程度	10名
校庭 花壇の手入れ	週1回程度	5名



学習の支援



読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

図書ボランティアの活動では、全学年児童を対象にして定期的に読み聞かせの機会を設けた。毎回工夫を凝らした読み聞かせの実施により、本校の読書科の推進にも大きな成果があった。さらに、図書ボラ便りも年3回程度発行し、児童の図書への意欲の向上に一定の成果が見られた。

主に1年生と2年生の学習支援に学校ボランティアの方々が従事した。その結果、普段担任1人では支援が行き届かない児童への声掛けや支援が増え、児童の学習意欲も向上した。また、その支援に伴い、児童の学習の基礎的・基本的な学力の向上に一定の成果があった。また、日本語指導の必要な児童の学習意欲にも向上が見られた。

また、令和7年度9月に完成した校庭外周に植えられたバラの手入れを、学校ボランティアが行った。

### <課 題>

学校ボランティアの方が参加できる曜日にばらつきがあるため、どの活動でも同じような支援を行うということには課題が残った。学習支援では、今年度は本校の児童数が1・2年生を合わせると135名、6クラスあるため、次年度もより充実した児童への支援を行うためには、学校としても対応を考えていく必要があった。

## 5 コーディネーターより

日本語の指示が理解できない外国籍の児童にも、教師の指示を理解できるように丁寧に分かりやすく伝えていく支援を行っている。学校ボランティアのサポートにより、児童が安心して学校の教育活動に参加できる機会が増えている。

また、学習意欲の低い児童にも丁寧な声掛けを行うことで、取り組む姿勢に大きな成果があった。

## 6 学校長より

いつも学校応援団の皆様には、本校の学校教育に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。学ぶ喜びと安心感を児童に味わわせてくださっている学習サポーターの皆様、また、読書科を推進する江戸川区の教育の一翼を担ってくださっている図書ボランティアの皆様。学校からはお願いをするばかりで心苦しい思いがありました。応援団の皆様が喜んで取り組みを推進してくださっていることに感謝申し上げます。

今後は、主にホームページを通じて皆様の取り組みを発信し、その成果を共有するとともに、さらにたくさんの方々にお声がけし、価値的な活動を推進してまいります。

# 上小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩小学校長 宮本 知司  
 コーディネーター 石川 きよ子

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	20人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	毎週木曜日	5
見守り隊	毎日	10
学習・行事支援	不定期	5



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 毎学期の定期的な図書ボランティアの読み聞かせ活動や企画、毎週の学校図書館環境整備により、学校図書館の充実とともに児童が読書に親しむことができるようになった。
- 保護者・地域の方々の見守り・安全支援により、児童が安全に登校することができている。
- 放課後の見守りや行事の開催時の支援等により、児童の体力向上や学校・地域を大切にする心情を育むことができた。

### <課 題>

- 昨年度と同様に、協力してくださる方の固定化や高齢化等の課題が出ているので、積極的な保護者への呼び掛けをしていきながら、より多くの参加者を募るようにしていく。
- 学習支援や読み聞かせ等、次年度への引継ぎ資料の作成や必要な用具の整備等、活動内容が分かりやすく、活動しやすくなるようにしていく。

## 5 コーディネーターより

子供たちの日々の見守りをしていく中で、上小岩小学校の子供たちの健やかに成長している姿を見ることができています。「学校応援団」の代表として、学校の教育活動を支援しています。また、保護者、地域の皆様から様々なご支援をいただいています。

今後もより充実した応援体制がとれるよう活動してまいります。

## 6 学校長より

「のびる かみっ子」の合言葉の下、児童の思いやりの心や主体的に学ぶ力、安全に生活する態度を育てるために、保護者・地域の皆様に学校応援団としてご支援をいただき、充実した活動が行われました。

図書ボランティアによる読み聞かせ活動や学校図書館整備を通して、今年度も物語の世界、読書のよさを味わうことができました。登下校時の見守りでは、たくさんの方々に見守られていることによる日々の安心感をもたらしています。今年度も8月下旬には、「夏の暑い日でも体育館で遊べるように」と体育館を開放しました。その際には、参加した児童の安全の見守りをしていただきました。

『子供たちのために』という学校応援団の皆様のご協力に大変感謝しております。応援団の皆様の温かな気持ちをしっかり受け止め、さらに連携を深めていき、皆様と共に歩む学校づくりを行ってまいります。

# 上小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

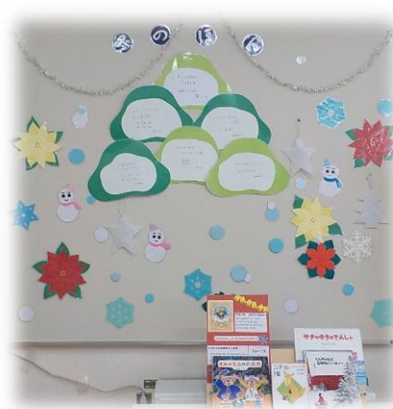
上小岩第二小学校長      小野塚 良朋  
 コーディネーター      細川 英一

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	104人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書館整備	本の修理・整理整頓・室内装飾 (週1回実施)	34名
読み聞かせ	朝の読み聞かせ(月1回実施)	29名
地域安全パトロール(朝)	学期当初実施	22名
地域安全パトロール(夕)	年1回実施	6名
古紙回収	月1回実施	3名
交通安全教室	1～3年生で年1回実施	10名



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 図書ボランティアについては、週1回活動日とし、図書室の本の整理や修理、室内の飾りつけ等を行ってきました。季節に合わせて子どもたちが本を読みたくなるような掲示の仕方を工夫して親しみやすい図書室の環境を整備しました。また、本の出し入れをしやすくしたり、選びやすくしたりするために、本の入れ替え作業を行いました。
- 読み聞かせボランティアについては、月1回（8時20分～8時40分）行うことができました。読み聞かせボランティアの周りに集まって本を見ながらお話を聞いたり、書画カメラに投影したりしました。毎回楽しみにしている児童も増えてきています。
- 朝の旗振り、地域安全パトロール活動は、登校時や長期休業中の一定期間に行ってきました。そして、交通安全教室では実際に歩道を歩く際の児童の安全を確保するために、ご協力をいただきました。その際に、交通安全に気を付けさせるとともに、公園での遊び方や不審者対策などの見守りも行うことができました。また、地域の夜間パトロールも実施しました。
- その他、古紙回収のお手伝いに関しては、資源回収をすることによって環境に配慮した活動ができました。

### <課 題>

- 現在PTAが中心になって活動を行っていますが、図書ボランティアや読み聞かせボランティア等の活動に対し、活動ボランティアを募っている状況です。今年度は、地域の方も参加していただきましたが、より多くの学校応援団のメンバーを募っていくことが課題です。

## 5 コーディネーターより

日頃から先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご協力によって児童がより良い学校生活を送れるようたくさんのご支援をいただいていることに、心よりお礼申し上げます。

活動を通して子どもたちの笑顔を多く見られるように計画することができました。そして、今年度もさらに充実した活動をすることができました。これからも児童が豊かな学校生活を送れるよう、一同力を合わせて頑張ってお参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 6 学校長より

子どもたちが安心・安全な学校生活を送り、たくさん笑顔が多く見られた1年でした。子どもたちのため、学校のために活動していただいたボランティアの方々に厚くお礼申し上げます。

本校の学校応援団は、学校行事全般についてもきめ細やかに子どもたちの安心安全と健やかな成長のために活動していただいています。

今後とも子どもたちの笑顔あふれる学校づくりのためにご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

# 西小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西小岩小学校長 大野 知子  
 コーディネーター 植草 誠

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	53人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
花壇ボランティア	花壇の花の植え替え・整備（不定期）	10名程度
家庭科ボランティア	家庭科の授業の補助（不定期）	20名程度
図書ボランティア	学校図書館の環境整備（月2・3回）	15名程度
登校安全ボランティア	登校時の見守り（毎日）	10名程度



花壇ボランティア



図書ボランティア



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 登校安全ボランティアでは、通常の個人登校時、各学期始めの登校班登校週間ともに、保護者による登校の付き添いや見守りのお陰で、事故なく登校ができた。
- 花壇ボランティアでは、学校の式典に向けて、学校を訪問される方々、毎日登校する児童のために、きれいな花や花壇でお迎えすることができた。
- 図書ボランティアでは、学校図書館の環境整備に加え、読み聞かせを実施することができた。
- 家庭科ボランティアでは、高学年の調理実習やミシンの学習をするときに助言やお手伝いがあるので、児童が安心して学習に取り組むことができた。

### <課 題>

- 朝の登校時の見守りのボランティアの人数が不足している。募集をしてもなかなか集まらない現状がある。PTAとして、近隣町会等とも連携し、子供たちの安全につながる活動を進めていく必要がある。
- これまで学校応援団の活動にご協力いただいていた方が、子供の卒業や転居などで継続が難しくなっている現状があり、これまでと同じような運営の方法が厳しくなっている。今後は、保護者の方々にボランティア活動に興味をもっていただけるような広報活動を行う必要がある。

## 5 コーディネーターより

学校応援ボランティアの活動に参加してくださる保護者の皆様は、子供たちのために、思いをもって活動に参加して下さっています。近年の社会情勢により、共働きなどの家庭が増えてきたことで、ボランティアが集まりにくい状況になってきています。

活動の時間や回数、タイミングなど保護者の皆様のご都合に合わせてながら、活動の行い方を工夫することで、負担や負担感のないようにしていき、多くの保護者に協力をいただけるように進めていきたいと思えます。

これからも学校応援団の活動の輪が広がり、学校・PTA・地域が連携して、子供たちのよりよい成長と学びのためにみんなで力を合わせたいと考えています。

## 6 学校長より

本校では、学校応援団が設立する前より、保護者や地域の皆様のご協力をいただき、学校ボランティアの支援体制が整っていました。

しかし、これまでに新型コロナウイルス感染症が拡大したことで、積極的な活動をしていただくことが難しい状況がありましたが、今では学校応援団のボランティア活動が順調に進められるようになりました。近年は卒業とともに人数などが、多少縮小してしまいましたが、思いのある保護者が新たに組織を立ち上げる思いで取り組まれています。

これからも学校応援団の方々と協力をして、充実した学校教育活動を進めていきたいと思えます。

# 上一色南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上一色南小学校長      三田 智  
コーディネーター      稲生 成哲

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

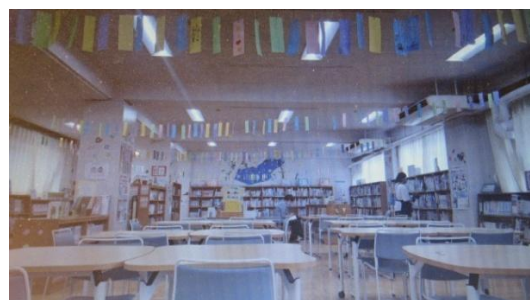
学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	62人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
図書ボランティア	月1回(火曜日)	15
登校見守りボランティア	毎日	30
ベルマーク・アルミ缶	月1回	3
お父さんボランティア	運動会運営協力・上南まつり	12
陶芸ボランティア	夏休み・冬休み(各2日)	2



< 「上南まつり」企画・運営 >



< 「図書ボランティア」による装飾 >



< 「親子陶芸教室」準備・運営 >



< 「親子陶芸教室」参加者の様子 >

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 図書ボランティアの皆様による「読み聞かせ活動」や「学校図書館の季節に合わせた掲示」などの環境整備を通して、子どもたちは本に親しみ、読書に対する意欲を高めることができました。
- 「登校見守り」は、保護者の方々や地域の皆様の協力を得て進められています。また、「こども110番」のステッカー設置推進の活動により、地域で子どもたちを見守る活動を整えることができました。
- 「運動会」や「上南まつり」などの行事の取組において、多大な御協力をいただいております。子どもたちの様々な体験活動が、より楽しく充実したものになりました。

### <課 題>

- 「学校応援団ボランティア」に多数の参加・御協力をいただいておりますが、様々な活動の企画・運営を担う中核スタッフの方々の人数が年々減少しており、活動の継続が難しくなっている側面があります。

## 5 コーディネーターより

興宮町、本一色、上一色。子どもたちが通うこの地域は、人情味に溢れ、古き伝統が根付いた地域です。そのような「あたたかい町」で、本校は『未来ある子どもたちの育成』を主とし、運動会や上南まつり、サークル活動など地域活動の拠点として、地域コミュニティの場としての役割も果たしてきました。親・子・孫が同じ小学校を卒業し、学校を中心に話題を共有する。これからもこの関係は変わらないものだと思っています。

子どもたちの安心・安全、そして、健やかな成長のため、学校と力を合わせ、多くの皆様の御協力をいただきながら活動しておりますが、さらなる支援の輪を広げるべく、多くの方々のお力をお貸しいただければ幸いです。

## 6 学校長より

上一色南小学校は、「図書ボランティア」、「登校見守りボランティア」、「お父さんボランティア」、「陶芸ボランティア」等々、数多くの保護者・地域の【学校応援団】の方々からのお力添えをいただきながら様々な教育活動を進めています。

図書ボランティアの方々による『読み聞かせ』は、どの学年の子どもたちも毎回楽しみにしています。陶芸ボランティアの方がコーディネートしてくださった『親子陶芸教室』は図工室がいっぱいになるほど大盛況でした。お父さんボランティアの方々を中心となって準備・運営して下さっている『上南まつり』。校庭には、在校生の子ども・保護者の方だけでなく、たくさんの卒業生の笑顔もあふれていました。日々の教育活動が充実したものになっているのも、学校・家庭・地域の連携があってこそと、心より感謝しております。

今後も、三者の連携のもと、【学校応援団】の組織の充実、幅広い協力体制の確立を目指していきたいと思っています。そして「あかるく、やさしく、たくましい」上南の子を育ててまいります。

# 南小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩小学校長 吉田 友信  
コーディネーター 島田 雅人

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア登録数	一般ボランティア	53人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	月1回 第2金曜日	18
図書ボランティア	図書整備 不定期	10
旗振り 登校見守り	毎日	15
おやじの会	不定期	10



読み聞かせボランティアによる読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 読み聞かせボランティアは、毎月1回各学級での読み聞かせを実施している。子供たちは、毎月の読み聞かせを楽しみにしており、子供たちが地域の方とともに学ぶよい機会となっている。また、図書ボランティアは、学校図書館の環境整備等を行っているが、季節に合わせた装飾や推薦図書の選定やディスプレイ等、専門知識も生かした活動で、楽しく使いやすい図書館となっている。登校見守りボランティアは、学区域の多くの場所で子供たちの安全の見守りを行っている。見守りボランティアの方々と挨拶を交わすことでも、子供の安心感・地域愛も増してきている。おやじの会は、運動会の準備や片付けの手伝いをお願いしたが、新しい校庭でのその手際の良さに職員も大いに助けられている。ふれ愛まつりでの活躍も大きかった。
- どの活動も組織的に行われており、新校舎での活動も軌道に乗り、本校の応援団としての貢献度は非常に高いものである。

### <課 題>

- 今年度は新校舎での活動も3年目となり、より充実した活動を目指して尽力していただいたが、新規メンバーの勧誘の強化や年間計画の改善も視野に入れて、活動の充実を目指したい。また、予算の有意義な執行も考えていきたい。
- コミュニティスクールとの連携についても、検討していく必要がある。

## 5 コーディネーターより

- 学校応援団は、南小岩小学校の子供たちをのびのびと成長させたいという願いで始まった活動です。読み聞かせボランティア、図書ボランティア、おやじの会等の組織を通じて南小岩小学校の教育活動を支え、保護者や地域の皆さんと協力し合い、活動を広めたいと常に考えてきました。様々な情報交換をして、更に支援を図りたいと考えています。
- 登下校の見守りやすすくすくスクールとの連携も引き続き必要だと考えています。三自治会（一南、司、扇子田）とも、様々な地域行事に協力させていただき、参加することで親交を深めてきました。これらを基盤として、南小岩小学校の学校応援団がさらに活発に活動していけたらと考えています。

## 6 学校長より

○本校は、「学校・家庭・地域が共に補い合い、三位一体で児童を共有する南小岩小」を目指す学校像として掲げ、日々の教育活動を行っています。保護者・地域の皆様には、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、図書ボランティアによる図書館環境整備、毎朝の登校の見守り活動・ふれ愛まつり等にご協力いただき感謝しております。今後も「学校・家庭・地域が共に補い合い、三位一体で児童を共有する南小岩小」を目指し、子供たちが「南小岩小学校に通って良かった」と実感できるように、地域や保護者の皆様に信頼される学校となるよう全力を尽くしてまいります。ご支援・ご協力をお願いいたします。

# 南小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩第二学校長      小川 高弘  
 コーディネーター      木村 浩昭

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	60人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
読み聞かせボランティア	毎週木曜日	17名
基礎タイムボランティア	毎週水曜日	18名
図書室整備ボランティア	毎月第一水曜日	12名
父子会（ちゃんこ会）	不定期	10名
交通安全見守り	不定期	9名
花壇ボランティア	不定期	3名



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- ・今年度も毎週木曜日に、読み聞かせボランティアの「ずんずん」さんに読み聞かせを行っていただいた。絵本だけではなく、紙芝居やペープサート等、様々な手法があり、子供たちは毎週楽しみにしている。
- ・毎週水曜日に、基礎タイムボランティアによる朝学習の指導補助や丸付けをしていただいた。昨年度より人数も少し増え、朝の学習時間が充実している。
- ・毎月第一水曜日に、図書ボランティアに書架整理を行っていただいた。図書館司書と連携して、図書室の掲示も整えている。
- ・父子会（ちゃんこ会）は、5月「運動会」の片付けの手伝い、7月「夏のお楽しみ会」の企画、運営、12月「にこにこ祭り」への出店、1月「冬のちゃんこ会イベント」等、子供たちの笑顔のために活動していただいた。
- ・保護者による交通当番に加えて、学校応援団として朝の登校見守りを行って頂いた。
- ・花壇ボランティアとして、校内の栽培園や観察池等の整備をして頂いた。

### <課 題>

- ・花壇ボランティアを増やしたい。植物や生物に詳しい人材を探すため、ホームページ等を通じて活動状況を広く伝えていく。

## 5 コーディネーターより

学校応援団にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。昨年度に引き続き、本校の学校応援団は、環境整備、読書活動、学習支援、安全安心を4本柱として活動しております。どの活動も、子供たちの健やかな成長につながる大切な活動です。一人でも多くの方に参加いただけるよう、情報発信をしていきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 6 学校長より

本年度も学校応援団の皆様には、本校の教育活動にご協力をいただき感謝しております。コーディネーターの木村様をはじめ、読み聞かせサークル「ずんずん」の皆様、図書室整備ボランティア、基礎タイムボランティア、花壇ボランティアの皆様には、今年度も大変お世話になりました。本校の課題の1つである学力向上に向け、多くの学校応援団の皆様にお力をかしていただけたことは、教員にとっても心強く感じられることでした。

また、父子会主催の「子供夏のお楽しみ会」「冬のちゃんこ会まつり」や PTA 主催の「にこにこまつり」等で、学校応援団の皆様にはたくさんご協力いただきました。児童の笑顔があふれる行事となったこと、また運動会をはじめとして、一年を通していろいろな場面で本校児童を学校とともに育成していただけていることに心から感謝申し上げます。

# 中小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

中小岩小学校長            鈴木 薫  
 コーディネーター        内田 泰雄

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	50人
	学生ボランティア	人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
子ども見守り隊	週5回	12人
図書整備・装飾	月1～2回	20人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

- 「子ども見守り隊」では、毎日の登校時に交通安全などの見守りをしていただいた。特に歩道が狭く、車道が近い場所においては児童の安全管理において、大きく影響していると。また、毎日声かけをしていただいていることで、児童と地域の方々との関わりが取れるよい機会となっている。地域と連携していくことはとても大切なことだと感じている。
- 図書ボランティアの方には、本の整備・修繕、季節に合わせた図書館の装飾や特設コーナーに設置等をしていただいた。本が整理され、使いやすい図書室になっている。図書室の環境整備に力を入れていただいた結果、児童の読書への意欲・関心が高まっているように感じられる。

### <課 題>

- ボランティアをしてくれる方の確保が年々難しくなっている。次年度も、様々な機会を通じて呼びかけ、新しい学校応援団の人員を増やしていく必要がある。
- 見守り隊の方々の高齢化が進み、新たに協力していただける方の確保が困難であることが毎年の課題である。PTAを中心に保護者の方々にも協力していただき見守りを続けているが、共働きも増えているので、新しい形の見守りを考えていかなければならない。
- 校舎改築工事に伴い、図書館への移動がやや不便になったことで、休み時間の利用者は減っている。図書に関連する装飾や特設コーナーの設置場所なども今後検討していきたい。

## 5 コーディネーターより

学校応援団の活動の一環として、中小岩小学校の児童達のために、毎朝の登校時間に合わせて『子ども見守り隊』を実施しています。

この子ども見守り隊は、2006年（平成18年）7月4日に北小岩江戸川町会のお力添えの基で発足して、今年で20年になります。

現在、子ども見守り隊代表の増田利夫様を含め、12名で活動を続けて頂いております。学校の授業のある日は、毎朝、晴れの日も、雨の日も、雪の日も、暑い日も、寒い日も、中小岩小学校のかわいい児童達のために通学路に立っています。これはもう『中小岩 愛』に他ならないことでしょう。

いつまでも、この中小岩の『愛』が続くことを願っております。

## 6 学校長より

「子ども見守り隊」や「図書ボランティア」など、本校で学ぶ児童のために惜しみないご支援とご協力を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。

教育は、学校だけで行うものではありません。地域や家庭の皆様と一緒に、それぞれの役割を担いながら、将来の社会を支える自立した人に育てていくことが、教育に関わるすべての人の責任であると考えます。今後も、本校は学校応援団の活動を支えていただいている地域や家庭の皆様とともに、児童の成長に寄与できるよう取り組んでまいります。

# 北小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

北小岩小学校長            古都 直  
コーディネーター        鈴木 充孝

## 2 ボランティア登録数（令和7年12月1日現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	10人
	学生ボランティア	2人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
学校図書館の装飾・整理	不定期	6人
花壇の整備	不定期	5人
行事支援	不定期	9人



## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

今年度は、校庭にある花壇の整備に力を入れました。学校のイベントに合わせて、整備を行いました。

また、昨年度から引き続き、10月に行われた「ハートフルフェスタ」では、子供たち向けのワークショップを開催し、とても喜んでもらえました。

### <課 題>

新たに、いろいろな活動ができないか、手探りをしながら模索をしています。PTA活動との違いを周知しながら、たくさんの方に知っていただければと思います。

昨年度の課題として、読み聞かせ活動は、PTA活動として活動できたのですが、学校応援団と連携がうまくできなかったのも、引き続き、読み手の確保など、学校応援団として活動できたらと思います。

## 5 コーディネーターより

PTA活動もなかなか保護者が集まらなかつたりする中で、ボランティア活動としての学校応援団について、どのようなことができるのか考えています。

地域への呼びかけや働きかけ、OBOG保護者への活動の案内などがまずは、課題になってきます。周知、アピールを広く行い、ボランティアとしてたくさんの方に、ご理解いただき、参加していただけるよう活動をしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様は、常に子供たちのために活動してくださる大変ありがたく、学校にとって本当に貴重な存在であります。

学校図書館での取組や、校庭の花壇の整備や花植え、行事支援等、本当に子供たちが活用しやすいように配慮いただきながら、豊かな環境を整えてくださっております。また行事の際には、活動が安全に実施できるようなお手伝い等の支援もしていただいております。

今後も学校応援団の皆様と協力して、子供たちの笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思っております。